ライオン誌12月号 2005年（平成17年）11月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第48巻第6号

IN JAPAN
Official publication of Lions Clubs International

December 2005

12

THEME1 明日のライオンズを考える

THEME2 ライオンズクラブ統計

ROAR 334複合地区

第48巻第6号

We Serve

CONTENTS

表紙メモ

日本の風景
長野県茅野

写真：編集部

デザイン：内田誠治

明日のライオンズを考える

2005年10月9日　仙台国際センター

第44回東洋・東南アジア・フォーラム期間中の10月9日、仙台国際センターにおいて5つのミニ・フォーラムが開催された。いずれも参加型フォーラムへの転換という組織委員会の理念に賛同した全国の会員有志が、自主的に企画・運営したもので、当日は2,000人を超える会員が会場を訪れ、これまでのフォーラムには見られない活気あふれる議論が展開された。その内容を、今月から毎号、順番に紹介する。初回は「明日のライオンズを考える」。

「明日のライオンズを考える」（ライオン誌日本語版委員会主催）は十月九日十三時三十分から十六時まで、仙台国際センター大会議室・橘において開催された。当日は約二百五十人の会員が参加、高橋義太郎332複合地区ガバナー協議会議長の基調講演に続き、山田国際理事を始めとする四人のパネリストを迎えてパネル・ディスカッションが行われた。

パネル・ディスカッションは『ライオン』誌上で募集した提言の中から五つのテーマが取り上げられ、まず提言者が発表。次いで今井三和元地区ガバナーをコーディネーターに四人のパネリストから話を伺い、その後、会場からの提言、質問を元に再度パネリストが意見を述べるという方式で進められた。

提言1　ライオンズ・スクールの創設を

提言要旨：ここ数年、会員減少により沈滞ムードが蔓延しているライオンズの現状を変えるため、会員トレーニングやリーダーの養成を目的としたライオンズ・スクールの設立を提言する。スクールは「①中・長期計画の下、人材の三年間育成②系統だったライオニズムの習得③経験豊富な元地区ガバナーや過去三年間のキャビネット三役を講師に招聘して人材活用④幅広い人脈の構築⑤卒業生は地区役員・委員に就任⑥国際協会主催の上位ライオンズ・リーダーシップ研究会と連携」を目的にする。

今井　本日のパネリストの方はそれぞれライオンズで重要な役職に就かれていますが、自由なご意見を述べて頂くために、敢えて役職をはずし個人の立場で発言して頂きます。

●パネリスト
山田實紘（国際理事）
後藤隆一（ミッション30エリア・リーダー／元地区ガバナー）
高橋義太郎（複合地区協議会議長）
鈴木誓男（CSFⅡMD／セクター・コーディネーター、地区ガバナー）

●コーディネーター
今井三和（元地区ガバナー）

●提言者
提言1：**田中實**（兵庫県・明石）
提言2：**寒河江潤一**（山形県・天童舞鶴）
提言3：**坂本信雄**（京都府・亀岡保津川）
提言4：**高田順一**（富山昭和／元地区ガバナー）
提言5：**魚住昭三郎**（熊本キャッスル／元地区ガバナー）

ではまず、ただ今の提言について、一昨日閉幕した上位ライオンズ・リーダーシップ研究会の講師でもあられた後藤さん、いかがですか？

後藤　組織が組織体として活性化を進めながら、更に力強く道を進んで行くためには研修、指導力育成というのがたいへん重要です。生命線かもしれない。そこに着目され、こういう提言がなされていることに敬意を表します。特に具体的な提言になっているので、何らかの形で実現出来ればと思います。

鈴木　三年間の教育という部分がありますが、私は上位リーダーシップ研究会を二年続けて受講した経験から、これはいいアイデアだと思います。日本にライオンズが入って五十年になりますが、任意団体であるライオンズで、だれが組織を真剣に考えていくのか、その意味でも会員研修はとても大事だと思います。

高橋　退会者は三年以内が多いのですが、ライオンズを理解しないままやめていく人が多いわけで、非常にもったいない。提言のような教育制度を作るのは大事だと思います。

山田　午前中、国際第一副会長と副地区ガバナーの懇談会があり、ロス第一副会長は会員の質を高めるためにスクールを徹底的にグレードアップさせると話していました。全世界的に見直そうという機運がある。ちょうどいい機会ですから、こうした立派な提言を基に、日本発のアイデアを出していくといいですね。

今井　パネリストのご意見を一通り伺ったところで、会場から何かご意見、あるいはご質問がございましたら、承りたいと思います。

――335・A地区、神戸垂水ライオンズクラブの多久良男です。私も上位リーダーシップ研究会の講師を数年務めた経験から、ライオンズの基本的な教育の徹底が大切だと考えております。簡単に実行出来るものとしては、例会で『ライオン』誌を教本として使うことも有効だと思います。

――332・B地区、平泉ライオンズクラブの高橋幸喜です。今回、上位リーダーシップ研究会を受講しましたが、もっと早くこういう機会を得たかったと悔しく思いました。高橋さんが言われたように、三年ぐらいでやめてしまう人が多いので、若手からリーダーまでを育てる態勢を整えてもらいたいですね。多久さんのご提案ですが、当クラブではライオン誌の『ライオンズ・スクール』を会員数分購入し、例会で勉強を始めました。

提言2　ライオンズにおけるＩＴの有効活用

提言要旨：日本のライオンズが組織として災害救援活動を行う場合、義援金の拠出が中心である。災害直後の被災者が最も必要とする緊急支援について、全国に三千四百余りのクラブを有するライオンズの組織が、生かされていないのが現状ではないだろうか。ライオンズの組織力を生かすために、例えばライオンネットであるとか、サバンナ（※インターネットを使ったマンスリー報告システム）などを通じ、迅速でタイムリーかつ綿密な連絡体制を可能にするＩＴを活用した全国的なネットワークの構築が必要だと考える。

鈴木　昨日もパキスタンで地震がありましたが、国内外でこうした災害が発生した時、全国のライオンズがＩＴを活用して情報を共有出来れば、対応しやすいでしょうね。サバンナに関しては、各クラブが実際に活用し、一〇〇パーセントになることによって生きてくると思います。

今井　昨年度、高橋さんはライオン誌編集長としてサバンナ導入を推進されたわけですが。

高橋　鈴木さんが言われたように出来るだけ早い時期に一〇〇パーセントを達成してほしいですね。更にＩＴ化の推進によって、会員一人ひとりが、情報を認識出来るようになるといいと思います。また、前の提言の通信教育に使えるのでは、と思いました。

今井　ライオンズ・スクールへの活用ということですね。

後藤　表題のテーマは非常に広範囲になりますが、提言者の方はＩＴにお詳しいがゆえに、ネットワーク、情報サイトといった形で意識的に絞った提言をされています。実際にはＩＴの活用はライオンズの中でも、だいぶ進みつつありますね。その中で、会員一人ひとりが、ＩＴをツールとして日常的に利用出来るようになることが、今後、大事になってくると思います。

今井　会場からご質問なり、ご意見はございませんか。午前中、ＩＴフォーラムが開かれていましたが。

――330・A地区、東京恵比寿ライオンズクラブの荘英隆と申します。今回、ＩＴフォーラムを開くに当たり、インターネット上での呼び掛けに全国から会員が自然発生的に集まり、実行委員会が出来ました。今、ＩＴでは地区を超えた横のつながりが、勝手連的に出来ています。ライオンズ

の組織の流れからは、はずれている部分もあると思いますが、後半の提言に全国的な会合というものもあります。こうした動きが、今後、どのような方向に進んだらいいのか、ご意見をお聞かせ頂けるでしょうか。

鈴木　例えば地区ガバナーにしても、三十三人が集まって会議することは皆無なんですね。そうした中で、インターネット上であれ、実際に顔を合わせてであれ、全国の会員が交流し、議論することで、ライオンズに対する情熱が沸き、活性化につながるわけで、いいことだと思います。

提言3　PRの重要性

提言要旨：今日、地域においては多様なボランティア・グループや団体が活動し、既存の組織体に対する社会的評価は相対的に低下している。評価をされない活動は自己満足に過ぎない。それは会員数の減少に直結する。この現状を打破する方策の一つに広報がある。ライオンズクラブは言うまでもなく国際的組織体である。地域社会では多くの場合、国際貢献活動が概して少ないので、この種の社会貢献はクラブ活動の実績として、ライオンズクラブの評価を高めることになろう。

後藤　国際貢献の部分で、どうPRしていくべきか。ちょっと話がそれるかもしれませんが、今年の上位リーダーシップ研究会で「インタビューを受ける」というカリキュラムが初めて入りました。これは報道機関からインタビューを受ける機会を自分たちで作りなさい、ということなんですね。いかに積極的に報道機関を動かすか、そういう視点も必要になってくると思います。

ライオン高橋義太郎

今井　山田さんは国際理事に立候補されるにあたり、マニフェストの中で、ライオンズでノーベル平和賞受賞をと訴えておられましたが。

山田　PRのアイデアとして出したんです。会員増強にしても、こちらから入ってくれ、入ってくれではなく、外から入りたくなるようなライオンズになればいいわけです。そのためには、視力ファーストを始めライオンズの奉仕を世界に認めてもらおう。我々がサポートしている団体が、既にノーベル平和賞を受賞しているわけです。だったら、ライオンズもとれるはずだ。国際理事会の長期計画委員会でそう提案し、予算がつきました。メータ国際会長も既に活動を始めました。PRそのものはアイデア勝負だと思います。しかしその一方、地域でいい活動をして地元のプレスを呼んでPRすることは簡単に出来るので、それによってライオンズの理解を深めてもらうことも必要でしょう。

ライオン鈴木誓男

提言4　活性化に向けた地区分割の議論を

提言要旨：私が所属する334・D地区は福井、石川、富山の北陸三県から成り立っており、地区分割が可能な地区である。私は、地区分割には地区ガバナーとクラブの関係を強化してクラブ活性化に寄与する観点と、地区ガバナーの数が増えることで日本ライオンズと国際協会の関係を変えていく観点があると考える。もちろん良いことばかりでなくデメリットもあるであろう。しかし、クラブ活性化の切り札になるとすれば、今こそ議論する価値があると考える。

鈴木　分割賛成派です。地区というのはクラブ数で三十五、会員数で千二百五十人。五つのゾーンを作れば簡単にクリア出来るんですね。

高橋　分割に関しては私も賛成。東北は既に一県一地区ですが、だいたい五リジョン、十ゾーンで構成されています。地区ガバナーの顔が見える方が、方針が伝わりやすいし、クラブからも意見を出しやすい。

後藤　世界的には日本は大きい地区、大きい複合地区と言えます。キャビネット事務局の固定化、運営の合理化が具体化されるのであれば、分割にメリットが生じるケースもあるでしょう。逆に分割後、会員が増え活性化していくめどが立っているかという問題もあります。しかしながら、質の高い新進気鋭のガバナーが、数多く輩出されるようになるなら、分割はいい方向だと思います。

今井　例えば細胞が分割して、それが増えていけばいいが、小さくなってしぼんでしまってはいけないと

ライオン後藤隆一

いう側面もあるということですね。

山田　分けるなら都道府県単位でしょう。ガバナーというのは知事ですから、非常に分かりやすいですね。

──336・A地区、三木さぬきライオンズクラブの石川俊夫です。提言者の高田君は私と同期のガバナーで、私も彼の意見に同感です。当地区は四国四県で一準地区です。私は四国を複合地区にするとして三年を目標にエクステンションを呼び掛けました。しかし、現状は厳しい。三十五クラブがネックになっているんです。

山田　世界的に見ると、日本のクラブは大きいわけで、地区と同様、分割を考えてもいいんですね。ただ、日本の場合、事務局を設置してしまうので、お金がかかるんです。が、いずれにしろトレンドとしては、地区分割はやるしかないと思います。

──330・A地区、東京渋谷ライオンズクラブの中野了と申します。私は地区分割を十七年手がけております。一九八〇年代後半、故小川清司国際第一副会長を始め国際理事会会長期計画委員会から、このままではライオンズは二十一世紀に生き残らない、という提言がなされました。地区分割の最終目的は単一クラブの活性化です。構造とか運営を変えることで意識改革につながると考えます。

提言5　年次大会のあり方と全国レベルの会議の必要性

提言要旨：第一に準地区、複合地区の年次大会をセレモニー偏重から、

ライオン山田實紘

話し合いや意見発表が出来る参加型の大会へと変化させたい。私は更に、全日本レベルで意思の疎通を図る会議の必要性を強く訴えたい。日本はこれまで協調して歩を進めてきたが、ここ数年、各地区の足並みが乱れる場面も見られる。「日本は一つ」の理念の下で結束し、全国の会員有志が情報を交換したり、諸問題の提言、討議を行う会議を、年一回のペースで開催することを提案する。

高橋　年次大会の持ち方はここ数年、ガバナーも議長も考えていると思います。私自身、来年の複合の年次大会は変えてみたいと思っています。日本レベルの会議については、先ほどITでも出ましたが、いろんなものが全国レベルで集まり、議論するというのは大きな意味があると思います。私はまず議長連絡会議で、議長八人とガバナー三十三人が集まる場を提言したいと思っています。日本を変えるために何かをしてみるのは大切だと考えます。

鈴木　私は議長連絡会議を否定をする気はありませんが、三十三人のガバナーが集まって話し合えば、いろいろな問題も、割合に簡単に解決出来ると思います。そういう意味で、高橋議長のご提案に期待します。

今井　それでは会場から、大会に関してご意見はございますか。

──335・B地区ガバナーの高橋祥治

ライオン今井三和

です。年次大会とは少し違うんですが、昨日、フォーラムの開会式で、国際会長のあいさつの時、大半の会員が帰ってしまうのを見て、たいへん失礼なことだと思いました。国際大会でもそうですが、旅行社が絡んでいます。旅行社の企画ではなく、ライオンズ主導でコース設定をするなど、改革が必要だと思います。

山田　全く同感です。よく国際理事の数が少ないから日本の意見が通らないという声を聞きますが、それは違う。最終決議機関は国際大会です。三千五百クラブの会長が、必ず国際大会に参加して、新国際会長の就任演説を生で聞き、投票権を行使してくる。そうなると日本が国際協会をリード出来るんです。

高橋　私も議長連絡会議を通して各地区に呼び掛けたいと思います。まずは会場の皆さん、一緒にボストンへ行って投票しましょう。

今井　開会式とは逆に今日は終わりに近づいて参加者が増えています(笑)。それだけ素晴らしい内容だったと思いますが、残念ながら時間が参りました。更にご意見のある方は、ライオン誌へ提言をお寄せ頂きたいと思います。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

二〇〇四-〇五年度
ライオンズクラブ統計

世界のライオンズ分布図

［二〇〇五年六月三十日現在］国際本部集計

昨年度末の世界のライオンズは約四万五千クラブ、百三十万人

二〇〇五年六月末の世界のライオンズクラブは百九十四の国及び地域

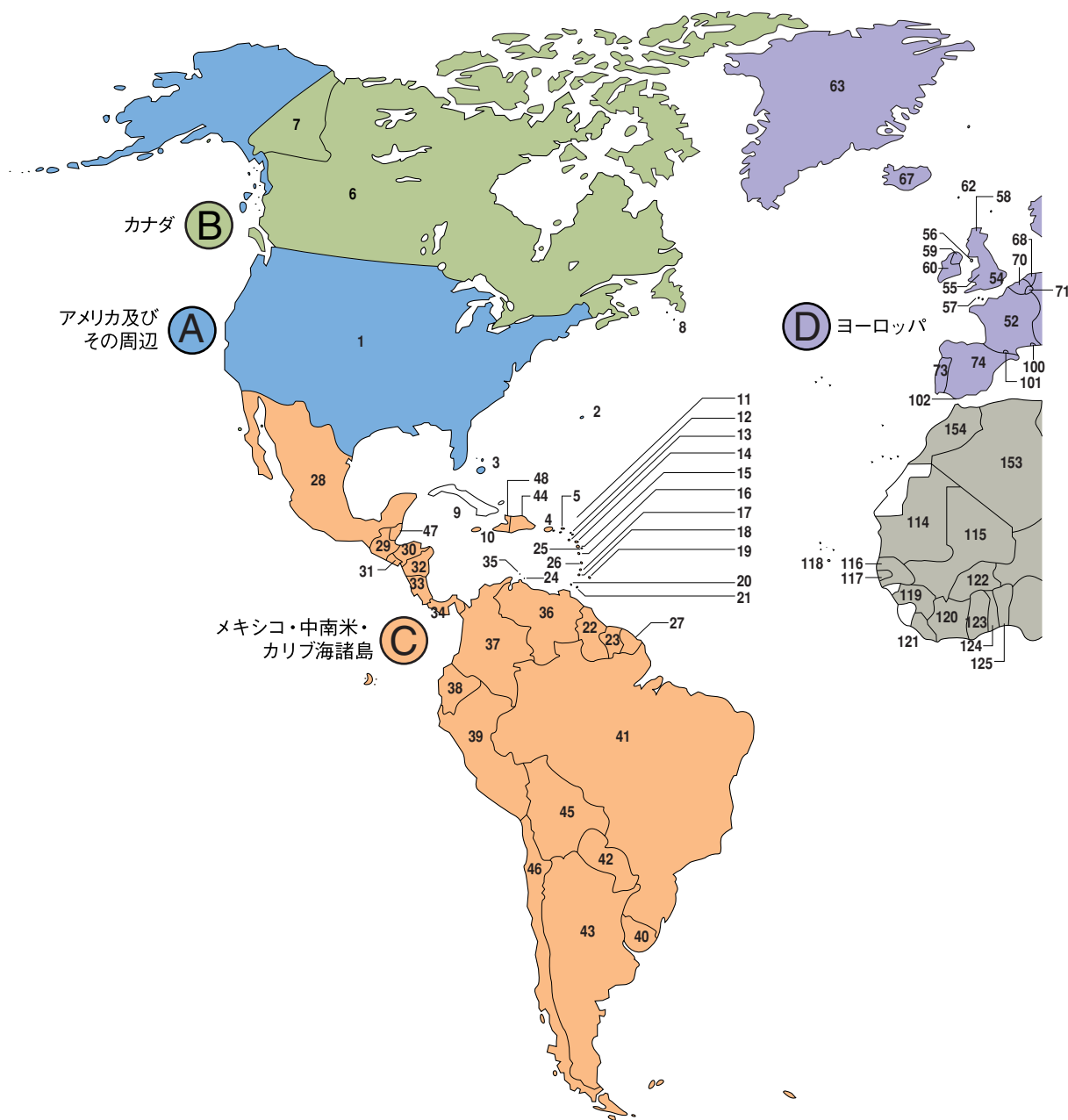
に四万五千三百五十八クラブ、会員百三十二万三千二百七十九人だった。この一年で、ライオンズ国はアフリカのスーダンが加わった。

昨年度、新たに結成されたクラブ数は千百七十九クラブ、解散が千九百八十三クラブで、九百四クラブの純減となった。

会員数も十五万六千五十四人の入会に対し、十九万八千六百三十六人の退会で、前年度に比べ四万二千五百八十二人減。クジアク前国際会長が目標とした年間五パーセントの会員純増は、マイナス三・三パーセントに終わった。

クラブ数と会員数が共にマイナスを記録するのは四年ぶり。今年度、メータ国際会長が国際プログラム「飛躍への情熱」の中で、会員の維持・増強を最優先事項としたのもうなずける。

各クラブは、メータ国際会長の打ち出した「プラス1」（一クラブにつき一人以上の会員純増）などの会員増強策に、一層前向きに取り組むことが期待される。

なお、次ページに掲載した「世界のライオンズ国一覧」の中で、国名の前にある番号は本地図の番号と対応しているので、比べながら見て頂きたい。

No.	国名	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
57	チャネル諸島（英）	105	2	79	1963
58	スコットランド（英）	105	23	370	1952
59	北アイルランド（英）	105	21	405	1958
60	アイルランド	105	95	2,399	1955
61	デンマーク	106	303	7,047	1950
62	フェロー諸島（デ）	106	5	143	1966
63	グリーンランド（デ）	106	6	107	1988
64	フィンランド	107	945	26,994	1950
65	オーランド島（フィ）	107	5	176	1955
66	イタリア	108	1,247	50,629	1951
67	アイスランド	109	88	2,286	1951
68	オランダ	110	397	12,086	1951
69	ドイツ	111	1,327	44,459	1951
70	ベルギー	112	281	7,529	1952
71	ルクセンブルク	113	21	861	1953
72	オーストリア	114	217	7,156	1952
73	ポルトガル	115	114	2,991	1953
74	スペイン	116	102	2,689	1964
75	ギリシャ	117	78	1,990	1954
76	キプロス	117/未	34	1,231	1954
77	トルコ	118	352	8,380	1963
78	ハンガリー	119	63	1,296	1989
79	エストニア	120	55	1,226	1989
80	ポーランド	121	56	1,270	1989
81	チェコ	122	24	568	1990
82	スロバキア	122	15	336	1990
83	ロシア	123/未	27	493	1990
84	ルーマニア	124	37	917	1990
85	クロアチア	126	56	1,499	1990
86	イスラエル	128	32	894	1960
87	スロベニア	129	45	1,334	1990
88	ブルガリア	130	29	675	1992
89	リトアニア	未	23	512	1990
90	ベラルーシ	未	10	206	1990
91	ウクライナ	未	7	132	1991
92	ラトビア	未	6	101	1991
93	アルバニア	未	5	84	1993
94	ボスニア･ヘルツェゴビナ	未	6	186	1996
95	マケドニア	未	7	197	1996
96	セルビア･モンテネグロ	未	2	45	1990
97	アルメニア	未	1	20	2000
98	サンマリノ	未	1	46	1959
99	バチカン	未	1	22	2003
100	モナコ	未	2	67	1961
101	アンドラ	未	1	43	1985
102	ジブラルタル（英）	未	1	33	1977
103	マルタ	未	5	185	1958
104	モルドバ	未	5	124	2002
105	グルジア	未	1	24	2003

E	インド･南アジア･アフリカ･中東	地区番号	クラブ数 7,155	会員数 185,632	結成年
106	パキスタン	305	379	6,039	1956
107	スリランカ	306	323	8,523	1958
108	バングラデシュ	315	386	8,852	1958
109	インド	321～324	4,906	136,796	1956
110	ネパール	325	211	4,779	1971
111	レバノン	351	77	1,671	1952
112	ヨルダン	351	9	206	1953
113	エジプト	352	36	751	1976
114	モーリタニア	403	4	88	1975
115	マリ	403	5	128	1957
116	セネガル	403	6	138	1955
117	ガンビア	403	2	40	2003
118	カボベルデ	403	1	21	1998
119	ギニア	403	5	125	1986
120	コートジボアール	403	15	355	1954
121	リベリア	403	1	40	2002
122	ブルキナファソ	403	12	366	1958
123	ガーナ	403	12	260	1982
124	トーゴ	403	8	198	1957
125	ベニン	403	14	472	1981
126	ニジェール	403	3	87	1960
127	チャド	403	3	62	1956
128	カメルーン	403	15	365	1955
129	中央アフリカ	403	3	80	1955
130	ガボン	403	8	217	1957
131	コンゴ人民共和国	403	9	251	1954
132	ジブチ	403	1	43	1966
133	コモロ	403	2	55	1981
134	マダガスカル	403	19	465	1956
135	レユニオン（仏）	403	5	141	1958
136	モーリシャス	403	6	174	1967
137	ナイジェリア	404	113	2,535	1964
138	コンゴ民主共和国	409	23	554	1957
139	ルワンダ	409	1	27	1959
140	ブルンジ	409	1	53	1957
141	ナミビア	410	10	193	1958
142	南アフリカ	410	162	2,605	1957
143	スワジランド	410	1	14	1979
144	エチオピア	411	5	159	1966
145	ウガンダ	411	38	877	1959
146	ケニア	411	77	1,892	1958
147	タンザニア	411	21	506	1963
148	マラウイ	412	9	221	1960
149	ジンバブエ	412	29	477	1959
150	ボツワナ	412	21	440	1968
151	ザンビア	413	56	1,349	1961
152	チュニジア	414	30	654	1968
153	アルジェリア	415	28	459	1953
154	モロッコ	416	39	721	1953
155	バーレーン	未	3	68	1978
156	アンゴラ	未	1	20	2000
157	スーダン	未	1	20	2005

F	東洋･東南アジア	地区番号	クラブ数 7,400	会員数 263,451	結成年
158	グアム（米）	204	15	351	1949
159	ミクロネシア	204	2	32	1990
160	サイパン（米）	204	3	54	1991
161	パラオ	204	1	20	1996
162	中華民国［台湾］	300	945	31,592	1953
163	フィリピン	301	386	10,758	1949
164	香港（中）	303	59	1,291	1955
165	マカオ（中）	303	2	36	1971
166	マレーシア	308	230	6,152	1959
167	シンガポール	308	72	1,731	1958
168	ブルネイ	308	2	39	1970
169	タイ	310	309	8,909	1959
170	日本	330～337	3,424	122,413	1952
171	韓国	354～355	1,877	77,967	1959
172	中国	380	62	1,842	2002
173	モンゴル	未	7	185	1993
174	カンボジア	未	4	79	1996

G	大洋州及びその周辺	地区番号	クラブ数 1,979	会員数 45,907	結成年
175	パプア･ニューギニア	201	4	96	1962
176	オーストラリア	201	1,328	28,417	1947
177	ノーフォーク島（豪）	201	2	41	1964
178	西サモア	202	1	18	1965
179	フィジー	202	5	81	1963
180	ニュージーランド	202	450	11,977	1955
181	米領サモア（米）	202	1	51	1982
182	インドネシア	307	172	4,843	1969
183	ニューカレドニア（仏）	未	13	319	1961
184	バヌアツ	未	1	8	1978
185	タヒチ（仏）	未	2	56	1960

※1国際協会ではライオンズ国及び地理的領域を194と公式に発表しています。本表は国際本部集計を基に作成したものですが、集計表には185の国及び領域のみの記載しかなく、その他9カ国は不明です。
※2米領バージン諸島＝クラブ数8、会員数195

●国名及び領域名は『世界の国一覧表』（外務省外務報道官編集）を参考にしました。

略号：未:地区未編成　(蘭)オランダ　(デ)デンマーク
(米)アメリカ　(ポ)ポルトガル　(フィ)フィンランド
(英)イギリス　(カ)カナダ　(豪)オーストラリア
(仏)フランス　(南ア)南アフリカ　(中)中華人民共和国

ライオンズ国一覧

本表は世界のライオンズ国または地理的領域の地区番号、並びにクラブ数、会員数とその結成年の一覧である。2005年6月30日現在、国際協会は194の国及び地理的領域に45,358クラブ、1,323,279人の会員を数える。

また7つの地域別にクラブ数と会員数を表示した。

なお、国及び領域名の前の番号は、前ページの地図上の数字と合致する。

A アメリカ及びその周辺		地区番号	クラブ数 13,486	会員数 414,079	結成年
	国または地理的領域				
1	アメリカ	1～50	13,350	409,031	1917
	イリノイ州	1	613	20,153	1917
	テキサス州	2	958	30,165	1917
	オクラホマ州	3	223	6,150	1917
	カリフォルニア州	4/21/36	795	23,693	1917
	ネバダ州	4	44	1,300	1920
	ミネソタ州	5M	571	21,700	1918
	ノースダコタ州	5	117	3,476	1921
	サウスダコタ州	5	92	2,799	1921
	コロラド州	6	166	4,796	1917
	アーカンソー州	7	167	4,532	1917
	ルイジアナ州	8	203	6,001	1917
	アイオワ州	9	371	11,317	1920
	ミシガン州	10／11	532	16,569	1919
	テネシー州	12	217	6,005	1917
	オハイオ州	13	487	15,361	1920
	ペンシルベニア州	14	840	26,511	1920
	ワイオミング州	15	57	1,568	1920
	ニュージャージー州	16	237	6,666	1920
	カンザス州	17	317	8,063	1919
	ジョージア州	18	259	7,296	1920
	ワシントン州	19	250	8,434	1920
	アイダホ州	19/39	105	2,787	1923
	ニューヨーク州	20	590	18,125	1921
	アリゾナ州	21/40	149	4,067	1923
	メリーランド州	22	191	6,496	1921
	コロンビア特別区	22	8	196	1921
	デラウェア州	22	38	1,518	1922
	コネチカット州	23	162	6,169	1921
	バージニア州	24	313	9,575	1921
	インディアナ州	25	435	13,849	1920
	ミズーリ州	26	437	12,612	1917
	ウィスコンシン州	27	580	21,121	1921
	ユタ州	28	85	1,910	1921
	ウエストバージニア州	29	208	5,490	1921
	ミシシッピ州	30	146	3,737	1921
	ノースカロライナ州	31	385	9,406	1922
	サウスカロライナ州	32	164	4,961	1922
	マサチューセッツ州	33	247	8,670	1922
	アラバマ州	34	167	4,557	1922
	フロリダ州	35	298	7,570	1922
	オレゴン州	36/39	199	5,707	1921
	モンタナ州	37	80	2,279	1921
	ネブラスカ州	38	166	4,556	1920
	ニューメキシコ州	40	69	1,625	1923
	メーン州	41	86	2,824	1923
	ロードアイランド州	42	36	1,507	1922
	ケンタッキー州	43	217	6,599	1920
	ニューハンプシャー州	44	90	2,604	1923
	バーモント州	45	45	1,408	1924
	アラスカ州	49	74	2,689	1944
	ハワイ州	50	64	1,862	1926
2	バーミューダ諸島（英）	20	7	200	1946
3	バハマ	35/未	2	41	1953
4	プエルトリコ	51	126	4,791	1936
5	米領バージン諸島（米）※2	51(/60)	1	16	1966

B カナダ		地区番号	クラブ数 1,777	会員数 42,230	結成年
6	カナダ	5M/5/19/37/41/49/A/U	1,775	42,181	1920
	オンタリオ州	5M/A/U	583	14,900	1920
	マニトバ州	5M	93	1,956	1921
	サスカチワン州	5	178	4,145	1928
	ブリティッシュ･コロンビア州	19/37/49	236	5,276	1921
	アルバータ州	37	223	4,918	1929
	ノースウエスト･テリトリーズ	37/49	3	40	1951
	ニューブラウンズウィック	41	66	1,509	1938
	プリンスエドワード島	41	27	557	1952
	ノバスコシア州	41	69	1,872	1945
	ニューファウンドランド州	41	95	2,320	1948
	ケベック州	A/U	196	4,579	1922
7	ユーコン･テリトリー（カ）	49	6	109	1951
8	サンピエール･ミクロン諸島	U	2	49	1953

C メキシコ･中南米･カリブ海諸島		地区番号	クラブ数 4,100	会員数 96,652	結成年
5	米領バージン諸島（米）※2	60(/51)	7	179	1966
9	ケイマン諸島	60	3	142	1972
10	ジャマイカ	60	26	780	1965
11	アンギラ	60	1	23	1979
12	英領バージン諸島（英）	60	4	91	1972
13	セントクリストファー･ネイビス	60	2	62	1971
14	アンチグア･バーブーダ	60	1	61	1968
15	モントセラト（英）	60	1	27	1985
16	ドミニカ（英）	60	2	35	1968
17	セントルシア	60	5	114	1967
18	セントビンセント（英）	60	4	66	1964
19	バルバドス	60	8	267	1961
20	グレナダ（英）	60	2	54	1965
21	トリニダード･トバゴ	60	29	770	1962
22	ガイアナ	60	20	518	1960
23	スリナム	60	13	353	1957
24	蘭領アンチル（蘭）	60/E	5	220	1946
25	グアドループ島（仏）	63	12	266	1969
26	マルチニーク島（仏）	63	9	216	1967
27	仏領ギアナ（仏）	63	7	196	1970
28	メキシコ	B	479	12,504	1931
29	グアテマラ	D	36	905	1941
30	ホンジュラス	D	35	1,172	1942
31	エルサルバドル	D	32	1,083	1942
32	ニカラグア	D	20	551	1942
33	コスタリカ	D	60	1,690	1944
34	パナマ	D	52	1,194	1935
35	アルバ（蘭）	E	1	62	1947
36	ベネズエラ	E	130	3,279	1943
37	コロンビア	F	245	4,413	1945
38	エクアドル	G	93	2,890	1946
39	ペルー	H	221	5,230	1944
40	ウルグアイ	J	130	2,771	1951
41	ブラジル	L	1,651	39,112	1952
42	パラグアイ	M	74	1,964	1952
43	アルゼンチン	O	280	5,073	1954
44	ドミニカ共和国	R	130	3,490	1964
45	ボリビア	S	61	1,336	1948
46	チリ	T	202	3,247	1948
47	ベリーズ	未	4	182	1973
48	ハイチ	未	3	64	1982

D ヨーロッパ		地区番号	クラブ数 9,461	会員数 275,328	結成年
49	スウェーデン	101	532	14,262	1948
50	スイス	102	223	8,812	1948
51	リヒテンシュタイン	102	1	47	1953
52	フランス	103	1,247	31,071	1948
53	ノルウェー	104	515	13,605	1949
54	イングランド（英）	105	708	14,106	1949
55	ウェールズ（英）	105	48	850	1963
56	マン島（英）	105	1	33	1968

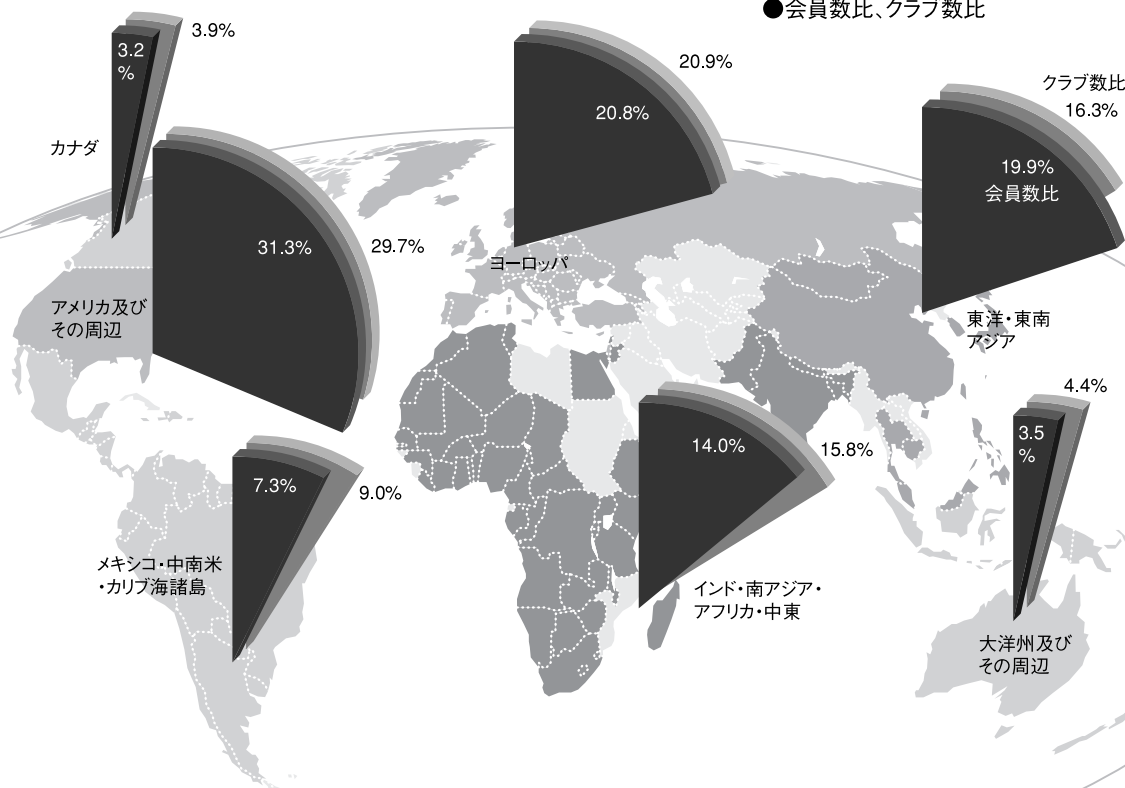
各地域の情勢

［二〇〇五年六月三十日現在］　国際本部集計

東洋・東南アジア（ＯＳＥＡＬ）地域は、三位に返り咲き

国際会則に定められている七つの会則地域別にクラブ数、会員数を比較してみよう。会員数は、ヨーロッパを除く全地域で減少した。中でも目立つのは、インド・南アジア・アフリカ・中東地域。世界全体の解散クラブの半分を占める約四百五十クラブが消え、会員約一万四千人を失った。同地域は二〇〇二・〇三年度、約一千もの新クラブを結成。クラブ数で東洋・東南アジアを抜いて三位に浮上したが、一年をおいて元に戻ってしまった。替わって東洋・東南アジア地域は三位に返り咲いたが、クラブ数は微増、会員数は減少と元気がない。

一人気を吐いているのがヨーロッパだ。ここ数年、連続してクラブ数と会員数を伸ばしており、減少傾向にある第一位のアメリカ及びその周辺との差を詰めつつある。

●会員数比、クラブ数比

	クラブ数	結成	解散	純増	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増	会員数比
アメリカ及びその周辺	13,486	129	366	△237	29.7	414,079	43,520	59,969	△16,449	31.3
カナダ	1,777	15	33	△18	3.9	42,230	4,247	5,449	△1,202	3.2
メキシコ・中南米・カリブ海諸島	4,100	85	339	△254	9.0	96,652	12,058	20,000	△7,942	7.3
ヨーロッパ	9,461	178	122	56	20.9	275,328	22,714	22,254	460	20.8
インド・南アジア・アフリカ・中東	7,155	423	881	△458	15.8	185,632	29,303	42,851	△13,548	14.0
東洋・東南アジア	7,400	207	203	4	16.3	263,451	37,938	41,559	△3,621	19.9
大洋州及びその周辺	1,979	42	39	3	4.4	45,907	6,274	6,554	△280	3.5
合計	45,358	1,079	1,983	△904	100.0	1,323,279	156,054	198,636	△42,582	100.0

※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

東洋・東南アジアの情勢

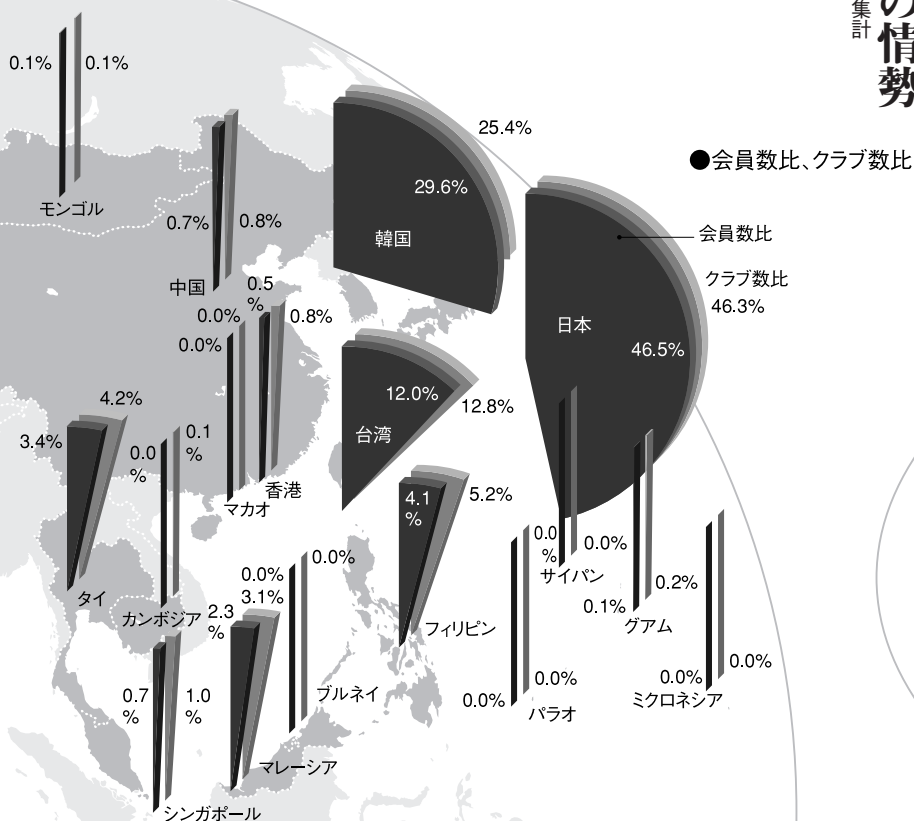
［二〇〇五年六月三十日現在］国際本部集計

韓国の増加ペースが鈍り、日本は減少傾向が続く

東洋・東南アジア地域では、年百クラブというハイペースで純増を続けていた韓国の勢いが鈍った。前年度の倍近い六十七クラブの解散が響いた。また、前年度三十三クラブ純増をマークしたフィリピンが、五十六クラブ純減と大きく崩れた。

日本はクラブ数こそ増えたものの、会員数の減少が止まらず、毎年数千人単位の会員が退会し続けている。会員数比も二〇〇三・〇四年度に、五〇㌫の大台を割ったままだ。

好調なのは中華圏だ。台湾は前年度に引き続いて、クラブ数、会員数共に増やしている。特に中国本土は、二〇〇一・〇二年度に初めてクラブが結成されて以来、好調な経済を背景に順調な伸びを示している。

地域全体では日本とフィリピンでのマイナスを、韓国と台湾が補う形となっている。

	クラブ数	結成	解散	純増	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増	会員数比
グアム	15	2	1	1	0.2	351	114	77	37	0.1
ミクロネシア	2	0	0	0	0.0	32	3	2	1	0.0
サイパン	3	0	0	0	0.0	54	24	25	△1	0.0
パラオ	1	0	0	0	0.0	20	13	14	△1	0.0
台湾	945	29	10	19	12.8	31,592	6,328	5,637	691	12.0
フィリピン	386	6	62	△56	5.2	10,758	1,165	3,457	△2,292	4.1
香港	59	5	0	5	0.8	1,291	267	168	99	0.5
マカオ	2	0	0	0	0.0	36	3	3	0	0.0
マレーシア	230	11	2	9	3.1	6,152	944	664	280	2.3
シンガポール	72	1	0	1	1.0	1,731	382	355	27	0.7
ブルネイ	2	0	0	0	0.0	39	4	1	3	0.0
タイ	309	10	18	△8	4.2	8,909	1,360	1,642	△282	3.4
日本	3,424	45	43	2	46.3	122,413	10,173	13,749	△3,576	46.5
韓国	1,877	81	67	14	25.4	77,967	16,593	15,479	1,114	29.6
中国	62	16	0	16	0.8	1,842	528	263	265	0.7
モンゴル	7	1	0	1	0.1	185	37	23	14	0.1
カンボジア	4	0	0	0	0.1	79	0	0	0	0.0
合計	7,400	207	203	4	100.0	263,451	37,938	41,559	△3,621	100.0

主要十カ国の情勢

［二〇〇五年六月三十日現在］国際本部集計

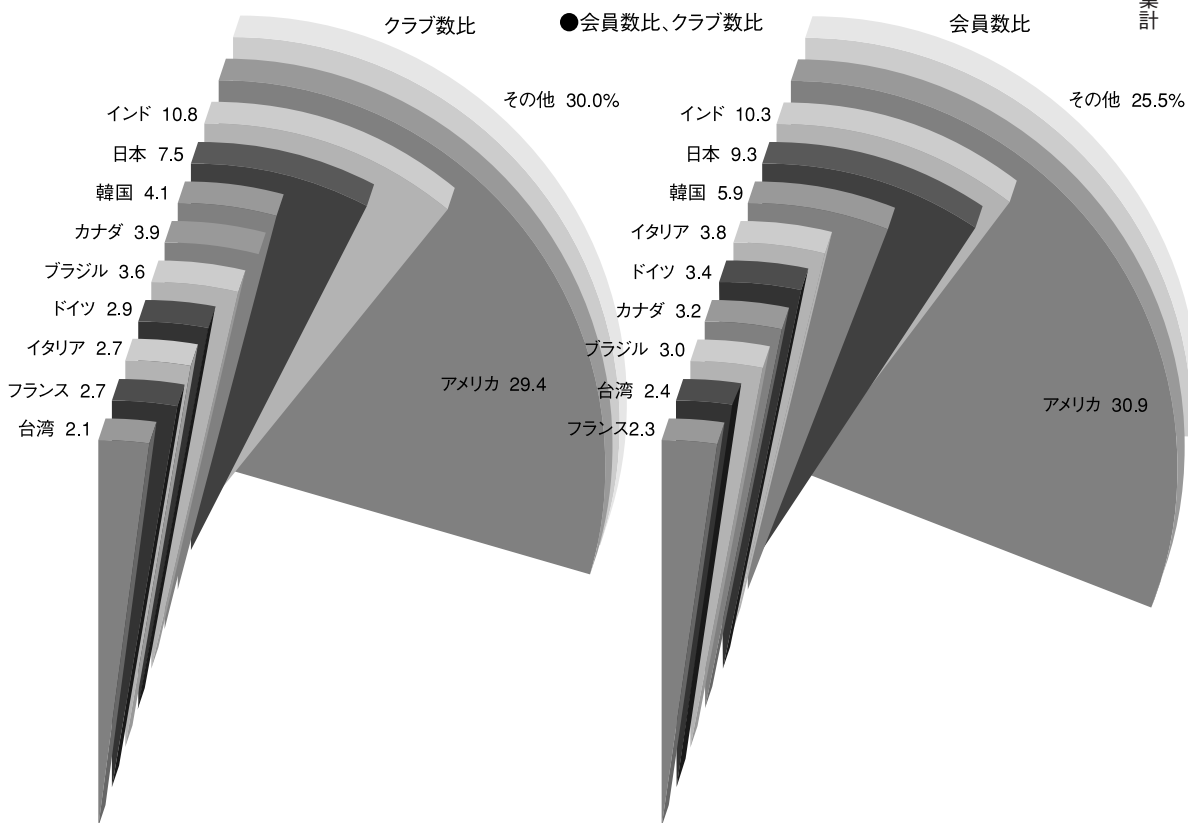
上位七カ国に順位の変動なし、目立つドイツの堅調ぶり

百九十四のライオンズ国のうち、会員数の上位十カ国は例年通りの顔ぶれで、そのうち六カ国が純減となった。順位の変動は、台湾がフランスを抜いて九位に戻ったのみ。

クラブ数は、新旧の両国際会長のお膝元、インドとアメリカで減少が著しい。なお「その他」の三百十九クラブ純減の約三〇パーセントがパキスタンだった。順位は、イタリアがフランスと同数になり八位タイに浮上した。

好調なのは韓国とドイツだ。特にドイツではここ数年、年間約三十クラブが結成され、一千人が入会している。一方、解散クラブ数はゼロに近い。

他のヨーロッパ諸国でも解散クラブ数は、ゼロないし一桁台が多い。こうした既存クラブの安定性が、堅調な伸びを見せるヨーロッパの原動力の一つとなっている。

●会員数比、クラブ数比

	クラブ数	結成	解散	純増	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増	会員数比
アメリカ	13,350	128	364	△236	29.4	409,031	43,071	59,327	△16,256	30.9
インド	4,906	245	561	△316	10.8	136,796	19,988	30,412	△10,424	10.3
日本	3,424	45	43	2	7.5	122,413	10,173	13,749	△3,576	9.3
韓国	1,877	81	67	14	4.1	77,967	16,593	15,479	1,114	5.9
イタリア	1,247	31	8	23	2.7	50,629	4,302	4,257	45	3.8
ドイツ	1,327	33	0	33	2.9	44,459	2,766	1,641	1,125	3.4
カナダ	1,775	15	33	△18	3.9	42,181	4,244	5,442	△1,198	3.2
ブラジル	1,651	26	135	△109	3.6	39,112	4,649	7,619	△2,970	3.0
台湾	945	29	10	19	2.1	31,592	6,328	5,637	691	2.4
フランス	1,247	15	12	3	2.7	31,071	2,446	2,868	△422	2.3
その他	13,609	431	750	△319	30.0	338,028	41,494	52,205	△10,711	25.5
合計	45,358	1,079	1,983	△904	100.0	1,323,279	156,054	198,636	△42,582	100.0

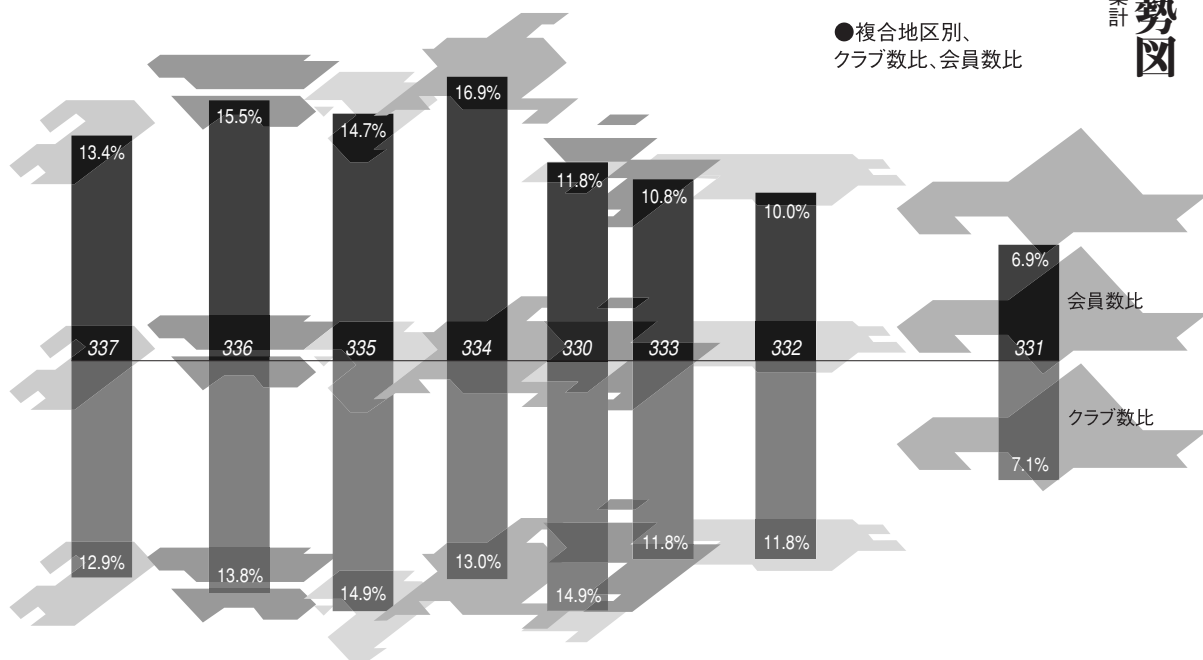
※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

複合地区・準地区情勢図

【二〇〇五年六月三十日現在】国際本部集計

三十準地区で会員減少

国際本部の集計によると、〇五年六月末の日本ライオンズの情勢は、三千五百七十六クラブ、会員十二万二千四百十三人だった。クラブ数では、昨年度内に新しく結成されたクラブは四十五、解散したクラブは四十三クラブで、前年同期に比べて二クラブ増となった。解散クラブは、過去最高だった〇三年度の二十二クラブから倍増。十三地区でクラブ数を減らした。会員数は全体で三千五百七十六人の減少となった。二〇〇〇年六月末の十四万八千七百六十二人から比較すると、五年間で二万六千三百四十九人の減少である。地区別に見ると、333・C地区、337・D地区の二地区を除く三十準地区で減少している。全国的なマイナス成長の中で、337・D地区が百六十一人の純増と突出している。

●複合地区別、
クラブ数比、会員数比

複合地区	準地区	クラブ数 2004.6	クラブ数 2005.6	会員数 2004.6	会員数 2005.6	クラブ増加	会員増加
330	330-A	200	207	5,637	5,607	7	△ 30
	330-B	193	192	6,110	5,876	△ 1	△ 234
	330-C	112	110	3,139	3,011	△ 2	△ 128
小計		505	509	14,886	14,494	4	△ 392
331	331-A	78	78	3,008	2,929	0	△ 79
	331-B	101	101	3,422	3,270	0	△ 152
	331-C	62	63	2,346	2,261	1	△ 85
小計		241	242	8,776	8,460	1	△ 316
332	332-A	68	68	2,344	2,217	0	△ 127
	332-B	57	57	2,008	1,937	0	△ 71
	332-C	85	84	1,964	1,913	△ 1	△ 51
	332-D	83	81	2,459	2,333	△ 2	△ 126
	332-E	55	56	2,121	2,080	1	△ 41
	332-F	57	57	1,758	1,701	0	△ 57
小計		405	403	12,654	12,181	△ 2	△ 473
333	333-A	142	135	5,439	5,140	△ 7	△ 299
	333-B	140	140	4,557	4,430	0	△ 127
	333-C	126	128	3,597	3,606	2	9
小計		408	403	13,593	13,176	△ 5	△ 417
334	334-A	119	117	6,246	6,079	△ 2	△ 167
	334-B	92	90	4,392	4,194	△ 2	△ 198

複合地区	準地区	クラブ数 2004.6	クラブ数 2005.6	会員数 2004.6	会員数 2005.6	クラブ増加	会員増加
	334-C	84	84	3,688	3,577	0	△ 111
	334-D	99	98	4,572	4,435	△ 1	△ 137
	334-E	55	55	2,551	2,430	0	△ 121
小計		449	444	21,449	20,715	△ 5	△ 734
335	335-A	116	115	3,386	3,191	△ 1	△ 195
	335-B	197	203	7,617	7,479	6	△ 138
	335-C	124	123	4,930	4,873	△ 1	△ 57
	335-D	69	69	2,626	2,501	0	△ 125
小計		506	510	18,559	18,044	4	△ 515
336	336-A	153	154	6,795	6,615	1	△ 180
	336-B	102	102	4,236	4,069	0	△ 167
	336-C	107	106	4,283	4,230	△ 1	△ 53
	336-D	110	110	4,204	4,073	0	△ 131
小計		472	472	19,518	18,987	0	△ 531
337	337-A	118	120	5,273	5,162	2	△ 111
	337-B	94	93	3,305	3,128	△ 1	△ 177
	337-C	84	82	3,342	3,271	△ 2	△ 71
	337-D	140	146	4,634	4,795	6	161
小計		436	441	16,554	16,356	5	△ 198
合計		3,422	3,424	125,989	122,413	2	△ 3,576

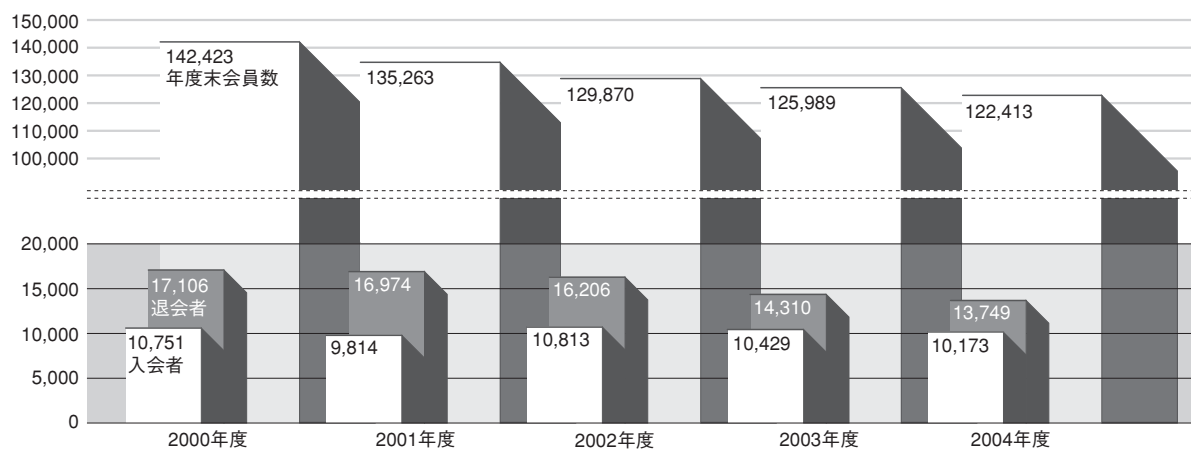
二〇〇四-〇五年度会員数の推移

国際本部集計

十二年連続となるマイナス成長の日本ライオンズ

昨年、日本ライオンズは会員数十二万五千九百八十九人でスタートし、最終的には十二万二千四百十三人で年度を終了した。会員数十二万人台は約三十年前の一九七六年度の水準。ちなみにその当時は、年に五千人ペースで会員を純増させた成長期の真っただ中であった。入退会者の動静を月別に見ると、年度前半は入会が上回るものの、十二月と年度末四、五、六月で退会が上回った。特に半期末十二月と年度末六月に退会者が激増している。これは、クラブの会費徴収が半期ごとであるためと考えられる。年間の入会者は一万百七十三人、退会者は一万三千七百四十九で、三千五百七十六人の減少となった。会員数のマイナス成長は十二年連続のこと。百六十一人の大幅な純増を果たした337-D地区は、退会者は五百三十二人と他地区と変わらない水準だが、新会員が六百九十三人と多かった。年度内に六クラブの新結成が功を奏した。一方、330-A、335-B地区、336-A地区でも六百人を超える入会者があったものの、退会者がそれを上回り純減となっている。

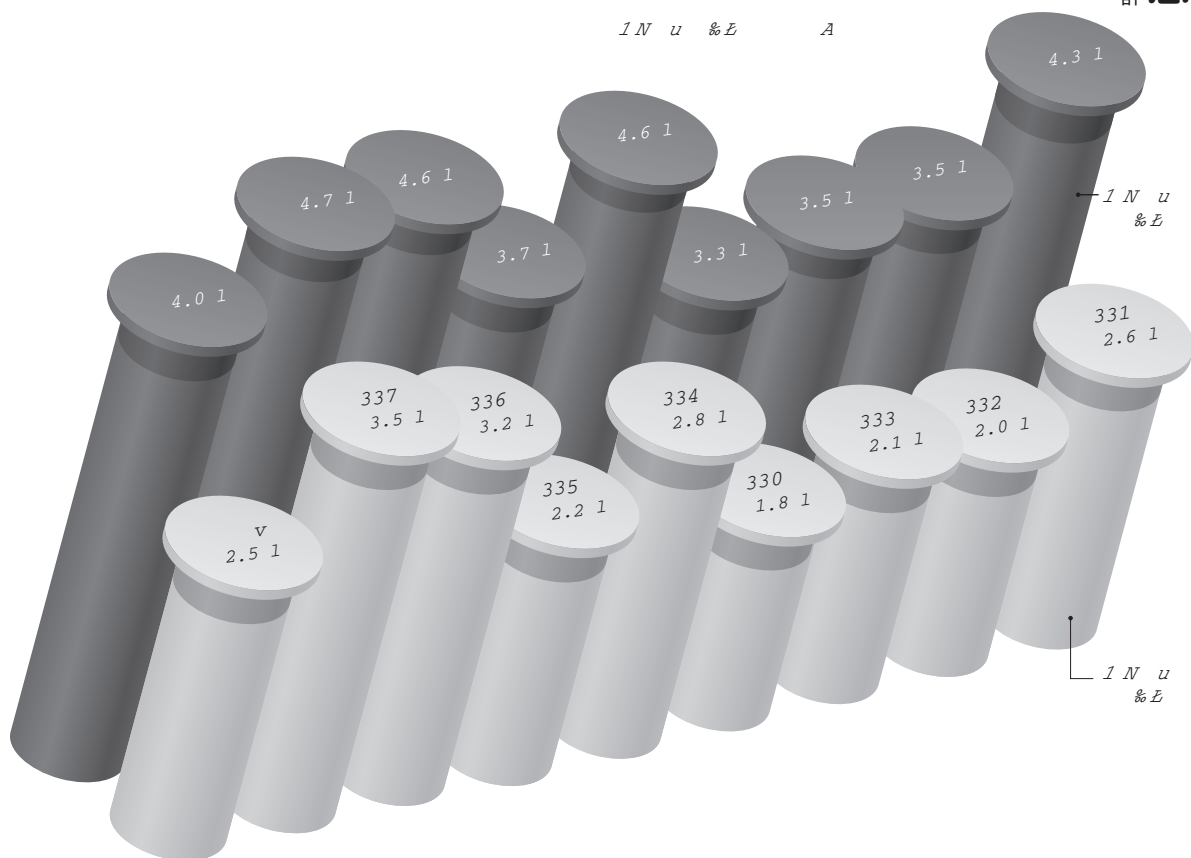
2005年1月			2005年2月			2005年3月			2005年4月			2005年5月			2005年6月			年間合計		
新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	純増
26	54	5,661	26	28	5,659	30	34	5,655	104	37	5,722	70	62	5,730	59	182	5,607	609	639	△30
26	47	6,076	22	21	6,077	62	26	6,113	23	54	6,082	35	37	6,080	28	232	5,876	466	700	△234
25	23	3,093	2	7	3,088	25	14	3,099	5	12	3,092	9	11	3,090	29	108	3,011	196	324	△128
18	29	3,028	19	21	3,026	33	19	3,040	21	24	3,037	21	22	3,036	4	111	2,929	286	365	△79
18	11	3,398	16	21	3,393	12	38	3,367	48	25	3,390	10	24	3,376	7	113	3,270	215	367	△152
13	18	2,372	8	15	2,365	6	24	2,347	7	17	2,337	8	18	2,327	22	88	2,261	213	298	△85
11	13	2,323	8	9	2,322	21	19	2,324	7	9	2,322	5	29	2,298	3	84	2,217	138	265	△127
11	9	2,013	11	9	2,015	9	7	2,017	11	11	2,017	4	17	2,004	5	72	1,937	129	200	△71
7	25	1,984	17	10	1,991	9	13	1,987	9	20	1,976	7	17	1,966	11	64	1,913	177	228	△51
19	12	2,459	5	6	2,458	8	18	2,448	17	20	2,445	9	27	2,427	14	108	2,333	203	329	△126
52	13	2,149	11	2	2,158	9	18	2,149	14	16	2,147	10	12	2,145	7	72	2,080	178	219	△41
8	18	1,732	5	5	1,732	30	12	1,750	4	7	1,747	8	9	1,746	11	56	1,701	131	188	△57
33	56	5,362	38	16	5,384	15	58	5,341	33	72	5,302	23	36	5,289	17	166	5,140	331	630	△299
27	27	4,489	84	18	4,555	22	14	4,563	6	20	4,549	12	26	4,535	9	114	4,430	310	437	△127
45	12	3,647	43	24	3,666	42	30	3,678	12	18	3,672	42	25	3,689	48	131	3,606	368	359	9
44	39	6,284	30	21	6,293	33	24	6,302	29	27	6,304	17	38	6,283	20	224	6,079	370	537	△167
26	32	4,361	30	24	4,367	28	27	4,368	23	34	4,357	19	35	4,341	17	164	4,194	289	487	△198
21	26	3,691	15	14	3,692	19	21	3,690	12	20	3,682	10	29	3,663	16	102	3,577	244	355	△111
30	23	4,640	14	21	4,633	22	35	4,620	8	34	4,594	14	29	4,579	16	160	4,435	301	438	△137
6	14	2,560	17	14	2,563	18	12	2,569	12	7	2,574	4	17	2,561	7	138	2,430	144	265	△121
21	14	3,372	16	16	3,372	14	10	3,376	12	4	3,384	7	18	3,373	13	195	3,191	210	405	△195
48	43	7,564	64	22	7,606	77	37	7,646	83	27	7,702	36	30	7,708	73	302	7,479	618	756	△138
35	37	5,005	37	21	5,021	30	37	5,014	24	27	5,011	19	27	5,003	22	152	4,873	407	464	△57
15	17	2,616	19	6	2,629	11	9	2,631	6	11	2,626	4	17	2,613	4	116	2,501	134	259	△125
48	45	6,790	25	55	6,760	80	60	6,780	65	47	6,798	45	36	6,807	40	232	6,615	618	798	△180
29	23	4,217	14	21	4,210	35	41	4,204	25	24	4,205	25	27	4,203	22	156	4,069	319	486	△167
43	23	4,346	25	24	4,347	15	21	4,341	18	27	4,332	23	13	4,342	16	128	4,230	339	392	△53
33	25	4,211	16	40	4,187	53	50	4,190	46	45	4,191	20	50	4,161	27	115	4,073	385	516	△131
39	21	5,295	36	28	5,303	29	18	5,314	53	22	5,345	32	51	5,326	44	208	5,162	465	576	△111
24	23	3,297	38	14	3,321	11	41	3,291	19	21	3,289	15	60	3,244	17	133	3,128	293	470	△177
26	26	3,349	63	19	3,393	24	32	3,385	27	76	3,336	24	13	3,347	15	91	3,271	394	465	△71
49	30	4,747	96	31	4,812	98	62	4,848	52	38	4,862	27	35	4,854	72	131	4,795	693	532	161
876	828	126,131	870	603	126,398	930	881	126,447	835	853	126,429	614	897	126,146	715	4,448	122,413	10,173	13,749	△3,576

2000～2004年度 年度末会員数と入退会比較

地区	2004年6月	2004年7月			2004年8月			2004年9月			2004年10月			2004年11月			2004年12月		
	会員数	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末
330-A	5,637	87	57	5,667	46	33	5,680	63	28	5,715	60	27	5,748	19	31	5,736	19	66	5,689
330-B	6,110	87	60	6,137	30	43	6,124	46	37	6,133	29	23	6,139	34	16	6,157	44	104	6,097
330-C	3,139	32	41	3,130	2	14	3,118	17	9	3,126	17	55	3,088	11	8	3,091	22	22	3,091
331-A	3,008	66	45	3,029	19	6	3,042	24	18	3,048	13	19	3,042	18	23	3,037	30	28	3,039
331-B	3,422	50	50	3,422	2	9	3,415	19	10	3,424	16	17	3,423	5	9	3,419	12	40	3,391
331-C	2,346	41	34	2,353	20	23	2,350	41	14	2,377	25	12	2,390	9	13	2,386	13	22	2,377
332-A	2,344	38	38	2,344	10	3	2,351	13	19	2,345	9	4	2,350	10	10	2,350	3	28	2,325
332-B	2,008	30	25	2,013	11	6	2,018	13	7	2,024	8	9	2,023	1	10	2,014	15	18	2,011
332-C	1,964	47	20	1,991	24	10	2,005	19	10	2,014	3	4	2,013	11	16	2,008	13	19	2,002
332-D	2,459	34	40	2,453	20	13	2,460	8	11	2,457	17	12	2,462	16	31	2,447	36	31	2,452
332-E	2,121	36	26	2,131	14	10	2,135	5	4	2,136	7	13	2,130	9	6	2,133	4	27	2,110
332-F	1,758	32	37	1,753	11	7	1,757	3	3	1,757	9	17	1,749	8	9	1,748	2	8	1,742
333-A	5,439	56	54	5,441	23	20	5,444	24	34	5,434	16	30	5,420	18	21	5,417	35	67	5,385
333-B	4,557	43	84	4,516	42	29	4,529	20	15	4,534	20	27	4,527	15	23	4,519	10	40	4,489
333-C	3,597	36	24	3,609	25	19	3,615	22	16	3,621	20	19	3,622	16	14	3,624	17	27	3,614
334-A	6,246	94	36	6,304	22	20	6,306	13	12	6,307	34	12	6,329	21	21	6,329	13	63	6,279
334-B	4,392	49	44	4,397	23	16	4,404	18	17	4,405	24	16	4,413	21	20	4,414	11	58	4,367
334-C	3,688	61	42	3,707	21	6	3,722	8	12	3,718	27	21	3,724	17	14	3,727	17	48	3,696
334-D	4,572	67	38	4,601	52	18	4,635	19	18	4,636	23	9	4,650	16	16	4,650	20	37	4,633
334-E	2,551	29	16	2,564	10	5	2,569	4	5	2,568	18	8	2,578	9	8	2,579	10	21	2,568
335-A	3,386	56	29	3,413	11	13	3,411	29	16	3,424	16	11	3,429	6	14	3,421	9	65	3,365
335-B	7,617	72	61	7,628	48	23	7,653	29	37	7,645	34	24	7,655	32	31	7,656	22	119	7,559
335-C	4,930	87	45	4,972	38	14	4,996	36	14	5,018	39	23	5,034	22	25	5,031	18	42	5,007
335-D	2,626	24	15	2,635	9	4	2,640	10	16	2,634	21	7	2,648	5	10	2,643	6	31	2,618
336-A	6,795	90	82	6,803	60	40	6,823	50	44	6,829	49	37	6,841	39	33	6,847	27	87	6,787
336-B	4,236	44	55	4,225	40	18	4,247	23	31	4,239	19	19	4,239	27	14	4,252	16	57	4,211
336-C	4,283	86	37	4,332	28	23	4,337	29	14	4,352	21	29	4,344	17	14	4,347	18	39	4,326
336-D	4,204	77	81	4,200	29	18	4,211	18	16	4,213	19	19	4,213	25	21	4,217	22	36	4,203
337-A	5,273	87	63	5,297	35	24	5,308	33	19	5,322	21	16	5,327	26	34	5,319	30	72	5,277
337-B	3,305	57	68	3,294	24	25	3,293	28	22	3,299	18	19	3,298	39	9	3,328	3	35	3,296
337-C	3,342	49	54	3,337	21	12	3,346	33	33	3,346	33	58	3,321	58	23	3,356	21	28	3,349
337-D	4,634	77	55	4,656	49	28	4,677	37	28	4,686	31	23	4,694	51	29	4,716	54	42	4,728
合　計	125,989	1,821	1,456	126,354	819	552	126,621	754	589	126,786	716	639	126,863	631	576	126,918	592	1,427	126,083

複合地区別会員動態

【二〇〇五年六月三十日現在】国際本部集計

昨年度の日本ライオンズの会員減少は一クラブ平均一・五人

国際協会集計による昨年度の日本ライオンズの会員動態を見てみよう。新クラブ結成を除いた既存クラブの入退会者は、日本全体で平均二・五人の入会、同四・〇人の退会で、一クラブ当たり一・五人が減少したことになる。複合地区ごとに比較すると、330複合地区が一クラブ当たりの入会者、退会者がいずれも八複合地区中最少で会員移動が少ない。逆に337複合地区は入会者、退会者がいずれも最多で会員移動が多いのが分かる。新クラブを含めた一クラブ当たりの平均会員数は三十五・八人で、五年前の二〇〇〇年六月末の四十四・六人から比べると八・八人減少した。複合地区別に見ると、四十五・九人と最も多い334複合地区だけが四十人台で、逆に平均会員数の少ない330複合地区、332複合地区は二十人台となっている。

	新入・再入会	退会	純増	チャーター・メンバー	純増 ※含新クラブ	1クラブ当たり入会者	1クラブ当たり退会者	平均会員数	平均会員数 ※含新クラブ	転籍	年度末会員数	年度末クラブ数
330複合地区	928	1,663	△735	260	△475	1.8	3.3	28.0	28.5	95	14,494	509
331複合地区	616	1,030	△414	59	△355	2.6	4.3	34.7	35.0	31	8,460	242
332複合地区	820	1,429	△609	94	△515	2.0	3.5	29.7	30.2	34	12,181	403
333複合地区	868	1,426	△558	88	△470	2.1	3.5	31.9	32.7	64	13,176	403
334複合地区	1,258	2,082	△824	46	△778	2.8	4.6	45.9	46.7	20	20,715	444
335複合地区	1,123	1,884	△761	209	△552	2.2	3.7	35.2	35.4	18	18,044	510
336複合地区	1,522	2,192	△670	100	△570	3.2	4.6	39.9	40.2	36	18,987	472
337複合地区	1,535	2,043	△508	262	△246	3.5	4.7	36.8	37.1	52	16,356	441
合計	8,670	13,749	△5,079	1,118	△3,961	2.5	4.0	35.3	35.8	350	122,413	3,424

※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

入退会者調査

［二〇〇五年九月〜十月］
ライオン誌日本語版事務所集計

若い会員の入会が増加

　国内の全クラブを対象に実施したクラブ・アンケートの結果から、二〇〇四・〇五年度の入退会者の実像を探る。新会員の年齢層は五十歳代の四〇・七パーセント、四十歳代の二四・六パーセントで全体の六五・三パーセントを占め、昨年と横ばい。二十代、三十代の入会者が合わせて一一・九パーセントは昨年の約五倍。六十歳以上は二二・八パーセントと昨年の半分以下で、若い会員の入会が増えている。退会者は在籍年数が短い人に多く、三年未満が退会者全体の四分の一、五年以内では約四割に上る。退会理由は仕事上の理由が最も多く、全体の半分。次いで健康上の理由、死亡の順で、これは昨年度と同じ。

　アンケート結果の詳細は、ライオンズクラブの公式ウェブサイト（www.lionsclubs. org）に掲載している。

調査時期／2005年9月20日～10月20日
調査対象／全国 3,419クラブ
回答数／1,538クラブ
回収率／45.0％
調査機関／ライオン誌日本語版事務所

Q1. 昨年度(2004-05年度) 中に入会した新会員の年齢層。

1. 20歳代 ……1.5%
2. 30歳代 ……10.4%
3. 40歳代 ……24.6%
4. 50歳代 ……40.7%
5. 60歳代 ……15.1%
6. 70歳代 ……7.7%

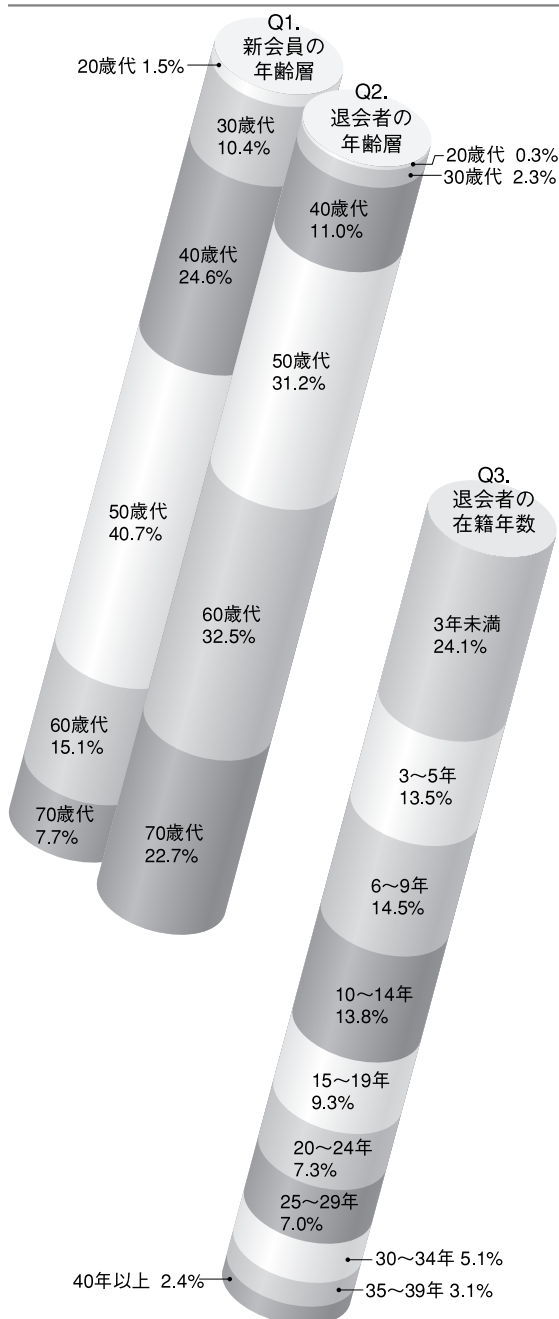
Q2. 昨年度（2004-05年度）中に退会した会員の年齢層。

1. 20歳代 ……0.3%
2. 30歳代 ……2.3%
3. 40歳代 ……11.0%
4. 50歳代 ……31.2%
5. 60歳代 ……32.5%
6. 70歳代 ……22.7%

Q3. 昨年度(2004-05年度)中に退会した会員の在籍年数。

1. 3年未満 ……24.1%
2. 3～5年 ……13.5%
3. 5～9年 ……14.5%
4. 10～14年 ……13.8%
5. 15～19年 ……9.3%
6. 20～24年 ……7.3%
7. 25～29年 ……7.0%
8. 30～34年 ……5.1%
9. 35～39年 ……3.1%
10. 40年以上 ……2.4%

Q4. 昨年度(2004-05年度)中に退会した会員の退会理由。

1. 死亡 ……9.4%
2. 健康上の理由 ……21.2%
3. 仕事上の理由 ……48.7%
4. 長期欠席 ……4.5%
5. 他の会員と不和 ……1.4%
6. 他クラブへ転籍 ……1.6%
7. 転勤・転居 ……8.2%
8. 引退・代替わり ……3.3%
9. 会費未払い ……1.7%

クラブ・アンケート

［二〇〇五年九月〜十月］
ライオン誌日本語版事務所集計

入会金六万円未満が全体の八割を占める

全国三千四百十九クラブを対象に本誌が実施したアンケート（回収率四五・〇パーセント）の結果から、昨年度の入会金及び年会費の現状を探る。入会金は三万円以上六万円未満が全体の四三・五パーセントでトップ。第二位の一万円以上三万円未満の三三・七パーセントを加えると全体の七七・二パーセントで、昨年とほぼ同じ。また、入会金なしが一・二ポイント、一万円未満が〇・四ポイントと増加した。

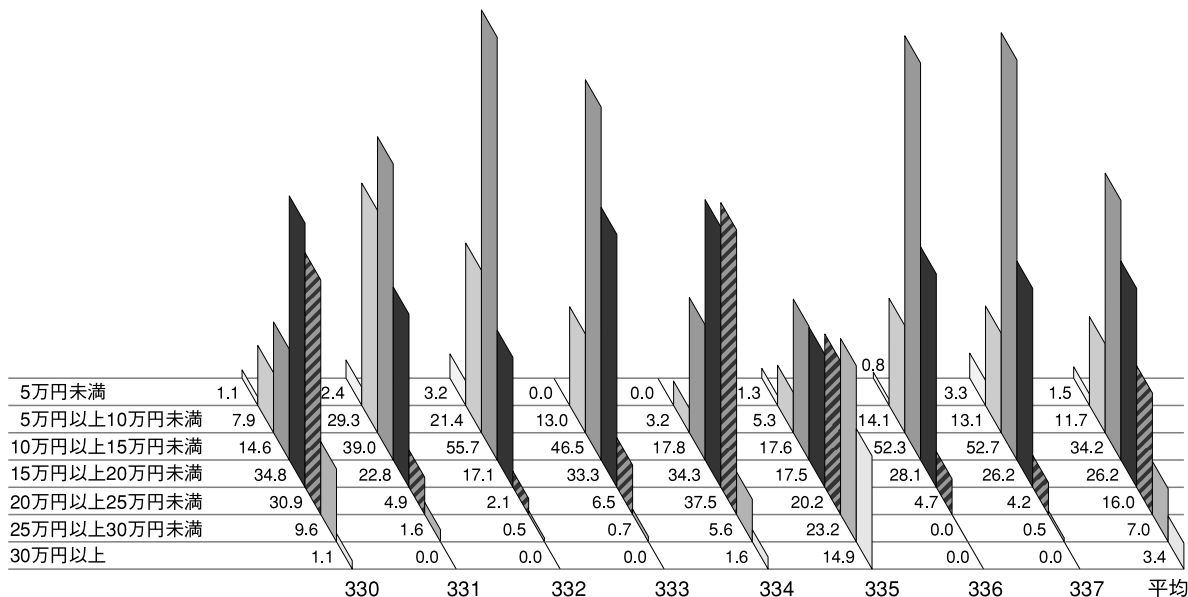
年会費は十万円以上十五万円未満が最も多く全体の三四・二パーセントで、次いで十五万円以上二十万円未満が二六・二パーセント、二十万円以上二十五万円未満一六・〇パーセント。月会費にすると一万〜二万円のクラブが全体の四分の三を占めることになる。

Q5. 現在、貴クラブの入会金はいくらですか。

（%）

	330	331	332	333	334	335	336	337	平均
入会金なし	14.0	18.7	9.6	19.6	4.8	5.6	3.1	9.3	9.6
1万円未満	3.9	3.3	8.0	2.2	2.8	1.7	2.3	7.9	4.0
1万円以上3万円未満	24.2	60.9	50.4	26.1	29.5	6.6	44.5	53.3	33.7
3万円以上6万円未満	50.6	17.1	30.5	47.8	52.9	57.7	46.2	28.5	43.5
6万円以上9万円未満	3.4	0.0	0.5	1.4	5.6	2.6	2.3	0.0	2.2
9万円以上12万円未満	3.9	0.0	0.5	2.9	4.4	22.5	1.6	0.5	6.2
12万円以上15万円未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1
15万円以上20万円未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.4
20万円以上	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.3

Q6. 今年度の貴クラブの年会費は例会費などすべて含めていくらですか。

	330	331	332	333	334	335	336	337	平均
5万円未満	1.1	2.4	3.2	0.0	0.0	1.3	0.8	3.3	1.5
5万円以上10万円未満	7.9	29.3	21.4	13.0	3.2	5.3	14.1	13.1	11.7
10万円以上15万円未満	14.6	39.0	55.7	46.5	17.8	17.6	52.3	52.7	34.2
15万円以上20万円未満	34.8	22.8	17.1	33.3	34.3	17.5	28.1	26.2	26.2
20万円以上25万円未満	30.9	4.9	2.1	6.5	37.5	20.2	4.7	4.2	16.0
25万円以上30万円未満	9.6	1.6	0.5	0.7	5.6	23.2	0.0	0.5	7.0
30万円以上	1.1	0.0	0.0	0.0	1.6	14.9	0.0	0.0	3.4

例会でのライオンズ・ローア実施は地区により開き

　各種大会への代議員派遣に対するクラブ負担について聞いた。地区大会では六割以上が全額負担。国際大会でも、全額または一部負担が五割を超えた。

　クラブ例会で必ず行っていることを聞いたところ、開会と閉会のゴングは全地区でほぼ一〇〇パーセント実施の結果が出た。逆に地区により開きがあったのがライオンズ・ローアで、最も実施率が高いのが336複合地区の七九・五パーセント、低いのが333複合地区の二〇・七パーセントだった。国歌を含め四曲の斉唱について聞いたところ、単純に実施率を合計すると、いちばん歌を歌うのが335複合地区、歌わないのが332複合地区。地区ごとに選曲の傾向も異なり、333複合地区では九一・〇パーセントと人気の「ライオンズ・ヒム」は332複合地区では一六・六パーセント。五地区で九割を超えて歌われている「ライオンズクラブの歌」が、333複合地区では三七・二パーセントだった。

Q7. 固定の事務局がありますか
1. ある：単独 ……65.5%
2. ある：合同 ……27.2%
3. ない ……7.3%

Q8. 専任の事務局員がいますか
1. いる：1人が1クラブ担当 ……72.0%
2. いる：1人が複数クラブを担当 ……15.5%
3. いない ……12.5%

Q9. 地区年次大会への代議員派遣費用はクラブが負担しますか。
1. クラブが全額負担 ……62.3%
2. クラブが一部負担 ……10.9%
3. クラブ負担なし ……26.8%

Q10. 複合地区年次大会への代議員派遣費用はクラブが負担しますか
1. クラブが全額負担 ……48.6%
2. クラブが一部負担 ……36.6%
3. クラブ負担なし ……14.8%

Q11. 国際大会への代議員派遣費用はクラブが負担しますか
1. クラブが全額負担 ……7.5%
2. クラブが一部負担 ……43.1%
3. クラブ負担なし ……49.4%

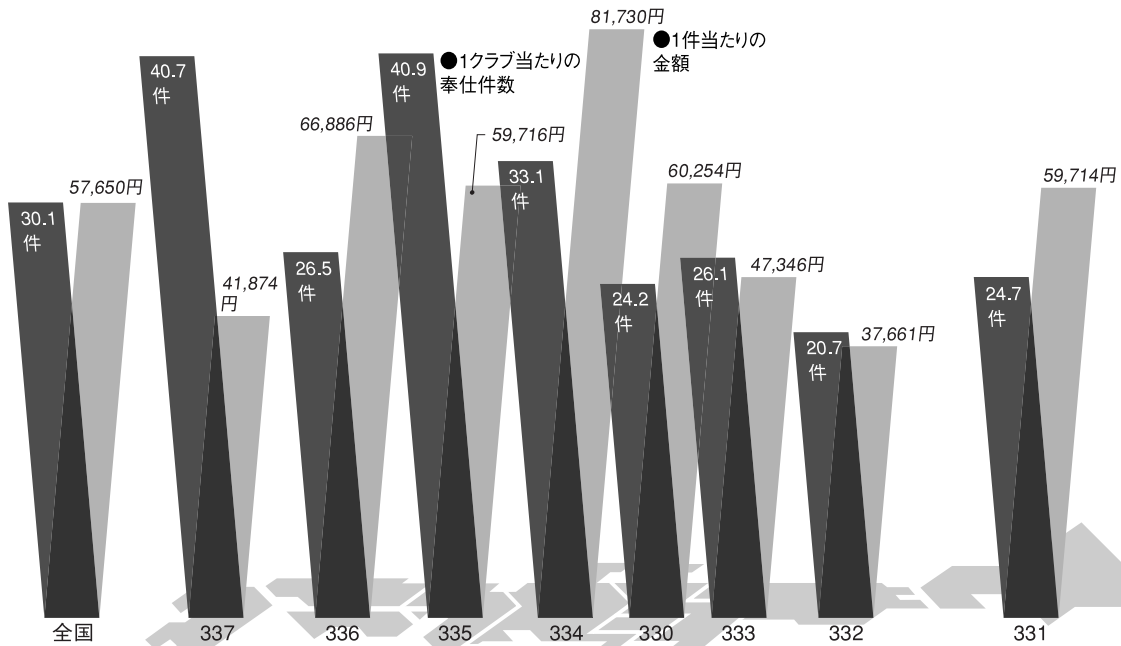
Q12. OSEALフォーラムや国際大会（代議員を除く）の参加費用に対する、クラブの補助はありますか？
1. ある ……39.3%
2. ない ……60.7%

アクティビティ地区別構成比

【二〇〇四・〇五年度集計】

ライオン誌日本語版事務所集計

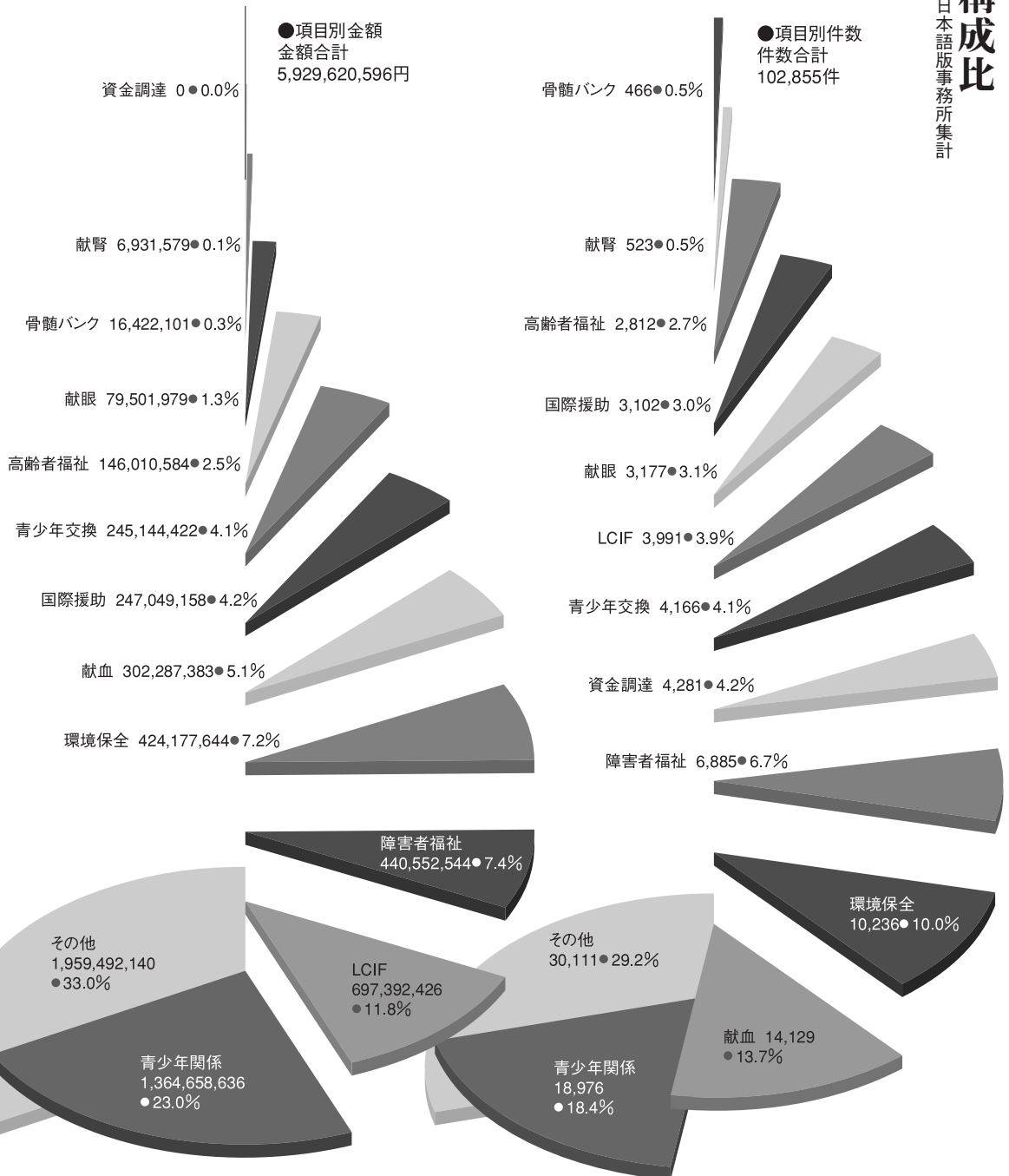
日本ライオンズのアクティビティは総額約六十億円

ライオン誌日本語版事務所が各クラブからの会員並びにクラブ活動状況報告書を基に集計した二〇〇四・〇五年度の日本ライオンズのアクティビティは、十万二千八百五十五件、総額五十九億二千九百六十二万五百九十六円だった。前年度に比べると件数は六千三百七十件（六・六%）、金額では約一億三千万円（二・三%）の増加となった（前年度件数九万六千四百八十五件、総額五十七億九千七百二十五万五千二百八十二円）。年間の一クラブ当たりの件数は前年度から一・九件増加して三十・一件に、アクティビティ一件当たりの金額は二千四百三十五円減少して五万七千六百五十円となった。グラフ及び表組みで地区別に構成比を出してみた。

複合地区	準地区	件数	1クラブ当たり件数	金額	1件当たり金額
330	330-A	5,066	24.4	374,086,966	73,843
	330-B	5,024	26.2	258,637,526	51,480
	330-C	2,179	20.2	106,528,271	48,889
小計		12,269	24.2	739,252,763	60,254
331	331-A	2,373	30.8	159,315,237	67,137
	331-B	1,836	18.2	115,472,586	62,894
	331-C	1,732	27.5	79,975,281	46,175
小計		5,941	24.7	354,763,104	59,714
332	332-A	1,065	15.7	43,718,571	41,050
	332-B	1,554	27.3	62,006,813	39,901
	332-C	2,082	24.5	71,715,699	34,446
	332-D	1,704	21.0	57,684,702	33,853
	332-E	1,160	20.7	49,830,258	42,957
	332-F	817	14.3	30,720,605	37,602
小計		8,382	20.7	315,676,648	37,661
333	333-A	3,840	28.4	176,956,187	46,082
	333-B	3,672	26.6	172,007,695	46,843
	333-C	2,887	22.9	143,384,046	49,665
小計		10,399	26.1	492,347,928	47,346
334	334-A	3,933	33.6	481,548,313	122,438
	334-B	3,290	37.0	244,356,658	74,273
	334-C	2,271	27.0	136,480,362	60,097
	334-D	2,786	28.4	194,639,580	69,863
	334-E	2,393	43.5	142,203,565	59,425
小計		14,673	33.1	1,199,228,478	81,730
335	335-A	5,497	47.8	283,366,052	51,549
	335-B	6,656	32.8	513,907,828	77,210
	335-C	6,817	55.4	328,866,368	48,242
	335-D	1,896	27.5	119,887,725	63,232
小計		20,866	40.9	1,246,027,973	59,716
336	336-A	4,046	26.3	254,772,327	62,969
	336-B	2,523	24.7	167,599,326	66,429
	336-C	3,373	31.8	259,710,316	76,997
	336-D	2,552	23.2	153,589,443	60,184
小計		12,494	26.5	835,671,412	66,886
337	337-A	6,477	54.9	287,491,171	44,386
	337-B	3,696	39.7	118,462,959	32,052
	337-C	3,008	37.1	136,482,089	45,373
	337-D	4,650	31.8	204,216,071	43,917
小計		17,831	40.7	746,652,290	41,874
合計		102,855	30.1	5,929,620,596	57,650

主要アクティビティ構成比

［二〇〇四・〇五年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

日本ライオンズの最大アクティビティは「青少年関係」

各クラブ報告を元に集計した日本ライオンズのアクティビティのうち、件数、金額共最も多かったのは今年も青少年関係のアクティビティで、件数では一万八千九百七十六件で全体の一八・四パーセント、金額では十三億六千四百六十五万八千六百三十六円、同二三・〇パーセントを占める。以下、件数では献血一万四千百二十九件（一三・七パーセント）、環境保全一万二百三十六件（一〇・〇パーセント）と続き、金額ではＬＣＩＦが六億九千七百三十九万二千四百二十六円（一一・八パーセント）、障害者福祉四億四千五十五万二千五百四十四円（七・四パーセント）となっている。各アクティビティの全体に占める割合は、件数、金額共昨年と比べて多少の順位入れ替わりはあるものの、大きな変化はなかった。

献血・献眼・献腎

［二〇〇四‐〇五年度集計］
ライオン誌日本語版事務所集計

献血約一万四千百件、献眼約三千件、献腎約五百二十件

●昨年度一年間に実施された日本ライオンズの献血奉仕は、前年度に比べて件数で二・三パーセント、金額では九・二パーセントの増加となった。また献血者数は二百cc献血は一・二パーセント減少したものの、四百ccは八・四パーセント、成分献血は六五・一パーセントの大飛躍となった。

●献眼の対前年度比は、件数で一・二パーセント、金額七・八パーセントの増となった。が、アイバンク登録者は五・八パーセント、角膜提供者は一五・五パーセント減少した。角膜提供に結びつく活動のあり方が今後の課題となりそうだ。

●献腎の対前年度は、件数で一一・五パーセント、金額で一三・四パーセント、腎バンク登録者二一・一パーセント、腎臓提供者は四四・四パーセントの減少となった。献眼、献腎で334複合地区の健闘が目立った。

複合地区別金額比
複合地区別件数比
10%

献血

複合地区	件数	金額	200cc献血/人	400cc献血/人	成分献血/人
330	1,374	34,654,118	17,346	70,508	7,039
331	679	5,284,581	11,511	22,647	1,845
332	743	9,333,654	9,547	16,232	24,102
333	1,621	27,696,805	22,966	42,130	10,249
334	1,804	35,752,779	21,602	50,937	11,788
335	5,062	92,393,259	63,102	150,066	72,032
336	1,158	74,749,171	15,246	31,510	74,228
337	1,688	22,423,016	22,439	64,631	5,252
合計	14,129	302,287,383	183,759	448,661	206,535

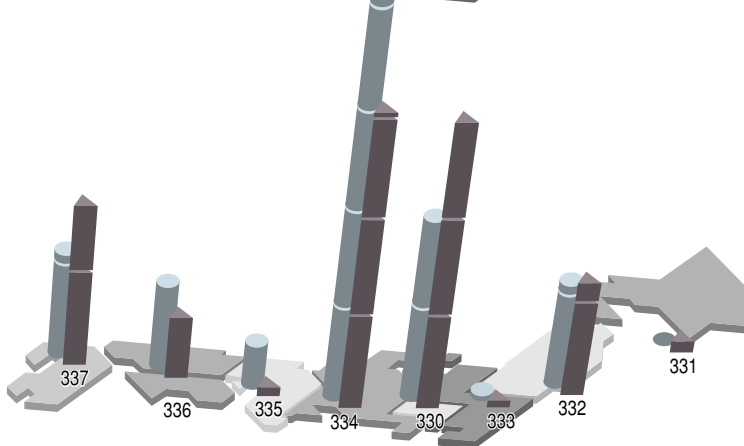
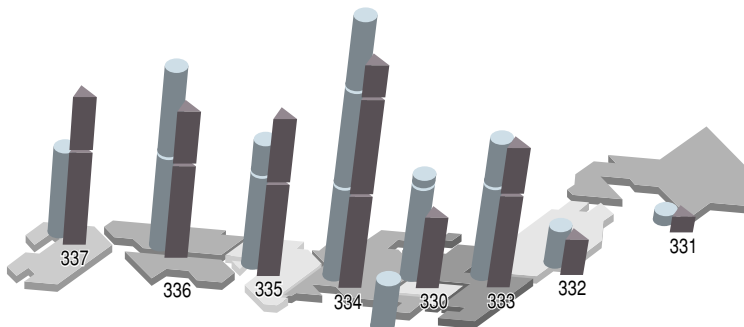
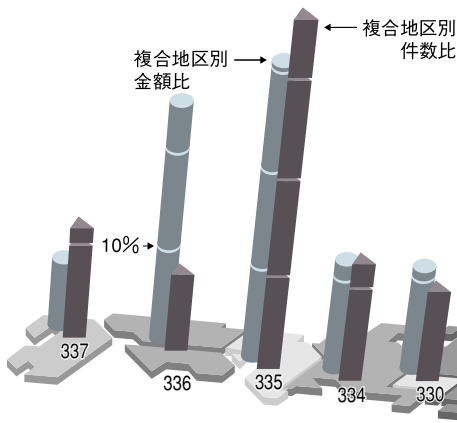
献眼

複合地区	件数	金額	アイバンク登録者	角膜提供者
330	249	8,396,039	1,701	30
331	58	940,543	585	2
332	127	3,346,389	50	0
333	473	11,808,665	2,253	53
334	744	21,553,179	4,357	134
335	535	10,675,685	374	3
336	495	14,925,771	2,729	20
337	496	7,855,708	2,151	25
合計	3,177	79,501,979	14,200	267

献腎

複合地区	件数	金額	腎バンク登録者	腎臓提供者
330	156	1,320,747	837	1
331	8	0	2	0
332	63	779,174	2	0
333	5	4,000	1	0
334	161	3,097,953	1,190	3
335	7	314,750	10	0
336	35	639,026	98	0
337	88	775,929	829	1
合計	523	6,931,579	2,969	5

骨髄バンク・青少年関係・高齢者福祉

［二〇〇四・〇五年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

骨髄約四百七十件、青少年約一万九千件、高齢者約三千件

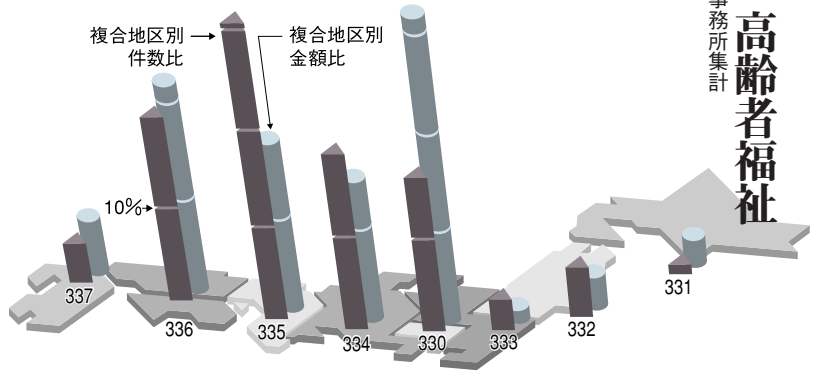
●骨髄バンクの対前年度比は、件数で七・四%増、金額で一三・五%減、骨髄バンク登録者六・五%減少、骨髄提供者は一人増えて三三・三%増となった。項目別では件数で最下位、金額で下から二番目。地区ごとの温度差も大きい。

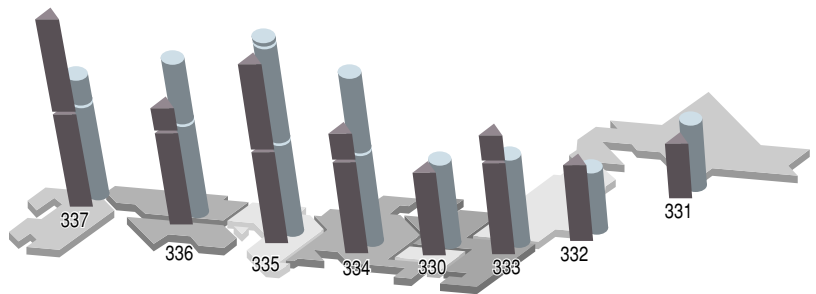
●今年も青少年関係は、八複合地区いずれもが力を入れ、件数・金額とも最も多いアクティビティとなった。対前年度比では、件数で三・四%増加、金額で二・八%減少した。

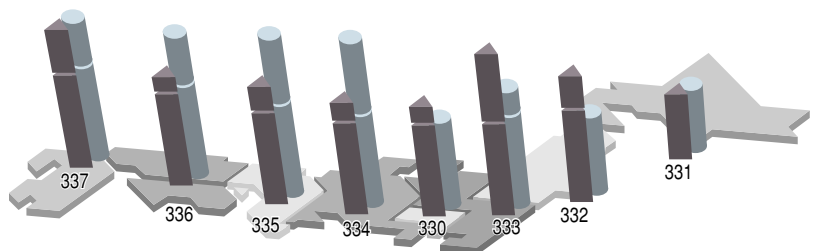
●高齢者福祉の対前年度比は、件数で五・四%、金額では一二・七%の減となった。各地区でまんべんなく実施されているが、項目別構成比が全国平均、件数約二・七%、金額約二・五%の中で、332、333複合地区では共に同約四・五%、約四・〇%とやや高め。

骨髄バンク

複合地区	件数	金額	骨髄バンク登録者	骨髄提供者
330	78	5,208,353	410	1
331	7	463,500	0	2
332	26	542,641	6	0
333	15	221,965	57	0
334	87	2,516,209	239	0
335	143	2,946,329	292	0
336	91	3,583,062	25	0
337	19	940,042	58	1
合計	466	16,422,101	1,087	4

複合地区別件数比
複合地区別金額比
10%
337
336
335
334
330
333
332
331

青少年関係

複合地区	件数	金額
330	1,665	121,482,102
331	1,152	99,318,073
332	1,578	92,826,235
333	2,367	130,880,492
334	2,422	243,450,089
335	3,618	279,814,059
336	2,389	223,910,658
337	3,785	172,976,928
合計	18,976	1,364,658,636

高齢者福祉

複合地区	件数	金額
330	333	13,638,055
331	195	9,263,009
332	376	12,589,092
333	481	17,863,947
334	338	25,315,671
335	352	23,821,223
336	328	22,335,874
337	409	21,183,713
合計	2,812	146,010,584

障害者福祉・環境保全・国際援助

［二〇〇四・〇五年度集計］
ライオン誌日本語版事務所集計

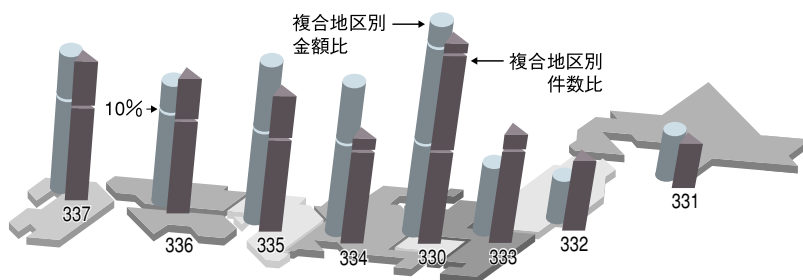
障害者福祉約六千九百件、環境保全約一万二百件、国際援助約三千百件

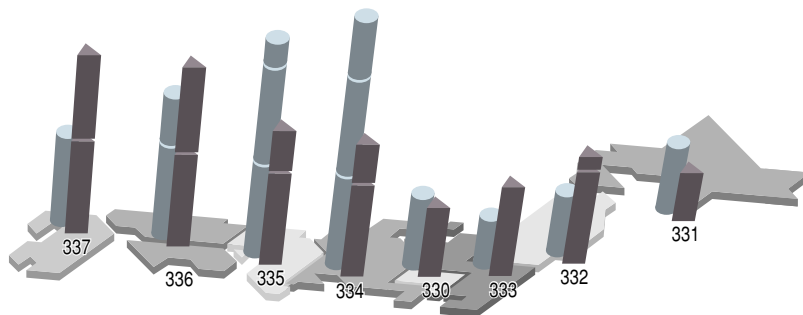
●障害者福祉事業の対前年度比は、件数六・六パーセント増、金額九・〇パーセント減となった。〇五年二月に長野で開催されたスペシャルオリンピックス支援金の多くを、〇三年度中に拠出し、金額一五パーセント増となった分が、今年度の減として表れた。

●環境保全活動の対前年度比は件数で六・〇パーセント減、金額二三・八パーセントの大幅減。清掃活動など、経費を掛けない労力奉仕が増えているようだ。

●国際援助の対前年度比は件数で二二・一パーセントの増、金額二・四パーセント減となった。インド洋津波被災者への、LCIF以外の支援による件数増加と思われる。

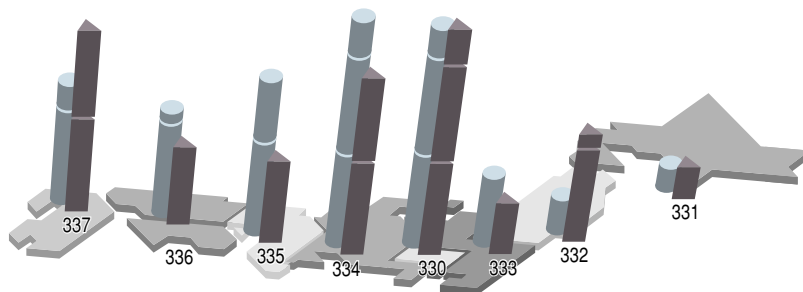
障害者福祉

複合地区	件数	金額
330	1,456	97,769,601
331	329	21,648,249
332	531	20,343,481
333	792	34,643,345
334	781	70,289,801
335	993	74,185,647
336	980	57,996,262
337	1,023	63,676,158
合計	6,885	440,552,544

環境保全

複合地区	件数	金額
330	746	33,995,582
331	516	29,948,429
332	1,186	27,726,805
333	995	23,304,653
334	1,442	110,230,055
335	1,460	95,518,942
336	1,953	63,780,734
337	1,938	39,672,444
合計	10,236	424,177,644

国際援助

複合地区	件数	金額
330	736	56,668,204
331	103	5,682,738
332	353	9,777,475
333	170	18,302,800
334	583	59,016,649
335	285	39,790,108
336	275	26,879,971
337	597	30,931,213
合計	3,102	247,049,158

YE・LCIF・資金調達

［二〇〇四・〇五年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

YE約四千二百件、LCIF約四千件、資金調達約四千三百件

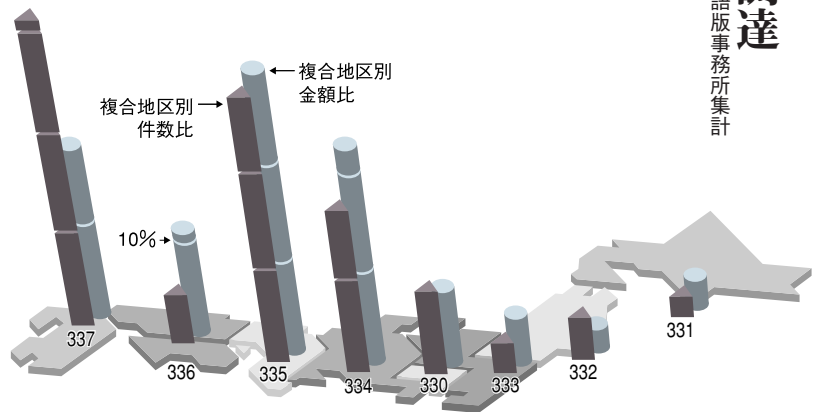
●青少年交換（YE）の件数は対前年度比二六・四％増、金額五四・七％の大幅増となった。一昨年度夏季YEの中止による減少分を取り戻したことと、積立金繰り越しなども充てた結果と思われる。

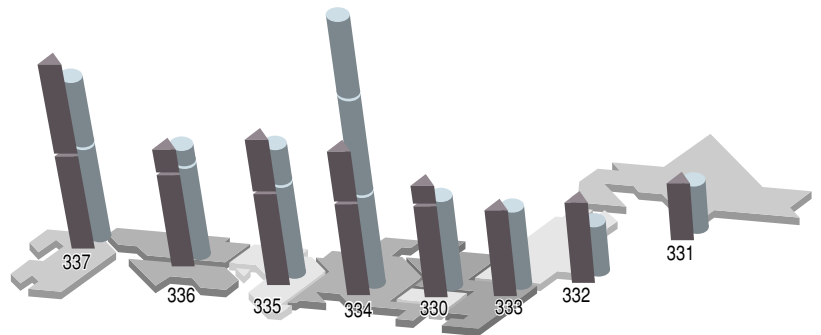
●ライオンズクラブ国際財団（LCIF）へのアクティビティは、件数で対前年度比一四・六％増、金額は三・一％増となった。インド洋津波被災者支援による増加だろう。今年度も334複合地区の金額が突出している。

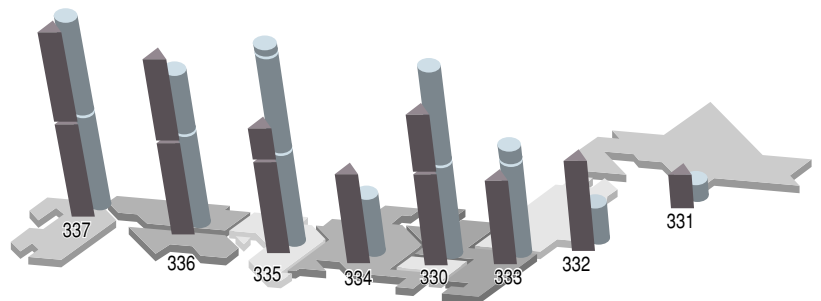
●資金調達の前年度比は、件数が一五・一％増、獲得金額は一三・三％増となった。一クラブ当たり年間約二万千円の増額。

青少年交換

複合地区	件数	金額
330	385	20,473,353
331	93	8,693,190
332	184	6,444,419
333	151	12,820,570
334	707	54,666,893
335	1,129	71,738,554
336	219	26,354,909
337	1,298	43,952,534
合計	4,166	245,144,422

複合地区別件数比
複合地区別金額比
10％
337 336 335 334 330 333 332 331

LCIF

複合地区	件数	金額
330	489	68,726,085
331	248	37,268,090
332	350	39,886,134
333	381	59,037,613
334	615	196,005,588
335	625	96,365,827
336	506	82,240,644
337	777	117,862,445
合計	3,991	697,392,426

資金調達

複合地区	件数	募金額
330	687	121,709,447
331	165	9,938,241
332	422	25,663,779
333	396	71,331,606
334	417	38,327,019
335	573	126,377,632
336	792	98,621,477
337	829	120,070,295
合計	4,281	612,039,496

来年の国際大会開催地はマサチューセッツ州ボストン

来年開かれる第八十九回国際大会は、ルイジアナ州ニューオーリンズから、マサチューセッツ州ボストンにホスト・シティを変更し、二〇〇六年六月三十日（金）から七月四日（火）の日程で開催されることが決定した。ボストンでの国際大会開催は初めて。

ボストンはアメリカ北東部にあるマサチューセッツ州の州都。一六三〇年にピューリタンらが創設した都市でアメリカ発祥の地として知られる。ニューイングランド一帯の貿易、通商の中心として栄え、十九世紀後半には世界の中心地とまで呼ばれた。現在もイギリスを思わせる古い町並みが残り、東海岸有数の観光都市となっている。また、ボストン大学、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学といった著名な総合大学があり、近郊都市を含めたボストン圏内はアメリカ一の学術都市として知られている。

ＯＳＥＡＬ地域の二〇〇六〜〇八年国際理事候補者

十月七日から十日に仙台で開催された第四十四回東洋・東南アジア・ライオンズ（ＯＳＥＡＬ）フォーラムで、ＯＳＥＡＬ地域から選出される三人の二〇〇六〜〇八年国際理事の推薦が決議され、日本から鳴本聡和元協議会議長（山口県・下関東ライオンズクラブ）が国際理事候補者として推薦されることになった。

ライオンズ鳴本は一九三六年一月一日生まれ。七五年下関東ライオンズクラブ入会。八六年度クラブ会長、八八年度ゾーン・チェアパーソン、九七年度リジョン・チェアパーソン、九九年度地区ガバナー。累進ＭＪＦ。台湾のペ・ジェン・チェン元地区ガバナー、韓国のシュン・ギュン・チョイ元地区ガバナーと共に、来年のボストン国際大会で行われる選挙に臨む。

ＯＳＥＡＬフォーラム開催予定地

第四十四回ＯＳＥＡＬフォーラムで発表された、来年以降のフォーラム開催予定地と日程は以下の通り。

二〇〇六年：マレーシア・ペナン／十一月二日〜五日）

二〇〇七年：韓国・大邱／十月

二〇〇八年：香港／日程未定（ローテーションではタイだが、〇八年国際大会がタイ・バンコクで開かれるため、香港と入れ替え）

第四十五回ＯＳＥＡＬフォーラム第一回ステアリング委員会は、二〇〇六年二月十七日〜十九日にマレーシア・ペナンで開かれる。

ハリケーン・カトリーナ被害に対する日本の支援

十月二十六日、東京・丸の内の日本ライオンズ連絡事務所で開催された第三回ガバナー協議会議長連絡会議で、特定口座を設けて募っていたハリケーン・カトリーナ救援金への入金状況が報告された。十月二十五日現在、入金が確認されたのは五、四二五万六、九一三円。会議では全額をＬＣＩＦのハリケーン被災者支援の指定口座へ献金することを決め、二十八日に送金した。

今年度クラブのアクティビティ傾向

ライオン誌日本語版事務所が九月末から十月半ばにかけて全クラブを対象に実施した「クラブ・アンケート」（回収率四五・〇パーセント）の結果、今年度、日本のライオンズクラブが最も力を入れるアクティビティは「青少年関係」となった。「今年度、クラブが重点的に取り組むアクティビティは？」の問い（複数回答）に「青少年関係」を挙げたクラブは七五・四⊠。次いで、「献血」七〇・六⊠、「地域清掃」四九・二⊠、「薬物乱用防止」三三・八⊠、「キャンペーン視力ファースト」三二・三⊠だった。複合地区別に見て特徴が見られたのは、331複合地区の「交通安全」六一・〇⊠（全国二一・二⊠）、「緑化」三三・三⊠（同一七・九⊠）、333複合地区の「薬物乱用防止」五二・四⊠（同三三・八⊠）で、全国平均を大きく上回っている。

会議録 10月

主な議題だけをまとめました

ライオン誌日本語版委員会

第三回ライオン誌日本語版委員会は十月九日、仙台市・仙台国際センターで開催され、①十二月号以降台割と主要記事予定、②国際協会公式ウェブサイト更新状況、③オンライン報告システム、④その他について協議した。

①は一月号以降の新連載企画として「ボランティアとＮＰＯ（仮題）」、「ボクの歩いた百六十カ国（仮題）」の二案を検討し、承認。

③は機能追加などに関する六案の内容と見積について検討し、二案を承認した。

第二回日本ライオンズ連絡事務所管理委員会

第二回日本ライオンズ連絡事務所管理委員会は十月十八日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①副委員長、管理委員各担当について、②〇五年度収支予算修正について、③日本ライオンズ連絡事務所規定（案）、④報告事項、⑤その他について協議した。

①は副委員長に谷川榮一委員、松波英一委員を指名する委員長案を了承。

②は会費収入を十二万名から十一万九千名に変更し収入を当初予算から減額など。

複合地区ＩＴ委員長連絡会議

第二回複合地区ＩＴ委員長連絡会議は十月十九日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、ⅠＩＴ委員長とＩＴ専門委員との合同会議①各委員長、専門委員の紹介、②各複合地区の状況、③ＩＴ委員会の職責、④ＷＭＭＲの問題点。ⅡＩＴ専門部会による講習会①ＩＴ専門部会からの提案、②ＨＰリニューアルについて協議した。

Ⅰ③は『ライオンズ必携』に「複合地区ＩＴ委員会及び複合地区ＩＴ委員長の任務」を明確に掲載出来るよう、議長連絡会議を通じて会則委員長連絡会議に検討をお願いするなど。

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

第三回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議は十月二十六日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、Ⅰ議長協議①各救援金について、②第44回ＯＳＥＡＬ報告③ＭＥＲＬセミナー報告、④ＬＣＩＦセミナー、⑤各委員会、連絡会議報告、Ⅱ国際役員と議長の懇談①国際役員からの報告、②議長からの提案について協議した。

Ⅰ④は十一月二十二日、東京・新宿の京王プラザホテルで開催。

Ⅱ②は協議会議長を国際役員とする案、ボストン国際大会に日本から多くの代議員を出席させる案、ＬＣＩＦ交付金の使途説明、日本のライオンズが財団法人を持つことについて、国際理事候補者の支援金について、国際本部への要望。

二〇〇六年国連ライオンズ・デー

二〇〇六年三月十日（金）、ニューヨークの国連本部で恒例の国連ライオンズ・デーが開催される。この催しは二十年以上にわたり、ライオンズと国連との歴史的な関係を祝って毎年開かれている。この日は国連の代表者による発表や、国際平和ポスター・コンテスト最優秀賞の授賞式、国連大使たちとの特別昼食会、また国連ビル内を見学するオプショナル・ツアーなどのプログラムが組まれる。

参加希望者は所定の登録用紙を使って登録を行う。締切は二月十日で、先着七百五十人限定。参加費用は昼食込みが百⊠、昼食なし六十⊠。登録用紙は公式ウェブサイト「その他のプログラム」→「国際協調」の「国連ライオンズ・デー」のページでダウンロード出来る。

????? ???? ?????

本誌十月号で既報の通り、第三回ＬＣＩＦスタディ・ツアーが二〇〇六年二月一日から七日まで開催される。第一回のインド、第二回のカンボジアに次いで、今回の目的地はタ

CSF? 研修会と日本におけるキャンペーン推進状況

日本にはV-1からV-4の4人のナショナル・コーディネーターがおり、それぞれ地区ガバナー、MD/セクター・コーディネーターの協力を受けながら、CSFⅡの目標達成に向けて努力している。

日本ではまず、7月19日に東京において、テーサップ・リーCSFⅡ国際委員長、田辺憲雄LCIF資金開発課課長らを講師に招き、MD/セクター・地区コーディネーターのオリエンテーションを開催。国際理事、協議会議長、地区ガバナーの来賓を含め80人が参加した。年度当初の開催で、各コーディネーターは、自分の任務について十分な知識を得ることが出来、またグループ討議においては今後の進め方について具体的な方針が検討された。

このオリエンテーションを受けて、7月20日から8月31日まで、地区レベルにおける研修会が開催された。この研修会では、更に具体的な質疑が多くなされ、参加者の前向きな姿勢が感じられた。今後も各地区でセミナーの開催を予定しており、これに合わせてより分かりやすい資料の作成も進めている。

9月27日からは、日本からのLCIF献金はMJF、その他のクラブ献金のすべてをCSFⅡへの指定献金にすることになった。これにより、CSFⅡ指定を明記し忘れ、後で手続きを行う手間が省けるようになった上、CSFⅡへの献金がより多くなることを期待している。

Knights of the Blind
??? ???? ?? ???

視力ファーストⅡ
?? ? ?? ?
????

7月19日開催のCSFⅡオリエンテーション

日本からのリードギフト（10万⊠のCSFⅡ指定献金者）については、香港国際大会で表彰された6人（伏見国際理事、山田国際理事、栢森アポインティー、大久保元国際理事、福井元国際理事、都築順雄氏）に加え、鈴木誓男334-A地区ガバナーと曾我一義334-A地区副地区ガバナーが加わり、8人となった。

CSFⅡの活動をリードするモデルクラブの追加にも積極的に取り組んでおり、受け付け期限が12月末まで延長されることになった。香港国際大会以降、新たに加わったモデルクラブについては、来年の国際大会で発表、表彰される。

日本のCSFⅡ献金状況（2005年7月～8月）は、MJF970人、献金総額117,427,650円だった。例年のLCIF献金は、地区ガバナー公式訪問が終了する10月以降に活発になる傾向があるため、今後の献金に期待したい。

田辺課長の報告によると、9月25日現在、世界でリードギフト・ドナー30人、献金総額5,425,778⊠（約6億円）となっている。モデルクラブは日本では194クラブ、東洋・東南アジア（OSEAL）地域では231クラブ、世界で300クラブとなっており、OSEAL地域が大きな存在感を示している。

(渋田繁晴エリアV-4ナショナル・コーディネーター)

イで、ＬＣＩＦ交付金事業の現場を訪問する。視力ファースト事業で設立されたタイ北部コラートの眼科病院や、チェンマイのエイズ孤児院、更に昨年のインド洋津波で被災した南部リゾート地の復興状況などを視察。訪問地では現地ライオンズクラブとも交流する。

当初発表された旅程では成田、関西、福岡の三つの国際空港からの出発を予定していたが、参加者の要望を受けて、新たに中部国際空港を出発する旅程も加えられた。参加申し込み期限は十二月十五日（木）。申し込み、ツアー詳細に関する問い合わせは、旅行手配を担当する協和海外旅行㈱（TEL：〇三‐三八一六‐七九七一　FAX：〇三‐三八一六‐七九七七　Eメール：kyowa@kyowa-kaigai.jp）まで。

前回ツアーではLCIFの支援で建設された小学校を視察

SightFirst Update

マダガスカルでの視力ファースト
大きな成果が政府をも動かす

マダガスカル島南西部は、海に面して白い砂浜が延々と続く。海岸から六十㌔ほど入ったアンボヒフォツィの村で生まれたタフィタソアは、両眼とも先天性白内障で全く視力がなかった。首都アンタナナリボまで二日もかかるこの村では、治療を受ける機会もなく、両親も村人たちもこの子は生涯盲目と思っていた。しかし、視力ファーストとマダガスカルのライオンズのおかげで、タフィタソアは両眼に白内障手術を受けることが出来、視力と共に将来の希望を手に入れた。

この国での失明の主な原因は、白内障が手術を受けずに放置されることにあり、毎年一万五千人が新たに失明している。同国のライオンズは一九九八年、保健省とフランスの協力を得て、白内障を減らすためのライオンズ視力ファースト・マダガスカル（ＬＳＦＭ）のプログラムを立ち上げた。

ＬＳＦＭを通じて、ライオンズは、これまで眼科医療の恩恵を受けられなかった人々にそれを提供するモデルを作り上げ、大きな成果を上げている。国内で年間に実施される白内障手術の数が飛躍的に増加したほか、ＬＳＦＭによるインフラの整備で、恒常的に眼科医療を提供する能力が高まり、特に農村部で診療を受ける機会が拡大、必要に迫られていた眼科スタッフの教育も進んだ。

ＬＳＦＭの開始前には、マダガスカルで年間に実施される白内障手術は六百件に過ぎなかった。そのほとんどはアンタナナリボの民間クリニックで行われ、国民のほとんどにとっては高額のため手の出ないものだった。タフィタソアの村を始め地方の農村部では、大いに必要とされているにもかかわらず、診察を受けることさえ出来なかった。

そのような中、ＬＳＦＭは、全国各地の六つの病院を整備し、貧しい人々を対象に手術を実施して、この状況を一変させた。ＬＳＦＭはこれまでに、視力回復につながる白内障手術を約二万件実施、毎年、貧しい人々や辺地に住む人々に手を差し伸べている。

この七年間で、ライオンズはこの島の一般の人々だけでなく、政府の中でも、白内障が公衆衛生の問題であり、眼科医療の改善が必要だという認識を飛躍的に高めた。マダガスカル政府は、ＬＳＦＭが始まった時、ほとんど関与していなかった。が、現在は、眼科スタッフの教育資金を負担し、白内障手術を行う施設を増やすなど、失明予防の活動や視力ファーストを積極的に支援している。

タフィタソアは今、三歳の元気のいい男の子で、まもなく学校に通う。視力ファーストのおかげで、彼は本を読み、学び、働き、そして地域に貢献するだろう。マダガスカルのライオンズは、これからも大勢のタフィタソアのような子どもたちにそのチャンスを与えるために、活動を続けている。

NEWS CASSETTE

国際大会開催予定

二〇〇六年：マサチューセッツ州ボストン／六月三十日～七月四日
二〇〇七年：イリノイ州シカゴ／七月二日～六日
二〇〇八年：タイ・バンコク／六月二十三日～二十七日
二〇〇九年：ミネソタ州ミネアポリス／七月六日～十日
二〇一〇年：オーストラリア・シドニー／六月二十八日～七月二日

合併／クラブ名称変更

■合併クラブ（合併前のクラブ名）
熊本県・山鹿（鹿本／山鹿）
■クラブ名称変更
千葉県・沼南→柏沼南

オンライン投稿と取材依頼

本誌ではオンライン・マンスリー報告システム「サバンナ」上に原稿投稿と取材依頼の送信ページを新設し、全国の各クラブとの緊密な情報交換に利用している。マンスリー提出と併せ、ぜひ活用して頂きたい。

LCIF Update

ハリケーン・カトリーナ被災地へ LCIFとライオンズの強力な救援活動

ハリケーン・カトリーナが猛威を振るった後、メキシコ湾沿岸各州のライオンズは、自宅や地域が被害を受けた者が大勢いたにもかかわらず、救援活動に邁進し、ＬＣＩＦは緊急援助金を交付してその活動を支えた。更にアメリカ国内を始め世界中のライオンズが支援に動いた。

ルイジアナ、ミシシッピ、アラバマ、フロリダ各州のライオンズはＬＣＩＦの支援を受け、避難所で働き、救援資金や食糧、生活必需品の収集に奔走した。ＬＣＩＦは大災害援助金二十万☒を交付、☒避難所における食糧や衣服、衛生用品の供給、☒眼鏡配布などヘルス・サービスの提供、☒家屋が被災した人に対するライオンズ・キャンプの設備提供という、三種類の短期的な救援活動に投じた。また一万☒の緊急援助金七件が交付され、被災地域のライオンズは被害者が生活必需品を入手するためのクーポン券配給に利用した。

ＬＣＩＦはまた、救援活動の調整を行う委員会を設けると共に、専用ウェブサイトを立ち上げ、被災地域の最前線にいるライオンズと支援の手を差し伸べるライオンズとの情報交換を可能にした。

ルイジアナ州では８・Ｓ、８・Ｎ地区の多くのライオンズが深刻な被害を受け、避難を余儀なくされた。一方、救援活動に参加出来る者は皆その役割を果たした。バトン・ルージュを含む８・Ｎ地区では、ＬＣＩＦ緊急援助金により被災者にクーポン券を配布したほか、医療用品の要請に対応した。ニューオーリンズから北に車で数時間離れた８・Ｌ地区は直接の被害はなく、ハリケーン襲来前にニューオーリンズから避難した数千人の人々の支援に当たった。「ここには皆、着の身着のままでやって来ました。おしめや食糧を必要とする赤ちゃんもいました」と、アン・サンドラーズ８・Ｌ地区ガバナーは言う。同地区は救援活動のため即座に七千☒の資金を集めた。応援を申し出る電話が相次ぎ、メーン州のライオンズからは大量の生活必需品の輸送が連絡され、また別のライオンズからは車いっぱいの肉が届けられた。

リースビルにあるルイジアナ・ライオンズ子どもキャンプでは、ニューオーリンズから避難した百十四人を受け入れ、食糧を提供した。また、ＬＣＩＦの援助を受けるテキサス・ライオンズ眼鏡リサイクル・センターは、ヒューストンのアストロドームなどの避難所にいる避難者に眼鏡と眼科ケアのサービスを提供した。

ロバート・アンドレポント８・Ｏ地区ガバナーはＬＣＩＦへのＥメールにこう記している。「ＬＣＩＦの迅速な対応は大きな助けとなりました。世界中のライオンズから支援と祈りを約束するＥメールが届いています。皆さんの思いやりにどれだけ感謝しているか、言葉で表すことは出来ません」。

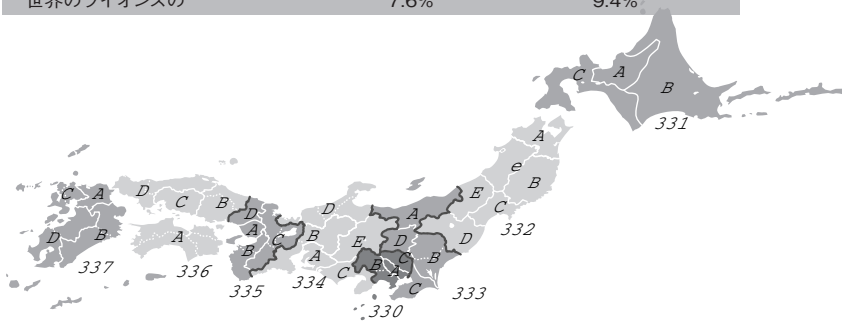
日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

（2005年9月30日　各地区キャビネット事務局集計）

世界のライオンズ

2005.8.31.国際協会集計	■クラブ数	■会員数	期首からの増減
ライオンズ国または領域　194	45,358	1,317,099	△6,144

日本のライオンズ

2005.9.30. 各キャビネット事務局集計		■クラブ数	期首からの増減	■会員数	期首からの増減
330-A	東京	207	△1	5,688	86
330-B	神奈川・山梨・東京	194	2	5,989	126
330-C	埼玉	108	0	3,013	26
330	計	509	1	14,690	238
331-A	北海道（道央）	77	0	2,928	2
331-B	北海道（道北・道東）	101	0	3,295	22
331-C	北海道（道南）	63	0	2,279	18
331	計	241	0	8,502	42
332-A	青森	68	0	2,212	31
332-B	岩手	57	0	1,946	7
332-C	宮城	85	0	1,923	27
332-D	福島	81	0	2,356	23
332-E	山形	56	0	2,089	8
332-F	秋田	57	0	1,684	△13
332	計	404	0	12,210	83
333-A	新潟	80	0	3,042	50
333-B	茨城・栃木	138	0	4,417	20
333-C	千葉	128	2	3,618	67
333-D	群馬	55	0	2,186	42
333	計	401	2	13,263	179
334-A	愛知	117	0	6,136	72
334-B	岐阜・三重	89	0	4,250	63
334-C	静岡	84	0	3,604	37
334-D	富山・石川・福井	98	0	4,501	62
334-E	長野	55	0	2,465	31
334	計	443	0	20,956	265
335-A	兵庫（東）	112	△3	3,249	41
335-B	大阪・和歌山	203	0	7,531	46
335-C	滋賀・京都・奈良	123	0	4,903	35
335-D	兵庫（西）	69	0	2,529	28
335	計	507	△3	18,212	150
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	154	0	6,684	55
336-B	鳥取・岡山	102	0	4,085	4
336-C	広島	106	0	4,268	43
336-D	島根・山口	110	0	4,052	△17
336	計	472	0	19,089	85
337-A	福岡・長崎	118	0	5,215	87
337-B	大分・宮崎	92	△1	3,145	22
337-C	佐賀・長崎	82	1	3,306	25
337-D	熊本・鹿児島・沖縄	146	0	4,822	65
337	計	438	0	16,488	199
総計		3,415	0	123,410	1,241
世界のライオンズの		7.6%		9.4%	

国際理事だより

■国際理事
石橋　幹雄
（北海道・小樽グリーン）

カルカッタ発
秋季国際理事会の現地報告

十一月七日からインドのカルカッタで、秋季国際理事会が開催されました。今年度日本からは、伏見龍、山田實紘両国際理事と栢森新治国際アポインティー、そして私と四人も参加していますからにぎやかです。

本理事会の舞台になったITC Sonar Bangla Sheraton Hotelは、豪華でセキュリティーも万全、食事も心配はありません。理事会開会式は国際理事配偶者、地元ホスト委員会の方々も出席し、盛大に開催されました。その時にアメリカ・カナダ・フォーラム、ヨーロッパ・フォーラムの報告があり、私は先日宮城県・仙台で開催された、東洋・東南アジア・フォーラムの報告を致しました。

各委員会開催の前に、国際会長ら執行役員と全委員会委員長が集まっての会議があります。私も、地区及びクラブ・サービス委員長としてこれに出席しました。他の委員長らから、どんな難題が飛び出すかと、多少の心配もありました。

各委員会に分かれてからは、Aで委員会の責任事項を審議し、Bで理事会方針書改訂を審議致します。私たち地区及びクラブ・サービス委員会は、クラブの解散審議、クラブのサイズ、移行地区、複合地区の問題解決に三年間プログラムの草案を検討しました。これらについて、理事会の承認を得るべく最終案をまとめます。また、地区ガバナーの任命、二〇〇六年のボストン国際大会で行うセミナーを考えました。協議会議長のセミナー、副地区ガバナーのセミナー、スペイン語、ポルトガル語のセミナーなどです。今年度から、地区ガバナーと複合地区協議会議長を同時に務めることが出来なくなりました。この規定がもたらす影響、並びに複合地区における懸念事項についても検討致しました。二〇〇六-〇七年度の一〇〇％地区ガバナー賞、及びクラブ会長優秀賞の規定も変更致します。

各委員会が始まっても、私はランチを食堂で食べましたから、他の委員会に出席している日本の理事たちにも会えて、簡単な情報のやりとりが出来ました。

すべての委員会を含む国際理事会会議の決議事項要約は、本誌二〇〇六年一月号に掲載になる予定です。

今、私は地区及びクラブ・サービス委員会を閉会し、記録を確かめて部屋に戻ってきたところです。今ごろは、アショク・メータ国際会長及び執行役員と、一年理事とのレセプションの真最中でしょう。私たちはこれから、地元のホスト・ライオンズ会員との食事に参ります。理事会のプログラムには「夜は報告書を読む」とありますが、インドの夜は十一時を過ぎますから、はたして読めるかどうか？　明日は朝九時から審議会が開かれます。会則及び付則委員会、大会委員会に次いで、私が地区及びクラブ・サービス委員会の報告を致します。この審議会で上手く運べば、次の理事会総会で否決されることはないと思いますが、不安もあります。

その夜、「50 Glorious Years in India」と称した、インド・ライオンズ結成五十周年記念式典があり、国際理事会出席者らも参加し、お祝いします。

今回の理事会では久しぶりでオープン・フォーラム形式の会議を持ち、ライオンズクラブの現状と将来について語り合いました。

伏見、山田理事、栢森アポインティーも元気で活躍しています。国際理事会が終わりますと、私はブッタガヤへ公式訪問へ参ります。

まるごと 334複合地区

Headline ❶ 愛知県南知多、長野県下諏訪

Topics
1. 岐阜県恵那
2. 三重県津西
3. 静岡県富士マウント
4. 富山
5. 石川県金沢中央
6. 334-E地区第3リジョン第2、第3ゾーン

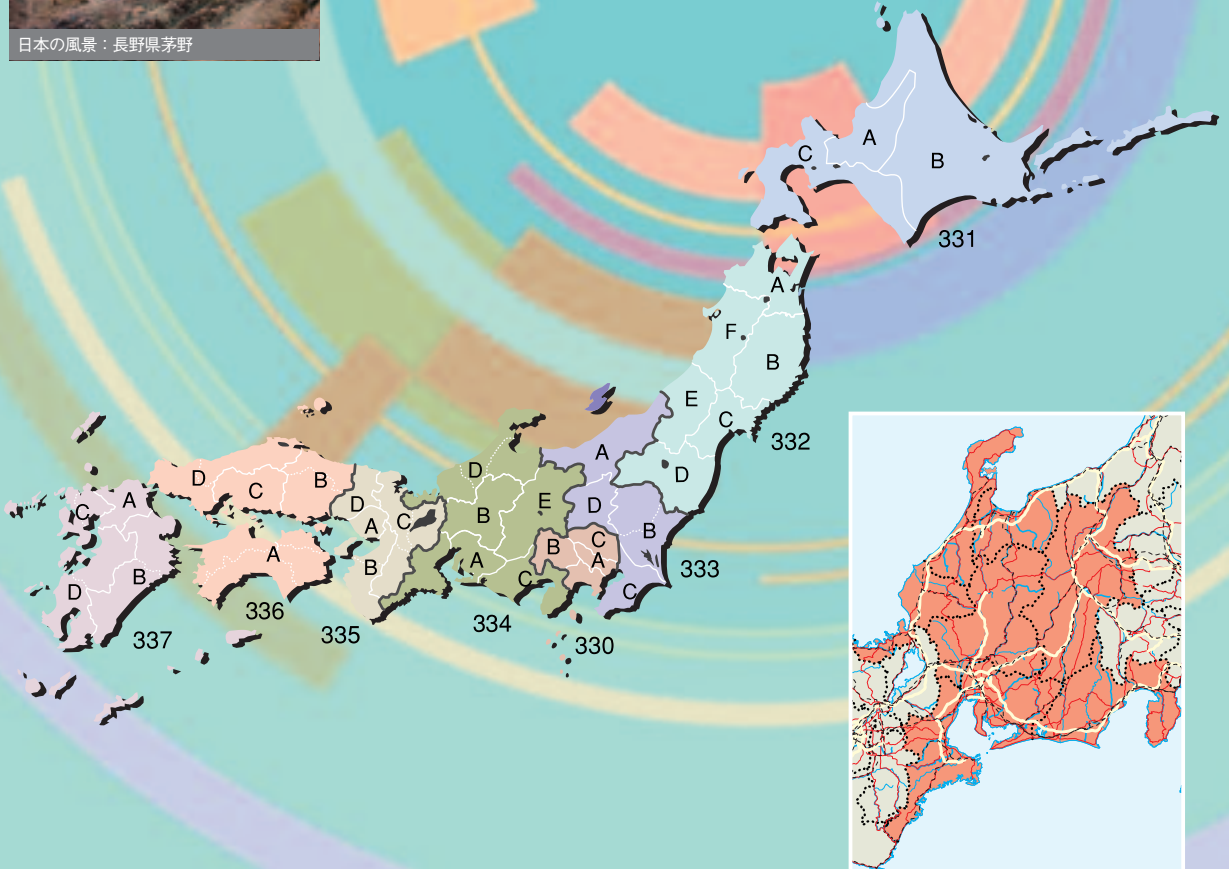
ふるさと探訪 愛知県幸田

歴史の舞台 福井（一乗谷）

日本の風景 長野県茅野

ヘッドライン：愛知県南知多、長野県下諏訪

ふるさと探訪：愛知県幸田

日本の風景：長野県茅野

二十五年目を迎え、両町民に絶大な人気を誇る山のクラブと海のクラブの交歓事業。イワシとリンゴの無料配布。

愛知県・南知多ライオンズクラブ、長野県・下諏訪ライオンズクラブ

■取材／編集部

九月十日、長野県下諏訪町で、町民を対象にした新鮮イワシの無料配布が行われた。イワシを配布したのは下諏訪ライオンズクラブ（竹野入宗宏会長／45人）と、愛知県・南知多ライオンズクラブ（石黒兼幸会長／43人）。両クラブは一九八〇年に姉妹提携。山のクラブと海のクラブの交流ということで、最初の年は、南知多ライオンズクラブが計画した山のキャンプを、下諏訪ライオンズクラブが斡旋。この時、併せてイワシの無料配布を行った。以来、毎年秋の恒例行事となり、今年で二十五回目を迎えた。

事業が始まった当時、イワシはいくらでも獲れた。イワシと言えばバケツ一杯百円であるとか、ひどい時は十円なんてことさえあった。が、今は漁獲量がめっきり減り、貴重品となっている。

イワシは二十〜三十年周期で好不漁の波があると言われる。現在は不漁期のまっただ中。何しろピークの一九八八年には四五〇万トンだった水揚げが、このところは五万トン強という惨状だ。キロ当たりで換算すると、一昔前は大衆魚の代表格だったイワシが、今やシマアジやカンパチも顔負けの高級魚に昇格している。

イワシを仕入れるのは南知多ライオンズクラブ。正直、ここ数年は、配布するイワシを集めるのが大変。もちろん、資金的にも以前に比べると負担が増している。特に今年は、直前の台風十四号の影響でイワシが散ってしまい、前日まで魚群が見つからなかった。

胃が痛くなるような時間の経過の中で、夜の十時過ぎ、イワシが獲れたとの連絡が漁船から入った。その瞬間、担当のライオン露木克彦は、へなへなと腰が抜けたようになったという。南知多ライオンズクラブでは、このアクティビティが終わると、会長が一週間入院する、というジョークが出る。が、それが本当に思えるほど、心身ともくたくたになるらしい。それでも、このアクティビティだけは止められない、と南知多、下諏訪両クラブの会員が口を揃える。

それは、毎年、このアクティビティを楽しみにしている多くの町民がいるからだ。この日も、一番乗りの人は配布開始の四時間も前から並び始めた。時間がたつに従い、列はどんどん長くなり、配布開始時刻には会場となる公園をぐるっと取り巻くように町民が集まった。

昨年から、町からの要望で下諏訪町の農業祭に合わせて開催されるようになった。これも実は、このイワシ配布の動員力を当て込んでのものだった。更に、この日は南知多の会員たちによる、南知多物産展も開設。農業祭の活性化にも大いに貢献している。

交流はこれだけにとどまらず、十一月には南知多産業祭に、今度は下諏訪ライオンズクラブが信州リンゴを持って訪

①

②湖に入って童心に帰る（？）

5)

3

4)

問。南知多町民にリンゴの無料配布を行う。

九一年には台風十九号により青森のリンゴが大きな被害を受け、信州のリンゴ価格が二倍に跳ね上がるなど、こちらも気象に左右される。が、リンゴもイワシと同様、毎年三千人の町民が並ぶ大人気のアクティビティ。やはり事業内容を変更するわけにはいかない。

「イワシとリンゴのアクティビティは、何があっても、絶対に続けていこうと話し合ってるんですよ」

そう語る下諏訪ライオンズクラブ竹野入会長であった。

6

❶慣れた手つきでイワシをさばき、会員たちの賄い飯を作る下諏訪、南知多両クラブの会員たち。刺身はみそ・しょうゆ・酒・みりんを配合した下諏訪特性のたれで食べる
❷川魚は皮から、海魚は身から焼くと初めてアクティビティを経験する下諏訪の新会員は魚の焼き方から手ほどきを受ける
❸今年は三・五トン（六百五十箱）のイワシが集まった。最近、イワシは不漁続きのため、日本中のイワシの八割が下諏訪に来てしまったこともあったという。毎年、一人平均三十～三十五尾の大盤振る舞いだけに、町民から絶大の人気を誇る
❹イワシの配布会場では視力ファースト・キャンペーンⅡの募金箱も設置、町民の協力を求めた。また、隣接の農業祭会場で開催された南知多物産展の売り上げの半分もキャンペーンに献金することになっている

郷土の伝統文化「地歌舞伎」を今、生き生きと。

岐阜県・恵那ライオンズクラブ

■取材／編集部

江戸中期に発生し、明治のころまでは日本各地の農村で、農閑期の庶民の娯楽として栄えた地歌舞伎。農村歌舞伎とも呼ばれる。岐阜はこの地歌舞伎の文化が今なお色濃く残る土地柄である。恵那市内には十二町村中八つに地歌舞伎保存会が存在し、互いに競い合い、協力し合って文化の継承・保存に努めている。

恵那ライオンズクラブ（遠藤龍美会長／65人）の歌舞伎同好会「獅子座」（石榑康彦座長）も、そうした背景の中に生まれた。最初はクラブの年度末例会の余興として、新旧役員が「白浪五人男」を演じたのだが、「みんなを驚かしてやろう」という意気込みで、衣装も顔塗りも本格的に取り組んだところ、大受け。これがきっかけでズブズブと歌舞伎にのめり込むことになった。

同好会の面々は、歌舞伎の指導者中村津多七氏に乞われて、全員が恵那歌舞伎保存会に入会。役者がいないため事実上休止状態だった保存会を盛り立て、毎年行われる市の伝統文化発表会を始め多くの舞台で活躍する。中には恵那市長や警察署長などお偉いさんを巻き込んでの演目もあり、市民から大好評（大爆笑？）を博している。

さて、保存会としての活躍は枚挙にいとまがないが、残念ながら今回は割愛させて頂いて、ライオンズクラブのアクティビティの話。恵那ライオンズクラブは、五年前から獅子座の役者たち及びその他のメンバーは裏方として、市内の老人福祉施設の慰問を続けている。お年寄りたちも幼少のころから地歌舞伎に慣れ親しんできたので、ホームに一座がくるとあって大喜び。子どものように目をキラキラさせて、芝居にのめり込む。中には最前列で、役者と一緒に台詞を諳する人もいる。百歳の女性が自作のペーパー・フラワーを頬を染めて手渡してくれたこともある。まさに役者冥利に尽きる一瞬だ。

また、地元の伝統芸能を子どもたちに受け継いでいってもらおうと、月に一～二回、小学校に出向いて地歌舞伎の指導に当たる。教えるのは歌舞伎の技術だけではない。きちんとしたあいさつなど礼儀作法こそが重要だと考える。厳しく注意もするが、先生や親の言うことは聞かなかったきかん坊が、真剣に教えに従って成長していく様を見たり、引っ込み思案だった子が堂々と口上を述べるのを聞くと、またまた歌舞伎をやっていて良かった、子どもたちに教えられて良かった、と胸を熱くするのだ。

初の県外遠征となったのは二〇〇三年、姉妹提携を結んでいる京都府・山城ライオンズクラブの四十周年記念式典での上演だ。フットワークの軽さとメンバーの結束が自慢の恵那ライオンズクラブは大型バスをチャーターし、メンバーと共に衣装やかつら、小道具も満載してのまるで地方巡業。舞台は大成功、万雷の拍手を浴びたのは言うまでもない。

「動」の祭の中の「静」。津まつりチャリティー呈茶会。

三重県・津西ライオンズクラブ

■情報提供／新田徹（幹事）

「津に来て、津をみて、津にほれて、ほんに津の街や、ええわさ〜」。津まつり会場に大音量の「津音頭」が鳴り響く。津まつりは約三百七十年前、津藩の第二代藩主藤堂高次が八幡宮の氏神祭として始めたとされる。今年も「高虎時代行列」を始め、「市民総踊り」、赤毛のかつらと鬼の面を着けて町々を練る「しゃご馬」、江戸時代に朝鮮から来た使者の風俗を模した「唐人踊」、日本最大級の「和船山車」、「安濃津よさこい踊り」などが繰り広げられ、十月八日、九日の二日間、街はお祭りムード一色に染まった。

祭りのメーン会場となるお城公園に東屋がある。ここで津西ライオンズクラブ（村田隆太会長／43人）は「チャリティー呈茶会」を開催する。川合みつ子第六代会長の提案で、青少年健全育成の一環として始めてから、今年で七回目を数えた。

同クラブ・メンバー、岡田量博ライオンが裏千家師範であったことから、会員の特技を生かし、お茶という伝統文化を通して、子どもたちに日本の古き良き礼儀作法を伝えようとしたのが発端。最初に手掛けたのは小学校での茶道教室で、今も津市内の各小学校で開催している。

その発展形とも言える津まつりでの呈茶会では、お客様をもてなすのは地元高校生や短大生。日々積み上げてきた研鑽の発表の場として、お手前を披露する。あくまで生徒を主体に、クラブ・メンバーら大人たちはお手伝いに回る。今年は保育園児二人ももてなしに加わり、会を盛り上げた。

沸き立つようなまつりの熱気と賑わいのまん中にある東屋の、周囲を紅白の幕で囲い、即席の茶席を設ける。緋毛氈の上に正座して、真剣な生徒たちの作法にならったお手前を受けていると、街中の喧噪から切り離された空間が生まれるらしい。周囲の音も、日ごろの忙しさも忘れられると、新田徹クラブ幹事は言う。「また今年も、お茶、呼ばれに来たでな」と、呈茶会に寄ってくれる人が年々増えている。前日の大雨が嘘のように上がり、抜けるような秋空と汗ばむほどの陽気に恵まれた今年の茶会には、子どもから年輩の方まで四百人もが参加した。

今回はお茶を楽しんでもらう一方で、参加メンバー全員が「ダメ。ゼッタイ。」のTシャツを着込み、薬物乱用防止の啓蒙活動も行った。総じて、こんなメッセージになるだろうか。「もしもあなたに麻薬を勧める悪魔のささやきが聞こえたら、今日の茶会席のように、心を静かにしてごらん。騒音は消えて、正しい作法・取るべき行動が見えるはず」。

生涯クラブ・テーマ「富士山にみどりを」を掲げ富士山山頂清掃奉仕活動。

静岡県・富士マウント・ライオンズクラブ

■取材／編集部

岩しかないはずの富士山山頂付近で、足下が妙にフワフワする。見るとタバコの吸い殻が積もっていた。

富士マウント・ライオンズクラブ（目黒輝久会長／33人）の富士山頂清掃奉仕の言い出しっぺは、富士市の吉原山岳会にも所属するライオン板倉勉と、四十歳を機に毎年富士山登頂をしているライオン目黒だった。富士山のゴミの多さに胸を痛めた二人は、まだ結成間もないクラブの例会で、富士山でのゴミ拾いを提案した。富士マウント・ライオンズクラブはその名の通り富士山保全をバック・ボーンにしようと発足していた。話を聞き、全員が「やろうじゃないか」と燃え上がった。吉原山岳会も協力を申し出てくれた。第一回目の実施となった一九九三年、メンバーの半数が山頂まで登った。ゴミは大きな袋にいくつもになり、下まで持って下りるのが一苦労だった。

これまでに使用済みの紙おむつや、開けていない缶詰を拾ったこともある。八合目のお地蔵様には、だれが始めたのか金剛杖に付いている鈴を置いてくる人が後を絶たず、乞われてこれを一掃したところ、鈴は置かれなくなった。ゴミもまた、どこかに置いてあれば重ねて置かれる。富士山のゴミをなくしてしまおう。

この活動を始めてから十三年。次第に五合目より上のゴミは減り、今年は五合目をスタートしてから六合目半まで何一つ落ちていないほどになった。変わったのはゴミの量だけではない。メンバーも十三年分年を取り、山頂まで登れる人は少なくなった。富士山環境保全を掲げるNPOも増えた。当然、清掃活動のやり方は変わった。高校生の山岳部員や一般からの参加も募る。

変わらないものもある。メンバーの熱意。実施時期。統計的に最も天気が安定している七月最終週から八月第一週だ。決して山を侮らない、万全を期した準備。半年前から計画を練り、一カ月前からは禁酒禁煙。

毎年、五合目に本部を置き、周辺の清掃を行うが、近年はトラックで乗り付けての産業廃棄物等の不法投棄もある。ゴミ拾い以上に、一人でも多くの人にゴミを捨てない意識を持ってもらうことが肝要だ。登山客にゴミの持ち帰りを呼び掛け、ティッシュとゴミ袋を配布する。

また、本部には救護ボランティアも開設する。当初は清掃活動するメンバーのための医療班として置いたものが、登山中に具合が悪くなった一般登山客もやってきて、それならばと間口を広げた。

クラブ結成十五周年目の今年は、富士市内のライオンズ四クラブの後援を得た。また富士市一般廃棄物処理協同組合の協力で、富士山グリーンキャンプ場で資源ゴミの分別回収の啓蒙活動も行った。

最後に、同クラブから皆さんに注意点を一つ。富士登山中にゴミを発見しても、登山道の外には絶対に出ないこと。小石が一つ転がっても、大事故につながる危険性があるからだ。

児童養護施設の子どもたちと稲刈り。「環境にやさしい農業」に触れる。

富山ライオンズクラブ

■取材／編集部

「この田んぼは工場で作った化学肥料は使っていないんです。なぜかと言うと、田んぼの中にいるいろんな動物や虫は化学肥料が嫌いなの」

高井芳樹元会長が子どもたちに語りかける。

「『人間に邪魔なものは殺せ』という考え方ではダメ。トンボも生きる権利がある、メダカも生きる権利がある。みんな共に生きてゆく『共生』ということがとっても大事なんです」

富山ライオンズクラブ（村家博会長／53人）は九月十七日、富山市内の水田で、児童養護施設ルンビニ園の子どもたちと稲刈りをした。田植えや稲刈りの体験を通して、環境に優しい農業や環境保護について考えてもらおうと昨年から行っているもので、同園で生活する小学生から高校生三十七人とメンバー十四人が参加した。水田は、高井元会長が社長を務める精米器メーカーのタイワ精機の試験田。稲は六月に園児らがメンバーと一緒に植えたコシヒカリで、化学肥料や農薬を一切使わずに育てられた。肥料はオカラやカニの殻から作った堆肥で、除草には米ぬかが用いられた。

長靴に運動着姿の子どもたちは、約七百平方メートルの田んぼで黄金色に実った稲をカマで次々と刈り取り、メンバーたちがそれを束ねて天日干しにした。今年の作柄は平年並みで、一時間ほどの間に米約二百キロを収穫。米は精米した後に、同園に贈られた。

参加した中学三年の女子生徒は「中腰の姿勢が辛かったけど楽しかった。今から食べるのが楽しみ」と息を弾ませながら話していた。四十年ぶりに稲刈りをしたライオン泉野正人は「改めて米を大事にしようという気持ちになる。うちの子どもも食べ物を残したりするけど、こういう体験をさせにゃあかんね」と話す。

同クラブでは、今後もこの事業を続け、子どもたちに何度も農作業を体験させることで、ゆっくりと無農薬有機栽培への理解を深めてもらいたい考えだ。

後日、子どもたちから同クラブに感謝の手紙が寄せられ、小学五年生の女子児童は「環境に優しい農業は、私たちや生き物にすごく必要なことが分かりました」と書いていた。

ライオンズの思いは確実に子どもたちに伝わりつつある。

講演やスキーで少年の更生を支援。感謝の手紙に確かな手ごたえ。

石川県・金沢中央ライオンズクラブ

■取材／編集部

「自分は警察の人に迎えに来てもらって以来、こんなに楽しい思いをし、笑ったのは初めてです。ライオンズクラブの方々のように、自分たちのような者を応援してくれる方がいる限り、自分は今後の人生を前向きに歩める気がします」

少年院の入所者とスキーを通じて交流を続ける金沢中央ライオンズクラブ（村田武会長／71人）には、こんな手紙が毎年寄せられる。

「自分たちは社会の仲間外れと自分勝手に思いこみ、社会に対して疎外感を抱いていました。しかし、私たちを温かく支援してくださる方がたくさんいることに気づき、これから先、必ず社会に恩返ししていこうと思います」

もっと少年が立ち直る手助けが出来ればと、金沢中央ライオンズクラブは九月二十一日、金沢市郊外にある初等中等少年院の湖南学院で、メンバーが自らの仕事や人生を語る講演会を開いた。一昨年から行っているもので、今回で五回目。大手私鉄に三十年勤めたライオン小松義明が、「安全への取り組み―電車運転手と車掌の協力」と題して九十分にわたって講演、学院生二十九人が聞き入った。

同学院は北陸唯一の少年院で、非行傾向のあまり進んでいない少年たちが生活している。あたりは畑や果樹園が広がり、塀も柵もなく開放的。しかし、規則は厳しく、社会のルールを徹底して教育するほか、社会復帰に向け外部との交流にも力を入れる。

同クラブは一九九三年、結成二十五周年事業として学院にスキー用具を寄贈。以来、メンバーと学院生がスキーや食事を楽しむ交流会を毎年開催している。

講演の中でライオン小松は、電車乗務員の仕事内容や、外部には分からない安全運行に向けた取り組みなどを説明。質疑応答では学院生から「運転手になる方法は」などの質問が相次いでいた。

前回の講演会では、スポーツ万能のライオン小間井隆幸が、これまで積んできたスポーツの経験を語りかけた。クラブに届いた手紙には、

「僕は今まで嫌なことがあると我慢をせず、楽な方へと逃げていました。これから僕は、小間井さんの話を生かして、嫌なことがあっても我慢して、うまく出来ないことがあれば努力して頑張りたいと思います」

と幼さの感じられる字で決意が綴られていた。

同クラブでは、こうした「涙の出るような手紙」（金谷衛元会長）を励みに、今後も学院に対する支援を継続していきたいとしている。

将来を担う子どもたちのため、軽度発達障害の啓発に努める信州LD研究会の活動を支援。

334-E地区第3リジョン第2、第3ゾーン

■取材／編集部

　近年、学級崩壊などの増加に伴って「LD＝学習障害」が注目を集めている。信州LD研究会は全国に先駆けて十二年前からこの問題に取り組み、LDの要因となる軽度発達障害に対する啓発活動を行っている。九月十六日、334-E地区第3リジョン第2、第3ゾーン内十クラブ（白馬、大町、高瀬、明科、穂高、安曇上高地、塩尻、塩尻桔梗、木曽）の代表と五味正雄リジョン・チェアパーソンらが堀金村公民館に集まり、信州LD研究会との懇談会が開催された。ライオンズは十一年前から支援金を贈って、その活動を支えてきた。

　懇談会では研究会の小平信夫代表と事務局を務める臨床心理士の降旗志郎清泉女学院大学教授から、活動状況と軽度発達障害の実情に関する説明を受けた後、出席者の意見発表と質疑応答があった。最後に、五味リジョン・チェアパーソンが小平代表に支援金三十四万円を手渡した。

　九月末に文部科学省が発表した「生徒指導上の諸問題の現状」によると、全国の公立小学校の児童が二〇〇四年度に起こした校内暴力は千八百九十件で、前年度に比べ一八・一％増え過去最悪となった。中でも教師に対する暴力は三二・八％と大幅に増加。感情のコントロールが利かない、いわゆる「キレる」子どもが増えていることが明らかになった。

　この調査では、長野県内の小学生に生徒間暴力と器物損壊が各一件と少ないことが分かっている。また小、中、高校生千人当たりの暴力行為の発生件数は〇・五と、全国平均の二・七を大きく下回っている。こうした調査結果について降旗教授は、人口過密地域がほとんどなく保育園や学校が過密にならないことなどに加え、信州LD研究会を始めとする研究会の存在が大きく影響していると分析する。

　問題行動を起こす児童には、注意欠陥多動性障害やアスペルガー症候群など、脳の細部に微妙な機能不全のある軽度発達障害児が多いと言う。そうした子どもには障害を早期に発見し、適切な指導や治療を続けることが必要になる。もしも障害が見過ごされて悪環境に放置されれば、凶悪な犯罪に結びつくケースもあり得る。そのため信州LD研究会は、軽度発達障害の分野における一流の講師を招請し、隔月で質の高い講習会を開催。保育士や教師を始めとする教育関係者らに最新の情報を提供し、効果的な指導法を研究している。参加費千円と安く抑えていることから、毎回百五十人から六百五十人に上る参加がある。それを可能にするのが地元ライオンズによる支援金だ。

　この活動の推進役を果たした大町ライオンズクラブの柴田賢二は、「従来の青少年育成活動は恵まれた子どもたちを対象にしたものが多かった。将来を担う子どもたちの現状を考えると、非常に重要な活動だと思う」と話す。支援に取り組む各クラブは、降旗教授を例会スピーカーに招くなどして会員の理解を深めている。五味リジョン・チェアパーソンは、今後は全県的に支援の輪を広げていきたいと語っていた。

　小平代表はライオンズの協力に感謝を表し、次のように語っていた。「ライオンズクラブは地域のオピニオン・リーダーであり、良識のバロメーターだと認識している。資金援助と同時に、ライオンズが後ろ盾になってくれることが、研究会の精神的な支えにもなっている」。

愛知県 幸田

甘柿か、渋柿か、それが問題だ。
西三河、幸田町の筆柿

■取材／編集部

小粒だが甘さ十分、幸田の筆柿

幸田町の特産、筆柿の選果場を訪ねて驚いた。使われている機械が、あまりに大きかったからだ。西三河筆柿選果場運営委員長の平岩昇さんの案内で、選果の過程を見て回ってまたびっくり。

「これで渋柿か、甘柿かを見分けるんです」

そう言って示したモニターには、次々に柿のシルエットが映し出される。ベルト上に一列になって運ばれる柿を、一つひとつカメラでとらえて判定しているのだ。影が映るのが甘柿、映らないのが渋柿だと言う。この選果場には三十六台ものカメラが据えられている。

柿の渋の原因となるのはタンニン。これが熟成と共に水溶性から不溶性に変化することで、食べても苦みを感じなくなる。「ゴマ」と呼ばれる黒っぽい斑点が、その不溶性タンニンだ。甘柿かどうかは、この「ゴマ」の有無によって分かるというわけ。

先ほどの判定機では「ゴマ」のある実は光が遮られるので影が映り、反対に渋柿は光が透けて影が映らない。その映像で瞬時に判別出来るのだ。

筆柿は一本の木に甘柿と渋柿の両方をつける「不完全甘柿」。ちなみに、種の有無にかかわらず甘柿になる富有柿などは「完全甘柿」、西条柿のように渋柿にしかならないものは「完全渋柿」、種が入るとその周囲だけ甘くなる平核無（ひらたねなし）は「不完全渋柿」と分類される。不完全甘柿は、種の数が多ければ甘柿にな

❶取材した九月末はまだ走りの時期。最盛期の十月半ばには、たわわに実った筆柿が鮮やかに色づく。「筆柿」の名は筆の穂先に形が似ているため。昔から「珍宝柿」の名で呼ばれていて、地元の人はこの方が馴染みがあるそうだ。こちらの命名も形が似ているから、だとか

❷❸各農家から選果場に集まった筆柿は、まず人の目でキズの有無を厳しくチェック。その後、ラインに乗ってカメラの下を通り渋甘を判定。更にサイズ分別、袋詰めまで機械で行われる

❹今年開催された愛知万博の「幸田町の日」には、来場者に可愛らしいふるさとパッケージに詰めた筆柿がプレゼントされた

るのだが、受粉の状況によって種の入り方に差があって、どうしても混じってしまうのだそう。生産者にとっては、とても厄介な柿なのだ。

　もともとは農家の庭先になっていた柿を、本格的に生産するようになったのは、五十年あまり前のこと。他の品種に比べて収穫時期が早いのと、甘み豊かで味が良いことから、出荷先は次第に広がっていった。昭和三十六年には東京へ出荷。評判は上々だった。そうなると、いかに確実に渋柿を判別するかという難問にぶつかった。それまでは各農家が経験による勘を頼りに判別していたが、強い光を当ててゴマの有無を調べる小型の判定機を使用するようになる。しかし、一個ずつ手作業による判定で、収穫期には真夜中までかかる辛く厳しい仕事だった。そこで、独自に自動判定機の開発を手がけ、試行錯誤の末に七年前から現在の大型機械に行き着いたそうだ。

　選果場を後にして、収穫作業を見に長峰地区にある山本信義さんの畑へ。この辺りは斜面を利用して柿畑が造成され、「長峰筆柿団地」と呼ばれている。

「こうして食べるのがいちばんおいしい」。山本さんは手近の枝から一つもいで軽く拭き、皮ごとかぶりついた。

「渋柿もあるんですよね」と、恐る恐る選んでいると、「この木はもう十五年以上経ってるから大丈夫」。

　収穫は四年目ぐらいから出来るが、年を経ると共に木が安定し、渋柿が少なくなるのだと言う。色の良いのを選んで、ガリっとかじってみる。さっぱりとした甘さ。甘柿になるには欠かせないという種は、ひょろりと細長く、おつまみの定番「柿の種」そのままの形をしていた。筆柿の収穫は九月下旬に始まり、十一月末まで続く。

　田園風景の中でひときわ大きな建物は、ひな人形製造元の㈱三喜（ライオン清水七郎／幸田ライオンズクラブ：TEL〇五六四・六二・二五四七）。三喜のひな人形は、衣装にこだわりがある。訪問着や留め袖などの晴れ着や帯など、仕立て上がりの着物を裁断して衣装にしている。その着物のいちばん美しい柄を生かすためだという。衣装に使う着物は、ライオン清水が自ら京都で仕入れる。一着の着物からとれる衣装はお内裏様二対分だけ。この世に一体しかないひな人形だ

三河のあじさい寺、本光寺と椿郷

幸田町には中世に深溝城が築かれて、江戸時代初めに廃藩になるまで続いた。大永三年（一五二三年）には松平家分家の松平忠定が深溝城主となった。町内には忠定が創建し、菩提寺とした古刹、本光寺がある。深溝松平家は後に移封となり六代忠房から島原城主となったが、境内の東御廟所には六代から二十代を埋葬した墓がある。住職によると、整然と並ぶ神殿造りの廟には、地下三メートルのところに棺が安置されていると言う。辺りには荘厳な雰囲気が漂っている。

境内ではちょっと面白いものも発見した。願掛け亀である。大きな石の亀に向かっておさい銭を投げ、首のくぼみに乗ると願いが叶い、万年幸せになるとのこと。亀には参拝者の願を聞くため大きな耳がついている。案内してくださったライオン尾山剛の投げたさい銭はピタリとくぼみに。それを真似て念を込めて投げたが、あえなく縁で跳ね返ってしまった。亀には聞き入れてもらえなかったらしい。願い事がぜいたく過ぎたのか。

本光寺はまた、三河のあじさい寺と呼ばれ、参道や境内に約一万本の紫陽花が植えられている。春には梅や桜も美しい花の寺だ。裏手の山の斜面は三河椿郷と名付けられ、百二十種七百本の椿が植えられている。幸田ライオンズクラブ（塩谷喜代和会長／27人）が二十年にわたり植樹を続けて作り上げた椿の園だ。結成五周年を機に、椿博士として知られた故・上田敏郎初代会長の発案で始まった伝統のアクティビティで、クラブは椿委員会を設置して取り組んでいる。春と秋の二回はここで清掃例会を開く。一汗かいた後には、本光寺のすぐ隣にある天然温泉「くりすの湯」でお湯につかって疲れを癒す。毎年春にはボーイスカウト、ガールスカウトの子どもたちと一緒に椿郷の清掃に励むのが、クラブの恒例行事になっている。（河）

❺本光寺の東御廟所
❻東御廟所へと続く階段の両脇には紫陽花が植えられている。寺の参道も紫陽花で埋まり、花の時期は見事
❼本光寺裏のつばきの小径が三河椿郷へいざなう
❽つばきの小径入り口には、幸田ライオンズクラブが二〇〇二年に建設した案内板があり、百二十種のうち主な品種を写真で紹介している
❾くりすの湯（ライオン栗巣野勉／幸田ライオンズクラブ）は昨年五月にオープンした天然温泉。神経痛や慢性消化器病に効能がある

イラストマップ／小川和政

■幸田ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（81ページ）。

福井県福井市一乗谷
戦国の城下町がそのまま埋まり、日本のポンペイと呼ばれる谷。

■切画：風祭竜二／取材：編集部

一乗谷は福井市街から約十キロの山間部にある。福井平野を流れる足羽川の支流、一乗谷川に沿った小さな谷だ。現在は静かな山村だが、戦国時代は、越前を支配した朝倉氏の城下町として、五代百年にわたって栄えた。最盛期の人口は一万人を超え、北陸の小京都と呼ばれた。しかし、五代・朝倉義景が一五七三年に織田信長に敗北。一乗谷は織田勢に火を放たれ、三日三晩燃えて滅んだ。焼け跡は水田や畑に戻り、土に埋もれた。

そして、四百年あまりの歳月が流れ、発掘調査が始まったのが一九六七年。以来、義景の館や武家屋敷、寺院、庶民の家、更に道路に至るまで、戦国の町並みがほぼ完全な姿で発掘され、百六十万点もの遺物が出土している。これが日本のポンペイこと一乗谷朝倉氏遺跡である。

中央の草の茂る長方形が花壇の跡

朝倉館正面の唐門。義景を弔うため秀吉が寄進したともと伝えられる

朝倉館と呼ばれる義景の館跡には、堀と土塁で囲まれた八十メートル四方の敷地に、十七棟もの建物跡が残る。茶室や台所、風呂場のほか、日本最古の花壇も見つかった。花粉の分析からユリやキクが植えら

れていたことが分っている。

　昨年の福井豪雨では一乗谷川も氾濫した。庶民の住居跡は水に浸かったが、朝倉館に被害はなかった。「今も昔も、いい人はいい所に住んでいる」と地元の人は笑う。

　朝倉館の向かいには、川をはさんで「復原町並」がある。遺構の上にそのまま武家屋敷や町人の家を再現したもので、戦国の城下町の雰囲気を実感出来る。トイレまで、長年の研究をもとに、復元されている。見ると、どこか変だ。板で出来た金隠し（和式便器の前部についているアレ）が、トイレの入口の方に据えら付けられている。「用を足している際も、敵に背を向けないのが戦国の習い」とのこと。

　復原町並から歩いて朝倉氏遺跡資料館へ出土品を見に行った。途中、何やらベルトコンベアで土が運ばれ、小山になっている。豪雨の復旧工事かと思ったら、遺跡の発掘現場だった。毎日、陶磁器の破片がたくさん出るそうだ。

　資料館には、茶器や下駄などさまざまな出土品が展示されている。最も人気があるのが将棋の駒だ。「酔象（すいぞう）」という見慣れない駒がある。「酔象」が成ると「太子（たいし）」、つまり跡継ぎとなる。「王将」と「太子」の両方を取るまで終わらないルールだったらしい。「歩兵」の裏に「和田」と記されたものもある。足軽に「和田さん」なる人気者がいて、ユーモアのつもりで書かれたのだろう。

　さて、朝倉義景は花を愛したことから分かるように、武将らしからぬ繊細な面もあり、和歌や画に通じた文化人だった。

　室町幕府最後の将軍となる足利義昭が、義景を頼って一乗谷に逃げ込んだことがある。義昭を奉じて上洛すれば、天下に号令することも出来たが、義景はそうせず、一乗谷を動かなかった。子どもを亡くし悲嘆に暮れていたとも言われる。そんなわけで、文弱のイメージが強いが、そうとも言い切れない。攻めてきた織田勢を、近江の浅井長政と挟み撃ちにして、信長、家康、秀吉、光秀ら戦国オールスターズを敗走させている。更に浅井長政、本願寺、武田信玄らと反信長包囲網を作り、信長をピンチに追い込んだ。けれど、とどめは刺さなかった。ツメが甘い。

武家屋敷や町人の家が整然と並ぶ復原町並

　結局、信長と四度戦って大敗、一乗谷に逃げ戻ったところで、一族の裏切りにあって自刃した。

　辞世の句は、

「七転八倒　四十年中
　無他無自　四大本空」

（四十年の生涯にはいろんなことがあったが、結局は空しかった）。享年四十一。

　信長は、義景の頭蓋骨に漆を塗り、金粉をまぶして酒宴に飾ったという。

　残暑の厳しいころだったが、一乗谷の朝は高原のように涼しく居心地がよかった。宿の女将さんが「義景さんもここが好きだったんだと思いますよ」と言う。確かにそうだろう。何だか谷を発つのが億劫になり、義景の腰の重さが分かる気がした。（哲）

アクセス

福井と九頭竜湖を結ぶJR越美北線で、福井駅から一乗谷駅まで約二十分。一乗谷駅から遺跡まで遊歩道があり、徒歩三十分ほど。

観光一口メモ

遺跡を貫いて流れる一乗谷川の上流は、うっそうとした渓谷で、落差十二メートルの一乗滝がある。剣豪・佐々木小次郎がここで修行を積み、秘技「つばめ返し」をあみ出したとされる。

周辺クラブ

福井市内には、福井（八木繁弘会長／76人）、福井本丸（酒井国男会長／61人）、ふくいピュア（桜井由子会長／39人）、福井中央（山本直孝会長／91人）、福井葵（水野善宏会長／78人）、福井九頭竜（古崎紀一会長／69人）、福井フェニックス（荒谷龍夫会長／45人）の七クラブがある。

長野県茅野市
八ケ岳山麓で水産加工？ 今や大ブームの寒天はこうして出来る

■写真と文：編集部

隙間をあけ凍りやすくするため障子の桟のように区切られた囲いの中に、ところてんを1本ずつ並べる

今年に入って、寒天が大ブームである。あまりの人気に、一時、店頭から寒天が消えてしまったほどだ。

火付け役は今年一月、イギリスの国際的な医学雑誌に掲載された横浜市立大学医学部の研究報告だった。それは糖尿病患者を二つのグループに分け、一方のグループだけ、食前に寒天を摂取してもらったところ、血糖値が低下。更にコレステロール値から血圧、体重、体脂肪まで減少したというものだった。

これをNHKの情報番組が二月に取り上げ、次いで民放も健康やダイエットをテーマにした番組で寒天を特集。こうして今年六月ぐらいには、大ブームが巻き起こった。

寒天の原料はテングサ、オゴノリなどの海藻類。これを煮溶かし、ろ過して凝固させると、ところてんが出来る。このところてんを角形に切って、自然凍結、融解、天日乾燥させたものが角寒天で、冬期にのみ天然生産される。

長野県は角寒天では全国約九割のシェアを占め、表紙のような寒天の凍乾風景は、信州の冬の風物詩として定着している。茅野はその中心で、冬の最低気温が氷点下十度前後、日中には気温が上がり、雪の少ない乾燥した気候が、良質な寒天作りに最適の条件となっている。

寒天凍乾場となるのは刈り入れ後の田んぼ。ほこりを防ぐため地面にわらを敷き、周囲にはかやが張られる。何千という干し板が並ぶさまは壮観である。

ところで、寒天の素、ところてんは中国から製法が伝えられたものだが、寒天自体は日本のオリジナル。

江戸時代、京都・伏見の旅館・美濃屋の主人美濃屋太郎左衛門が、島津藩主の食膳に出したところてんの残りを外に捨てたところ、冬の寒さで氷結。それが日差しを受けて解け、日を経て乾燥した。それを見た太郎左衛門が、ところてんの干物、つまり寒天の製法を思いついたという。

ちなみに、寒天が信州に伝わったのは約百六十年前。今は茅野市になっている玉川村の行商人・小林粂左衛門が、関西に商いに行って寒天を知り、製法を持ち帰ったのが最初であった。（鈴）

観光一口メモ
茅野市は八ケ岳を中心に蓼科高原、白樺湖など、自然あふれる観光地としても知られている。また、多くの遺跡があり、特に「縄文のビーナス」や「仮面の女神」の愛称で知られる土偶も見ておきたい。

アクセス
新宿からスーパーあずさで茅野まで二時間弱。車の場合は中央自動車道諏訪湖ＩＣが便利だが、上信越自動車道佐久平ＩＣから蓼科高原を経由するコースもいい。

周辺クラブ
茅野市には一九六二年、岡谷ライオンズクラブのスポンサーで誕生した茅野ライオンズクラブがある。特に献眼、献血に力を入れている。またスポンサーする茅野レオクラブは諏訪太鼓の演奏で有名。

Executive Officers Message

執行役員メッセージ

前国際会長／
LCIF理事長
クレメント・F・
クジアク

復興支援を続けるライオンズとLCIF

最近訪問したインドネシアでの光景を、私は生涯忘れることが出来ないでしょう。海岸を遠く離れて、石炭を積んだ大きな貨物船やタグボートの残骸が横たわっていました。津波の凄まじい力は、道を阻むあらゆるものを押し流してしまったのです。同じ波が海辺の村々や無防備な人々を襲ったことを思い、私は戦慄を禁じ得ませんでした。

当然ながら、時計の針を戻して津波の傷跡を消し去ることは出来ません。しかし、南アジアのライオンズやLCIFのように、人々の復興活動を支援することは出来るはずです。

インドネシアの北アチェ県では、地元のライオンズが被災者のために205棟の木造住宅を建てました。

スリランカのライオンズは、漁業者とその家族のために3,000棟の住宅建設を計画し、現在500棟余りの建設が進められています。

南アジア復興の道は険しく、歩みは遅々としたものになるでしょう。しかし、ライオンズは地域社会の指導者として、必ずや困難を克服することになるでしょう。被災地では、一瞬にしてあまりにも多くのものを失った人々が、住居や学校、孤児院の建設を待っています。彼らに幾ばくかの安らぎを与えることが出来るよう、惜しみない奉仕によって復興を成し遂げようではありませんか。

国際第1副会長
ジミー・M・ロス

指導力に焦点を

1917年の創設以来、ライオンズクラブ国際協会は世界最大の、最も活動的な奉仕クラブ組織へと成長を遂げてきました。私たちが現在の名声を確立出来たのは、会員の質の高さ、適切で意義深いプログラム、常に将来を見据えた戦略など、さまざまな要因によるものです。

しかし、その最大の理由は、国際協会のあらゆるレベルで発揮されてきた指導力にあります。ライオンズが目的を達成し、今後も地域社会への奉仕を拡大していくためには、見識の高い有能なクラブ役員、地区役員、国際役員が不可欠です。

アショク・メータ国際会長が言うように、指導への情熱が存在したからこそ、ライオンズの紋章はこれほどまでに信望を集めることが出来たのです。

ライオンズクラブ国際協会では会員の指導力を高めるため、数々の教育・訓練プログラムを提供しています。各地域の開催地を調べて自ら参加すると同時に、仲間の会員にも参加を勧めてください。あるいは、オンラインのライオンズ学習センターを活用してもよいでしょう。会員の指導力が強化されれば、目的を達成するライオンズの能力も高まるはずです。皆さんの努力は、本年度のテーマ「飛躍への情熱」を発揮することにつながります。

国際第2副会長
マヘンドラ・
アマラスリヤ

新たなキャンペーンにご協力を

第88回香港国際大会で、1億5,000万ドルの資金獲得を目指す視力ファーストⅡキャンペーンが開始されました。多額ではありますが、達成可能な目標額として、更に5,000万ドルの追加目標を掲げ、会員に一層の惜しみない協力を求めています。

10年以上前に始まった初回のキャンペーンでは、会員の献金が視力ファースト事業に活用されました。白内障手術を通して視力を回復した人々、河川失明症やトラコーマなど、失明をもたらす眼病を免れた人々は、それぞれ数百万人に達しています。今後3年間の新たなキャンペーンにより、眼科医療従事者とライオンズは、予防及び回復可能な失明に立ち向かうことが出来ます。支援の行き届かない地域では、今も多くの人々が視力を失い、あるいは失明の脅威にさらされています。

一人の視力が通常わずか6ドルで回復されること、ラテン・アメリカの河川失明症が2010年までに根絶出来ることを考えれば、すべての会員がこのキャンペーンに参加することの重要性は明らかです。

ご存知の通り、アショク・メータ国際会長は本年度のテーマに「飛躍への情熱」を掲げています。視力ファーストⅡキャンペーンに情熱を傾け、このテーマを確実に実現させようではありませんか。

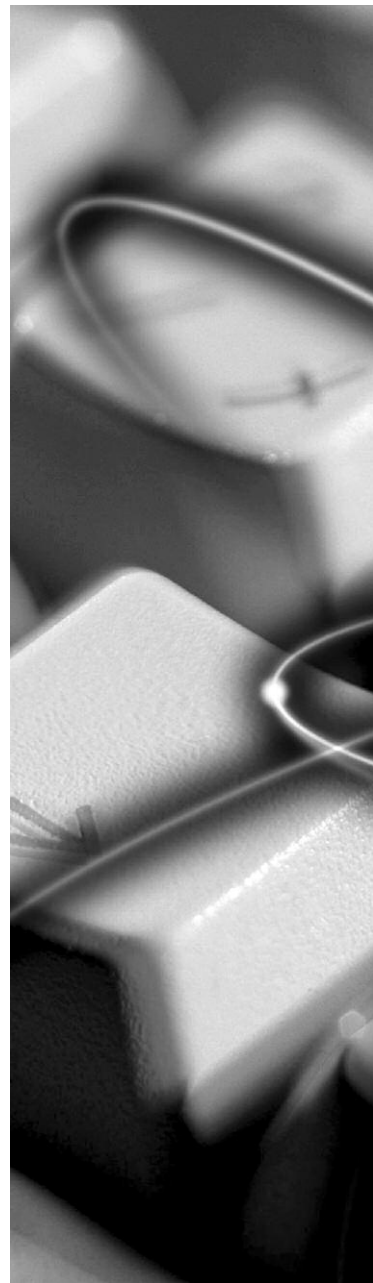
V¢}X[æVXe
ºuTOiºVL"ºŁ˘´—«ºB

■座談会出席者
吉岡稔隆（333・C地区IT委員長／千葉県・野田ライオンズクラブ）
福澤良夫（333・C地区IT副委員長／千葉県・松戸ユーカリ・ライオンズクラブ）
杉山民生（333・C地区IT特別委員／千葉県・浦安中央ライオンズクラブ）
高橋昌男（333・C地区IT特別委員／千葉県・松戸ユーカリ・ライオンズクラブ）

■司会
笹本瞭（ライオン誌日本語版委員／元地区ガバナー／千葉県・市川東ライオンズクラブ）

インターネットを使ったマンスリー報告システム「ServannA（サバンナ）」。三月から全国で、このサバンナによるライオン誌用マンスリー報告がスタートした。現在サバンナ使用クラブは全体の四分の三を超え、単なる報告システム以上の情報発信・収集基地としての役割も期待される。ホープ・サバンナの誕生秘話から今後の可能性まで、システム立ち上げに携わった四人が語った。

サバンナ誕生

笹本　サバンナは予想を上回る速さで普及し、ライオン誌用マンスリーにおける使用率は既に七五パーセントを超えています。本日はサバンナ産みの親である333・C地区IT委員の皆さんに、お話を伺いたいと思います。まず、サバンナとはどういうシステムなのか簡単にご説明頂けますか。

吉岡　インターネットを通じてマンスリー報告を提出するシステムです。ライオン誌専用版と地区版があり、地区版は現在、十地区（330‐A、B、C、332‐D、333‐A、B、C、D、335‐A、336‐C）が使っています。ライオン誌版は無料で使用出来ますが、地区版を導入するなら、既存のプログラムをそのまま使うとして二十万円前後、その地区に合わせるなら、それ以上の金額が必要です。が、導入後、その地区のクラブは地区マンスリーを提出するだけで、ライオン誌報告は不要、地区集計は自動計算されるようになります。

笹本　システムの特徴を教えて頂けますか。

杉山　コンピューターに慣れていない方でも報告出来るよう、マウスによるクリックと数字入力で済むよう考えました。それから、データが暗号化されるので、情報漏洩の心配がないこと。インターネットにつながっているパソコンなら、IDとパスワードで報告ページに入り、どこからでもマンスリーを提出出来るという利点もあります。ライオン誌や地区など報告を受ける側としては、クラブが入力したデータがそのまま保存・蓄積され自動集計されるので、再入力の必要がありません。

笹本　開発はいつごろから始めていたんですか。

高橋　それが、たった一年前くらいなんです。僕は地区の前IT委員長なんですが、年度初めに「IT委員会に予算が五十～六十万円付くから報告システム作ろうよ」と始まったんですよ。

笹本　地区内での普及は早かったですね。今はもう提出率一〇〇パーセント。

福澤　正直なところ、これほど短期間で浸透するとは期待していませんでした。333・C地区は、国際本部のインターネットを使った報告WMMRの提出率も低い、IT後進地区でしたから。

吉岡　前年度委員会の皆さんのご尽力はもちろんですが、それだけサバンナの操作が簡単だということでしょう。それと、私は去年、クラブ幹事だったんですが、それまで地区のほかにリジョン・チェアパーソンやゾーン・チェアパーソンなど、マンスリーのコピーを五枚も送っていましたが、その必要がなくなり、クラブ事務の合理化になりました。

福澤　コピーが必要だった人にはIDとパスワードを渡して、これでサバンナから閲覧してください、と。

笹本　紙は完全に廃止してしまったのですか。

高橋　はい。「サバンナと紙の併用を続けていては、合理化にならない。全員にサバンナで見る努力をしてもらえ」と、林護地区ガバナーからお墨付きを頂けたので。ライオン誌版サバンナを使われている全国のクラブでも、会長さんや幹事さんはクラブのIDとパスワードでサバンナに入ってマンスリーを見るようにしたらどうでしょう。

笹本　全国的に省資源・合理化につながりますね。

吉岡　それに今月分だけでなく、過去の報告書も見られます。今は始まったばかりでデータの蓄積が少ないですが、例えば十年後に、二〇〇五年十二月にはどんな報告をしたかな、と調べることも出来るんです。

ライオン誌版サバンナ始動

笹本　ライオン誌用報告にも使えるというのは、いつごろから考慮に入れていたんですか。

杉山　333・C地区とライオン誌の報告が一度に出来るシステムというのが、当初の目的だったんです。でも、ライオン誌報告だけでも使えるものが出来たので、「ライオン誌が用意した報告書式ではないですが、必要項目は満たしているので、うちの地区はこういう方法でライオン誌への報告をさせてください」というお願いを昨年十月のライオン誌日本

ライオン福澤良夫

語版委員会で出し、併せて「他地区のクラブがライオン誌報告だけを使うことも出来ます」という紹介をしました。そうしたところ、高橋義太郎前編集長を始め委員会の皆さんも、サバンナ導入にたいへん乗り気になってくださった。

笹本　ライオン誌では全国三千五百クラブ分という大量のマンスリーとデータを扱うので、職員による再入力が不要なら、大幅な時間短縮が可能になるんです。例えば『ライオン』誌発送住所の変更は、以前はクラブがマンスリーで変更を提出、ライオン誌が処理し、新しいあて先で『ライオン』誌が届くまでに一カ月以上掛かりましたが、現在はクラブが本誌発行の五日前、毎月二十日発行なので十五日ごろまでに、サバンナのデータを直接修正すればいい。

それに、四月に個人情報保護法が施行されて個人情報の管理、扱いが非常に厳しくなりました。サバンナ・システムでは事務所内に会員の個人情報のデータベースを置かないし、ライオン誌でさえ、会員住所を一覧の形で取り出すことは出来ません。安全性も飛躍的に向上します。

ライオン杉山民生

高橋　ライオン誌が報告書の処理をそれまでのシステムからサバンナに切り替えたことで、システムの根幹であるサーバーの所有とサバンナ運用の主導権は当地区からライオン誌へ移りました。そしてライオン誌版サバンナのスタートですね。

地区版サバンナで出来ること

笹本　全国的にライオン誌用マンスリーの提出をサバンナに切り替えてくれるようお願いし、また地区版サバンナもあることを紹介すると、これを導入したいという地区が出てきました。ここで地区版について少し詳しくご説明頂けますか。

高橋　クラブは国際本部（WMMR）、地区、ライオン誌の三カ所に毎月報告書を提出しています。地区版サバンナはライオン誌報告を基本に、それぞれの地区で必要なものを追加しているので、地区あての報告をすると、自動的にライオン誌用の報告も出来上がる仕組みです。

福澤　具体的に言いますと、クラブからの報告は地区版もライオン誌版も同じデータベースに入ります。それを地区が必要なデータ、ライオン誌が必要なデータと振り分けて取り出すわけです。

笹本　国際本部あての報告は一緒にはなりませんか。

杉山　WMMRは日本語入力が出来ないし、ライオン誌や地区はアルファベットだけでは不十分なので、現段階では無理ですが、将来的に一緒になるといいですね。

笹本　地区版サバンナは各地区のアクティビティ集計項目や集計方法に応じてカスタマイズすることが出来ますね。それぞれずいぶん違いがありますか。

高橋　はい、かなり。これまで僕は333・C地区はごくスタンダード・タイプだと思っていたのですが、他地区で使われ始めたサバンナ・システムはそれぞれの地区で独自の変化をしていきました。サバンナ産みの親と言っても、もう僕らはついて行かれないほど。各地区の多様性と、サバンナの柔軟性にも改めて驚かされました。

吉岡　ただ、現在は十地区が地区版を使っているんですが、いくら独

ライオン笹本瞭

自にカスタマイズ出来ると言っても、同じ土台の上にシステムがあって、ライオン誌を中心にデータを共有している訳ですから、全くバラバラに改良するのでは非効率的です。せっかく共有しているシステムを有効活用するためにも、ライオン誌とそれら十地区が集まって、問題点を挙げて解決策を検討したり、地区固有の機能を紹介したりする調整会議を、これまでに二回開いています。皆で話をすると、独自のプログラムの中に全地区が活用出来るものがあったり、新しい可能性を見いだしたり、一斉に発展出来る。

福澤　地区の垣根を超えた連帯感も生まれて、これはサバンナを通じての大きな収穫の一つです。それから、これは私個人の収穫ですが、これまでよその地区の業務について詳しく聞く機会がありませんでしたから勉強にもなりました。自分の地区キャビネットの仕事だってあまりよくは知らなかったのが、サバンナ開発に携わることになって、キャビネット事務局員さんの仕事も含めて知ることが出来ました。

高橋　ライオン誌の業務についても、当地区のサバンナ開始に当たって聞いてみて初めて、「そういうことしてるのか」という発見と、システム活用の道筋が見いだせた。だから、いろんな立場で仕事をしている人たちが、それぞれ声を上げてほしい。調整会議もそうだし、そういう場が必要だよ。そうしたら、もっともっとサバンナは成長するよ。

杉山　サバンナは生後一年だから、まだまだ子ども。それでも当初想像もしていなかった状態だもの。それを十地区で育ててるんだから、すごいよ。

吉岡　地区版使用とライオン誌版のみ使用のクラブを合わせて、現在既に全国の四分の三のクラブが使っているんだし、共通システムとしてどう活用していくかが今後の大きなテーマですね。

ライオンはサバンナで夢を見る

笹本　これからの活用ということでは、ライオン誌版のみの使用地区でも自地区の集計表を基本項目に限って閲覧出来る機能を設置します。これにより会員動静、例会出席率、労力アクティビティや金銭アクティビティなどが見られるようになります。それから、サバンナには「クラブ管理」というページにクラブ事務局の住所、電話、ファクスや例会日時・場所などいくつかのクラブ情報が入っているんですが、この項目を整えて、各地区でクラブ一覧のような形で閲覧出来るようにすることを考えています。これには会員の個人情報は含みません。

福澤　これは今はまだ夢なんですけど、年次大会の登録や宿泊の申し込みもサバンナで出来るんじゃないかと思うんです。333複合地区は全準地区がサバンナ導入してるし。

笹本　次の年次大会は無理?

福澤　次は、ちょっと……。もうじきに登録受け付け始まるし。でも、始めてしまえば早いのは実証済みなんですよね。333複合で成功すれば他地区でも使えるでしょうね。

ライオン高橋昌男

吉岡　調整会議でも、みんなでワイワイ言ってるうちに、つい話の方向が「こんなこと出来ないかな」って、夢の方に向かっちゃう。でも楽しいし、すごい原動力になるよね。

杉山　日本ライオンズの組織力を生かすための連絡網、情報網としても活用したいと思う。例えば災害時の支援活動などに、迅速かつ綿密な対処を可能にする手段として。ライオンだから瞬発力を磨かなくちゃ。

高橋　出来ればいいな、と思って、そのためにどんな作業が必要なのかが具体的になれば不可能ではなくなると思う。そのためにはやっぱり多くの人の夢と知恵が必要なんだよ。

笹本　今後どんなふうに成長していくのか楽しみですね。

ライオン吉岡稔隆

日本ライオンズの交付金事業例

障害者施設送迎バスのリフト取り付け改造事業

●山形県・天童王将ライオンズクラブ●

一般援助交付金交付額：10,000ドル　事業完了日：2005年9月13日

年々大変さを増す車いす利用者への乗降介助

九月十三日、天童王将ライオンズクラブは天童市内にある心身障害者小規模通園施設「のぞみ学園光の家」に通う人たちのために、送迎用のマイクロバスに車いす用のリフトを取り付け、引き渡した。以前から施設への支援活動を展開してきた同クラブが、ＬＣＩＦからの一般援助交付金を利用して行った事業である。

　のぞみ学園光の家には、車いすを必要とする重度の身体障害者の方も通園しているが、リフトのない送迎バスでの乗降介助は園の職員らにとって大きな負担となっていた。

「リフト付きの送迎バスがない施設は県内でも珍しい方でしたし、職員の方も加齢に伴い乗降作業が負担になってきていると園長さんから聞いていました。何よりバスの乗降の大変さはクラブのメンバーが身をもって体験していますから」

　と、天童王将ライオンズクラブの酒井清ＬＣＩＦ委員長は四年前のあるアクティビティを回顧する。

天童王将ライオンズクラブのメンバーで構成されたエレキバンドは、熱の入った演奏で会場を湧かせた

忘れることの出来ないアクティビティ

二〇〇一年九月十九日、天童王将ライオンズクラブは二十周年記念行事として「山形新幹線に乗って東京へ行きたい」という障害者たちの夢をかなえようと、「親子ふれあいの旅・イン・東京」を企画・実行した。

　当日朝、のぞみ学園光の家に通う十二人の障害者と保護者の方にクラブのメンバーを加えた総勢四十数人は、ＪＲ天童駅から山形新幹線つばさに乗っていざ東京へ。ＪＲの協力で停車時間を延長してもらう中、車いすの障害者たちは数人ずつスムーズに乗車した。東京に着くと、はとバスに乗って東京タワーを見学。買い物などを楽しんだ後、バスで国会議事堂や皇居を回り、夕方の山形新幹線で天童に戻った。限られた時間内で行われた日帰り旅行だったが、参加した天童王将ライオンズクラブの会員にとっては決して忘れることの出来ないアクティビティとなった。

「車いすを使っている本人はもちろん、保護者の方や介助の方がこんなに苦労しているとは思わなかった」

　と、この旅行に参加して車いすでのバスの乗降を手伝った会員は口を揃えてこう話す。車いすの障害者一人を乗降させるのに二、三人掛かりで介助しなければならない現実を身をもって理解した。また、このアクティビティは332・E地区年次大会アワードで最優秀グランプリに輝くというおまけもついた。

　二〇〇五年にライオン蜂谷正明がクラブ会長を務めることになり、「今年こそはＬＣＩＦ資金を使った事業を」という目標が掲げられ、事業内容を検討する段になった時、あの東京でのバスの乗降の苦労を思い浮かべた会員は一人や二人ではなかったという。のぞみ学園光の家に打診してみると、「ぜひに」とのこと。早速、ＬＣＩＦに資金援助の申請を提出す

完成したリフト付きバス。「乗り降りがスムーズになった」と利用する園生たちに好評

るのと同時に、八十二人の天童王将ライオンズクラブの会員は「一人一役」を目標に準備に取りかかった。

楽しみながら資金を獲得

最初のアクションは、交付金以外の資金繰り。まずは親クラブの天童ライオンズクラブに、一緒にチャリティー・コンサートを行おうと呼び掛けた。コンサートの開催を口コミで宣伝すると共に、ゾーン内にある五つのクラブにも協力してもらい、千五百枚ほど用意した前売りチケットを売りさばいていった。

送迎バスにリフトを取り付ける改造費約二百四十万円のうち、ＬＣＩＦ交付金約百十万円を除いた分は、天童王将ライオンズクラブの事業費と、このチャリティー・コンサートの収益金で賄われる。

九月十八日、天童市市民文化会館大ホールで、のぞみ学園光の家から招待された二十人を含む約八百人の観客の中、コンサートは開かれた。天童王将ライオンズクラブからはエレキバンド、天童ライオンズクラブからハワイアンバンドが出演し、それぞれ練習の成果を発揮、大いに盛り上がった。特別出演として長井市のフォークグループ「影法師」が歌とユーモアあふれるトークを披露。コンサートは大盛況の内に幕を下ろした。

だれからも喜ばれる事業に

会場前には、五日前に引き渡し式を終えたばかりの改造済みの送迎バスが展示公開された。車体にはＬＣＩＦと両ライオンズの名前が印字されており、会場に訪れた多くの人たちにこの活動をＰＲ出来たのではないだろうか。

「リフト取り付けの改造には約一カ月強掛かりましたが、その間は、のぞみ学園光の家に送迎バスがない状態。そのためバスの改造中は、代車のリース料といった出費も発生したのですが、四年前の障害者たちの東京旅行を覚えていてくれた天童市から助成金を得ることが出来、リース料の分と改造車の車検費用を持って頂けました。今回の事業の注目度を実感しました」

と、ライオン酒井は充実感を感じている。ところで肝心の車いすの園生たちからの評判はいかに。

「車いすのまま乗れるから、車窓からの眺めが良い」

と、なかなか好評を博しているようである。

砂山幹博（ルポライター）

チャリティー・コンサートの後、のぞみ学園光の家の園生から花束を受け取る蜂谷会長

CLUB REPORT クラブ・リポート

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は72ページをご覧ください。

北海道・上富良野ライオンズクラブ

手縫い「タオル」老人ホームに寄贈

イラスト／篠田和夫

上富良野ライオンズクラブ（對馬勝義会長／30人）はこのほど、ボランティア活動の一環として、「清拭」と呼ばれる介護用タオル二百八十枚を手縫いで作り、町内の特別養護老人ホーム「ラベンダーハイツ」へ寄贈した。

「清拭」は介護者らがお年寄りの体をふく際に使う。

同クラブの社会福祉教育委員会（佐藤チエ子委員長）の会員十六人が、セントラルプラザに集まり、さらしの布を裁断して縦三十四センチ、横三十五センチの清拭に手作業で縫い上げた。

針仕事は中学校の家庭科の授業以来だというメンバーもいたが、女性会員の手ほどきを受けながら一枚一枚、ていねいに作業。出来上がった清拭は對馬会長がラベンダーハイツに届けた。受け取った川鍋まさ子次長は「入所しているお年寄りも喜びます」と笑顔で感謝していた。

（『北海道新聞』9月27日）

（編）針仕事に慣れていない人には決して楽な作業ではなかったと思いますが、きっと温かい気持ちがお年寄りに届いたことでしょう。ちなみに、十六人で二百八十枚だと一人平均十七・五枚。清拭の周囲と対角線二本を縫ったとすると、運針の長さの総合計は約六百七十?でした。

連絡先→TEL〇一六七・四五・二三九七

京都朱雀ライオンズクラブ

小学生が着物ショーを披露

西陣織を通じて京都の伝統文化に触れる「小学生西陣織体験講座」が九月十日、京都市上京区の西陣織会館で開かれた。着物ショーを披露したり、糸繰りや手織りを体験するなど、地元の小学生たちが西陣織の伝統美に触れた。

西陣織の素晴らしさを小学生に知ってもらおうと、京都朱雀ライオンズクラブ（山崎清一郎会長／32人）が主催し、同区内の小学生と保護者約五百人が参加した。

着物ショーでは、赤や水色などあでやかな振り袖、舞妓姿の女子児童と、羽織はかまなど和服姿の男子児童が次々に登場。足取りはぎこちないものの、観客に着物の柄や着こなしなども見てもらおうと、舞台の最前部に一歩ずつ歩を進め、カメラのフラッシュを浴びた。

また、手織りや糸繰りなどの体験コーナーもあり、児童が実際に織機を使ってランチョンマットを織ったり、同会館の職員らから綿やマユを糸にする方法などを教わった。

（『京都新聞』9月10日）

（編）千二百年の歴史を持つ西陣織。完成までの二十を超える行程をそれぞれの専門家が手掛ける、豊かな知識と経験によって受け継がれてきた織物です。地元の子どもたちには、この貴重な文化を知り、誇りに思ってもらいたいものです。

連絡先→TEL〇七五・二五六・一一六〇

富山神通ライオンズクラブ

盲学校の児童がさつま芋掘り

盲学校の子どもたちに収穫の楽しみを知ってもらおうと、十月四日、富山市でさつま芋掘りが行われました。

この芋掘り体験は、盲学校の子どもたちに土と触れ合い、収穫の楽しさを味わってもらおうと、富山神通ライオンズクラブ（藤永隆会長／90人）のメンバーが中心となって、毎年行っています。

当日は、大山ライオンズクラブのライオン岡本武勇の畑に、県立盲学校の生徒ら四人と関係者が集まり、五月に自分たちで苗を植えたさつまいもの収穫に挑戦しました。

あいにくの雨模様となりましたが、子どもたちは手探りで芋の場所を確認しながら、大きく育ったさつま芋を次々と掘り出し、「採れた」「重い」などと歓声を上げていました。

収穫したさつま芋は、学校の給食で大学いもなどにして、みんなで食べるということです。

（『インターネットKNBニュース』）

（編）当日はあいにくの雨。カッパを着込んでの収穫となりました。それでもきっと、カッパを叩く雨の音や、濡れた土の匂いと共に、実りの秋の楽しい思い出になったことでしょう。

連絡先→TEL〇七六・四四一・八三三三

千葉ライオンズクラブ

トンボを街に呼び戻そう

千葉ライオンズクラブ（河内邦彦会長／57人）は一九九八年、市内の花島公園に、地元小学校児童や市役所公園建設課と一緒にビオトープを作り、管理してきました。この活動を「集まれトンボ花島池」と名付けています。

翌九九年七月には、イトトンボ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、チョウトンボ、そして憧れのギンヤンマまで帰ってきてくれました。二〇〇三年には千葉市中央区の千葉高等学校に更に大規模な、約百坪のビオトープ池をメンバーの労力アクティビティで造成しています。

これらの池で、千葉市の絶滅危惧種デンジソウや、オタマジャクシ、カエル、関東の遺伝子を持ったメダカ、そしてたくさんの蝶が飛び交う姿も見て、皆感激いたしました。

このように人工的なビオトープ造成で自然を復元することはとても大切なのですが、その一方、トンボの宝庫のような貴重な自然の池や沼を、国、県、市が保全し、ライオンズクラブがアクティビティ等でフォロー、保全し、未来永劫残していくことが出来れば、本当に素晴らしいと思います。

例えば、三年前に京都市が買い上げた「深泥池（みぞろがいけ）」（京都市北区）が良い例です。現在、五十八種のトンボが生息し、まさに国宝級のトンボの宝庫と言ってもいい存在となっています。

深泥池では京都洛北ライオンズクラブ（中島龍一会長／40人）が、ヤゴを食べてしまうブラックバス・ブルーギルの駆除も含めて、労力アクティビティで保全されています。池の観察会に参加させて頂き感動いたしました。

（環境保全委員長／椎名益男）

（編）「集まれトンボ花島池」では、小学生による「トンボとなかよし委員会」が、池の観察をしているそうです。

連絡先→TEL〇四三・二二五・六六三二

岡山京山ライオンズクラブ

中学生と共に国体炬火リレー

岡山京山ライオンズクラブ（平松清志会長／75人）は認証三十周年記念事業の一つとして、岡山国体と身体障害者スポーツ大会を盛り上げようと、七月一日、岡山市役所に萩原誠司市長を訪ね、炬火リレー走者用の帽子千五百六十個を寄贈しました。

炬火リレーが行われた七月十六日は晴天で、気温三十度を超す中、市内四十中学校と養護学校六校の生徒約千四百人が我がクラブが贈った黄色い帽子をかぶり、十四コースに分かれてトーチをリレー。秋季国体会場の桃太郎スタジアムで一つにまとめる合火式が行われました。式では岡山教育長のあいさつに続き、平松会長が、帽子寄贈の理由説明と、国体が成功するように、とのあいさつをしました。

参加した中学生諸君は一生忘れることのない感動があったことと思います。大人になった時、きっと自分の子へ素晴らしい思い出が語れることでしょう。参列した我々四十七人も、一緒に国体に参加出来た喜びを感じております。（幹事／坂本誠）

（編）七月四日、四百年以上も燃え続けていると言われる吉備津神社の御釜殿のかまどから炬火の種火が採取されました。厳かに行われた採火式に、参列した同クラブ会員たちも大きな感動を覚えたそうです。

連絡先→TEL〇八六・二三二・七一二二

長野県・駒ケ根ライオンズクラブ

聴覚障害に理解深める

駒ケ根ライオンズクラブ（北原公和会長／72人）は九月十六日、第九百九十八回例会に駒ケ根手話サークル会員十人と、聴覚障害者四人を招いた。聴覚障害のある生活について話を聞き、簡単な手話を学んだ。手話についての書籍を伊南地域の病院に寄贈することになり、その贈呈式も行われた。

例会にはサークル会員十一人と伊南地域の聴覚障害者四人が参加。ライオンズクラブの会員が店員役で、買い物に来た聴覚障害者に対応する疑似体験をしたり、「こんばんは」や「ありがとう」などの簡単な手話を覚えた。

聴覚障害者の四人は「会社の会議では手話通訳がつかないので、隣の人に筆談で教えてもらう」「昔は目覚し時計の代わりにタイマーで扇風機を動かしていたこともあった」など、耳の聞こえない生活の様子も語った。

同クラブでは聴覚障害者の通院している十四の病院と四歯科医院に、手話サークルを通して手話のテキストを寄贈することを決め、贈呈式も行った。（『長野日報』9月22日）

（編）きっかけがないとなかなか触れる機会がない手話ですが、あいさつや、緊急を要するような重要な会話だけでも、社会全体に広まるといいですね。

連絡先→TEL〇二六五・八三・七八〇六

兵庫県・柏原ライオンズクラブ

献血者減少に歯止めを

この十年間で献血者数が二割以上減るなど、減少傾向にある献血者を増やそうと、献血のサポートを活動の一つにしている丹波市内のライオンズクラブが市と連携し、増進運動を始めた。ライオンズクラブは企業を回って協力を呼び掛け、市は毎回対象地域に折り込みチラシを入れ、防災行政無線で告知するなど、広報を強化する。丹波市健康課は、「すべての血液が常時不足している状態」と言い、広く協力を求めている。

ライオンズでは、献血をした人に粗品を渡したり、啓発活動をしていた。しかし、献血離れに歯止めが掛からないことから、メンバー企業の訪問など、「待ち」から「掘り起こし」へと運動方針を転換。協力を求める企業をリストアップし、年四回の献血前に訪問する。市も、これまで町によって対応が異なっていた折り込みチラシを、対象地域すべてに入れるようにした。

努力のかいあってか、七月二十六日に市氷上公民館で行われた献血では、氷上地域としては九五年度以降最多の百三十四人が協力した。氷上ライオンズクラブ（広岡靖会長／36人）は、北野晶三保健環境委員らが十社以上を回り、協力を呼び掛けた。

柏原ライオンズクラブ（堀公二会長／35人）も、八月四日に木の根センターで実施する献血に向け、企業訪問を行っている。

丹波市と篠山市のライオンズの献血推進委員を務めるライオン松下恒雄（柏原ライオンズクラブ）は「昔のことを思うと、協力者が半分程度にまで落ち込んでいる。待っていてはだめ。各クラブで頑張ってもらい、年度末に報告会と反省会を開いて検証するなど実のある運動にしていきたい」と話していた。（『丹波新聞』8月4日）

（編）人数の減少の割に献血量の落ち込みが少ないのは、採血の主流が、四百ミリになった影響が大きいとか。兵庫県赤十字センターによると、血液は有効期限が三週間程度。今はすべての血液型について不足気味で、常時協力を求めています。

連絡先→TEL〇七九五・七二・三四二六

島根県・松江湖城ライオンズクラブ

出雲の女性に盲導犬貸与

松江湖城ライオンズクラブ（森山浩吉会長／97人）は奉仕活動の一環として、出雲市内の女性に盲導犬を貸与。その報告会が六月二十九日、松江市南田町のライトハウスライブラリーで行われた。同クラブが盲導犬を貸与するのは今回で四度目。

貸与を受けたのは、出雲市内の今岡秀子さん。今岡さんは六月中旬から、ゴールデン・レトリバーの「ジュリア」（雄・二歳）と日本盲導犬協会の神奈川訓練所で三週間、食事や歩行などの訓練研修を受け、共同生活を開始。

六月二十九日からは自宅へ場所を移動して一週間、同訓練士と共にジュリアと生活。その後、二人三脚の生活を始める。

今岡さんは「貸与を受けることが出来てとてもうれしい。ジュリアと一緒に明るく生活していきたい」と喜んだ。（『山陰中央新報』7月2日）

（編）四度目とは素晴らしいですね。二〇〇四年三月末現在、全国で約七千八百人の方々が盲導犬貸与を希望しているのに対し、街で活躍しているのは九百四十八頭だそうです。松江湖城ライオンズクラブの活躍は、全国クラブのよい手本となるでしょう。

連絡先→TEL〇八五二・二一・九三九四

福井県・武生、今立ライオンズクラブ
中学生議会開催

武生市と今立町が十月一日の合併を前に両市・町の友好を深めるため、武生ライオンズクラブ（塚﨑嘉昭会長／72人）と今立ライオンズクラブ（森田政一会長／34人）の合同アクティビティとして、青少年健全育成事業の一環も兼ねて、次世代を担う中学生による模擬議会を開催しました。

タイトル「武生・今立・中学生議会」、サブタイトル「友愛・実践・感動」をテーマに、八月十九日金曜日の午前中にリハーサルを行い、午後一時から四時まで議会を開催しました。

開催に当たり、中学生自身が、両市・町の現状をしっかり勉強し、郷土を知ることによって、彼らの目線によるさまざまな質問や要望を市長・町長に直接質問し、生の声を伝え、答弁してもらいました。

更に議会のあり方を学び、より行政に関心を高めてもらうことも目的としました。質問内容は、大人もびっくりするようなこと、時には微笑みながら、また真剣なまなざしで質問席に立ち、元気な中学生をアピールしていました。

今後、成人された後、この中から市会議員が誕生することを願っています。また、当日は川北篤334・D地区ガバナー、神田稔地区キャビネット幹事、川畑、岡本両リジョン・チェアパーソン、森ゾーン・チェアパーソンほか、地区役員、委員の皆さん、武生市・今立町関係者など多数おいで頂き感謝申し上げます。

第5リジョンの今立ライオンズクラブと第6リジョンの武生ライオンズクラブが、リジョンを超えて実施した初の試みでしたが、この合同事業を通して、両クラブの交流が深まったことは間違いありません。（実行委員長／森上茂樹）

（編）市長、町長を前に自らの言葉で質問をする体験は、事前学習も含め、まさに「身に付く」学習です。子どもたちが一回り大きくなったことでしょう。

連絡先（武生ライオンズクラブ）→TEL〇七七八・二四・二三四〇

広島安佐ライオンズクラブ
障害者ら373人スタンド応援

広島市内の作業所などに通う障害者ら約四百人が、八月三日、広島市民球場であった広島対巨人戦を観戦した。広島安佐ライオンズクラブ（下井田積会長／25人）の結成十周年記念事業。

招待されたのは安佐南区、安佐北区の十二の作業所に通う障害者百六十一人とその家族、佐伯区の養護施設の生徒ら計三百七十三人。参加者は応援歌に合わせて、うちわやメガホンを鳴らして、広島カープに声援を送った。

市民球場の車いす用ブースは六席分だけ。利用出来なかった人は座席に座った。ファウル・ボールが当たらないように、魚を捕る網四本も用意して備えた。

車いすで参加した安佐北区の山岡恭子さんは「今は通路が狭くて通りにくいけど、球場が新しくなればこんな楽しい機会も増えそう」と喜んでいた。

（『インターネット・みんなのカープ』）

（編）残念ながら、今シーズン広島カープはリーグ最下位となってしまいました。でも広島の皆さん、来年に期待して、熱いエールを送り続けてください。

連絡先→TEL〇八二・八七二・六五〇〇

●獅子吼（ししく）①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

（応募要領→72ページ）

心が安らぐ

生駒　健之輔（熊本県・人吉）

ここ四、五年、ギターを引っ張り出して下手な歌を歌っている。そう、三十数年前に首まで漬かっていた、あのフォークソングである。

三年前には所属する人吉ライオンズクラブでバンドを組み、フォークギターをエレキギターに持ち替え、ベンチャーズ・サウンドにも挑戦。メンバーの足を引っ張りながらも、特別例会や地区ガバナー公式訪問などで演奏させてもらった。最近は遠ざかっているが、また機会を作って練習出来ればと思っている。

フォーク漬けだった三十数年前、コンサートでプロの歌を歌えば著作権料だなんだとうるさく、また自分のこだわりもあって、未熟なオリジナル曲を歌っていた。長い髪でギターを抱え、教育現場では不良と決めつけられていたスタイルである。生活を歌い、心境を歌い、そのままを歌っていただけであったが、いつも見かけで判断される時代であった。

就職、結婚、第一子誕生、時代は流れ、やがて手の指先から弦を押さえるマメが消え、ギターもケースの中で弦を緩められ、息を潜めた。

いつのころからか、「こんな時代にギターを弾いて歌っていたら、人に馬鹿と言われるバイ」と思うようになっていた。何故なのかはっきりした原因は定かではないが、良くも悪くも仕事に起因するものではなかったかと思う。

私の生まれた小さな町も過疎化が進んでいる。私自身、実家と会社はその町にあるものの住まいは別の町に置いているが、町の青壮年部の活動は一緒にさせてもらっている。活動の一つである敬老会では、にぎやかにしようと踊りなどを取り入れていたが、何の拍子にか音楽の話になり、敬老会でコンサートをやろうということで一致した。昔取った杵柄で、すぐ町内の懐かしいメンバーが揃った。早速練習に入ったものの、指は動かず、弦を押さえる指先は痛い。コードも忘れかけている。苦笑いの連続だったが、どうにか様になるようになり、敬老会、デイケア・センター慰問と活動しておおむね喜んで頂けた。こんな形での社会への奉仕もあるのなら、もっと早くからやれば良かったと思った。

この町にはかろうじて流れているわずか五十㍍ほどの川がある。元は一級河川だったが、昭和五十年代後半に下水道工事で水脈が絶たれた。「まんだら川」と称する。

今年の敬老会には、このまんだら川の情景を歌詞にした歌を歌った。昔はとうとうと流れていて生活用水でもあった。子どもだった私たちの格好の遊び場の一つで、その情景は

今でも頭の中、胸の内にそのままある。
「大信寺に沿って流れ行くまんだら川で／はしゃぐ子どもを横に見て洗い物の母／こんなのどかな風吹く南泉田／遠い昔の情景さ　懐かしい日々よ」

五月に五十一歳の若さで亡くなった友人の死も、一つのきっかけとなった。その歌が、敬老会で大好評を博した。歌詞がほしい、テープをくれという依頼が相次ぎ、挙げ句の果ては歌碑を建てようという話まで出て、たいへん喜んで頂いた。我々「まんだら楽団」こそ感謝の気持ちであった。
「こんな時代にこんなことをやっていていいのか」ではなく、「こんな時代だからこそ、やった方がいいのだ」と、最近では思っている。

十月初旬のこと、ハリケーンで潰されたニューオーリンズをニュース映像で見た。復興の最中、漏電により方々から火災が発生し被災者に追い打ちをかけた。その災害現場にヘリコプターが飛び回る。ニューオーリンズ市長は「我々はヘリの音ではなく、ジャズが聴きたいんだ」と言った。そして、復興半ばの町で住民たちによるセッションが始まり、子どもから大人まで音に酔い、ステップを踏み、一時を楽しんでいた。行政の不手際にままならぬ復興。どんな時でも、音楽は人の心を癒す原動力となり得るのだろう。

趣味は趣味として、自らの心を癒してくれる。ストレスを溜めない特効薬となるようだ。
「楽器や音楽を好きになって。何かあった時に心が安らぐよ」。ある新聞記事にそうあった。

（印刷業・53歳）

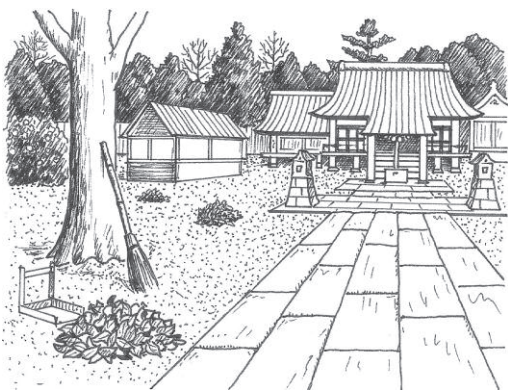
去就

君塚　一雄（千葉県・房総勝浦）

ライオンズ歴は三十年以上になる。四、五年前（七十歳を超えた辺り）から、例会出席がおっくうになった。若手ライオンの入会も多くなり、ジェネレーション・ギャップを感じていたからである。老人のひがみも手伝って退会を意識し始めたころ、東京のライオンズ仲間から手紙が届いた。

内容は、マンネリズムを感じているので退会を決意したとある。私と同じ気持ちに追い込まれたメンバーはほかにもいたのだ。踏みとどまろうか、辞めようか迷っていた矢先、『ライオン』誌の縁で友人になったメンバーご夫妻が拙宅に遊びにみえた。雑談の中で去就の思いを打ち明けてみた。すると彼は即座に「終身会員を申請して在籍したらどうだろう。その方が気が軽くなるよ」。

この一言で、目が醒めたような気がした。彼と私は同い年だが、ライオンズに対する心構えがこんなにも違うものなのかと感銘を受けた。また、短歌・俳句・川柳・エッセーの名手と尊敬する友と知り合えたのも、ライオンズにいたからなのだと気付かされ、気持ちの切り替えが出来た。

今年の四月、国際本部から終身会員のプレートと名刺大の身分証明のようなものが届いた。例会の中で会長から手渡され「ウォーッ」と叫んだ時、しみじみと三十年のライオンズ歴を感じた。そして、心の中で友に感謝して

いた。
　終身会員になった月から会費は四〇パーセントカットとなり、その分は『ライオン』誌や新聞に私の短歌や俳句が載った時にでもドネーションするつもりである。会員増強はもちろん続けた方がいいが、私のように迷っているメンバーを終身会員として推してみてはどうだろう（もちろん、終身会員の規約をクリアするメンバーに限られるが）。
　現在、終身会員になって五カ月が過ぎた。彼の言った通り気楽になったことは紛れもない事実である。文字通り身の終わるまで在籍するつもりでいる。
　末文になったが、私にアドバイスをしてくれた、千葉県・流山ライオンズクラブのライオン皆川春安に誌上をお借りし感謝の意を表したい。
ちなみにライオン皆川は333‐C地区の現ガバナーである。ガバナー公式訪問で再会出来る日を今から楽しみにしている。

（無職・75歳）

イタリア

安藤　真奈美（岐阜県・ＹＥ生）

　私は今回、大垣城ライオンズクラブのスポンサーで、夏季ユース・キャンプのキャンパーとして四週間、イタリアに派遣して頂きました。心に残る素晴らしい経験となりました。
　第一乗換地、ドイツのフランクフルト空港からベネチアへ。空港に降り立つ前、飛行機の中から見たオレンジ色の家々の屋根。私がイタリアに着いて最初に受けた印象は、とても美しい国だということでした。
　今回のキャンプには、四十五人のキャンパーとスタッフが参加しました。キャンプ中、スタッフからイタリア語のあいさつなどを教えてもらったり、日本に興味を持ってくれる方もいて、いつの間にか日本のことも話になりました。
「お茶が好き」と言うと、「玉露？　煎茶？　麦茶？」などとお茶の種類を聞かれたり、「盆栽って面白い」と言う人もいて、日本について詳しいことに驚き、うれしくもありました。私自身も自分の思いが少しでも伝わるよう努力しましたが、みんなも真剣に聞いてくれ、さまざまな人のさまざまな考え方に触れた経験は、日本の生活では学べないことでした。

キャンプでは、イタリアの都市を巡ることもありました。ベネチア、フィレンツェ、ローマ、ミラノの歴史ある風景や建物、彫刻はとても素晴らしかったです。二週間は一日一日が中身の詰まったものとなり、あっという間に過ぎて行きました。最終日、みんなとの別れは本当に寂しく、切ない思いでいっぱいでした。

　キャンプを終えると、ホームステイをするためローマへ移動し、ローマ近郊にあるホスト・ファミリーの家へ行きました。最初に、ホスト・パパと犬のトーマスが温かく出迎えてくれました。パパはとても陽気で優しい人で、いろいろな食べ物を勧めてくれたり、笑顔で「またイタリアに来る時は電話するんだよ」と、言ってくれました。

　また、ステイ先での食事はとてもおいしく、いつも「ボーノ、ボーノ！（おいしい）」と言っていたら、ママが特製のトマトソースの作り方を三時間かけて教えてくれました。お姉さんは、ローマを案内してくれたり、お友だちを紹介してくれました。

　イタリアの人はいつも前向きで、思いやりがあり、愛に満ちていました。私はそんなイタリアが大好きです。ホスト・ファミリーやキャンプで出会ったすてきな人たちと、また会えることを楽しみにしています。

　ライオンズの皆さま、本当にありがとうございました。この貴重な体験と今までで最高の時を与えてくださったすべての方々に心から感謝します。

（学生・16歳）

教育勅語ってなぁに？

片山　和子（大阪イースト・事務局）

一九七一年、私がライオンズクラブの事務局員として参りました折、会員構成は明治生まれ四十一人、大正生まれ二十八人、昭和一桁生まれ十一人のクラブでございました。現在、結成四十八年でチャーター・メンバー一人（九十五歳）、大正生まれ七人、後はすべて昭和生まれの方々でございます。

　その当時は高度成長期で、皆さまたいへんご多用ではございましたが、ライオンズに対しても真摯でございました。会社では厳しき経営者だとお見受けする方も、ライオンズクラブにお越しの折にはニコニコと温厚なお顔で、心あるお言葉で受け答えして頂きました。

　今思いますと、日本の心の教育をきちんとなされ、幼き時から「教育勅語」の朗読が義務付けられていた時代に育った方々でございました。私は戦争を知らない団塊世代でございますので、「教育勅語」という言葉は耳にしておりましたが、中身は知らず……いや知ろうともせずに過ごして参りました。

　偶々、明治神宮をインターネットで調べておりました時に、この文字が私の目に飛び込んで参りました。ここに現代調に記載されたものを参照させて頂きます。

教育勅語　十二の徳目（国民道徳協会訳文による）

一　孝行：親に孝養をつくしましょう

二　友愛：兄弟・姉妹は仲良くしましょう

三　夫婦ノ和：夫婦はいつも仲むつまじくしましょう

四　朋友ノ信：友だちはお互いに信じあって付き合いましょう
五　謙遜：自分の言動をつつしみましょう
六　博愛：広く全ての人に愛の手をさしのべましょう

七　修学習業：勉学に励み職業を身につけましょう
八　智能啓発：知識を養い才能を伸ばしましょう
九　徳器成就：人格の向上につとめましょう
十　公益世務：広く世の人々や社会のためになる仕事に励みましょう
十一　遵法：法律や規則を守り社会の秩序に従いましょう
十二　義勇：正しい勇気をもって国のため真心をつくしましょう。

この十二の教えを読み終えて気が付きました。「我々は知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」。この「ライオンズの誓い」は教育勅語と同じスピリッツだと思いました。

温かく愛情豊かで素晴らしい人生訓、現在の日本人にとっても全世界の平和のためにも環境問題に対しても必要だと感じました。教育勅語は一八九〇年（明治二十三年）に発布され、一九四八年、国会で排除されるまで六十年近く国民の基本理念として据えられていました。

現代はコンピューター時代で個人プレーが多く、大人も子どもも温かい心の優しさと触れ合いが大切だと思います。教育勅語のネーミングを変えれば平成の時代でも受け入れてくれると思います。この十二項目は「もったいない」に続いて全世界を駆け巡ってほしいものでございます。

平和を祈願しつつ……。

（クラブ事務局・56歳）

俳壇

■選者　森　澄雄

【特選】

不来方（こずかた）の啄木の歌碑月に映ゆ　（岩手県・藤沢岩手）藤沢　誠

（評）啄木の歌碑は「不来方のお城の草に寝ころびて空に吸はれし十五の心」の歌で、盛岡城跡の現在の岩手公園にあり、月光に映えている。不来方城は慶長四年（一五九九年）から盛岡南部氏の居城となったが、二代目藩主利直の時、不来方の名を嫌って元禄四年（一六九一年）盛岡城とした。

布引（ぬのびき）の滝のしぶきに濡れて立つ　（兵庫県・神戸シニア）野口　章子

（評）布引の滝は神戸市中央区布引通、生田川の上流、砂子（いさご）山の斜面にかかる。雄滝、夫婦滝、鼓ケ滝、雌滝があり、白布を敷いたような景観をもつことからの名。古くから幽境の地として歌枕にもとられ、「水の色ただ白雪と見ゆるかな誰さらしけむ布引の滝」（源顕房）など古歌も多い。しぶきに濡れて立っている。

（応募要領→72ページ）

【入選】▼

山頂を雲流れゐて蕎麦の花　（千葉県・船橋シニア）紺谷　宗男

踊果て東天白む郡上かな　（愛知県・名古屋樟）髙橋　忠男

祭神に雅楽奉納菊薫る　（三重県・伊賀上野）豊岡はつ子

老妻のしみじみ無言今日の月　（静岡県・三ケ日）足立　貞男

海鳴りや安宅の関の新松子　（福井県・敦賀）山本　麓潮

座して待つ盲導犬の目の涼し　（兵庫県・神戸シニア）中村麦芽子

永平寺修理の足場野分跡　（兵庫県・西脇）高瀬　博子

鼓の音澄む初秋の能舞台　（大阪カトレア）吉村美穂子

盆踊幼を抱きし母もゐて　（大阪夕陽丘）櫂谷　睦美

秋篠は萩の寺よと風さそふ　（大阪夕陽丘）角野　慶子

野地蔵に秋の七草摘み供ふ　（大阪夕陽丘）中村　豊彦

不断とは別の顔なる踊り振り　（大阪夕陽丘）田中　一栄

蒼天のどこまで続く大花野　（大阪府・堺浜寺）宮部志都代

遠き日の下駄占ひや鰯雲　（大阪府・堺浜寺）荻野　克美

露草の瑠璃濃きことも深山寺　（和歌山県・伊都高野山）慈幸　久佳

歌壇

■選者　春日真木子

【特選】

冷房のきつく効きたる車中より燃えたつごとき野と畑の見ゆ
（徳島県・鴨島）乾　忠義

（評）猛暑といえども車の中（列車か）は、冷房が効いて涼しい。「きつく効きたる」とあるから冷房は効きすぎ、ふと重ね着をしたいほどかもしれない。窓の外を見ると、太陽は白光を放ち、炎天下の野も畑も、緑が燃えたつようだ。野と畑は炎暑に苦しんでいるのに、冷気の車中は、まるで異界のように感じたのであろう。猛暑続きの最近は、こうした現象が多く、うまく切り取った一首。上句は現実のままであるが、下句、特に「燃えたつごとき」で作品化されている。

（応募要領→72ページ）

【入選】▼

野男の発行人は節くれのごつき指して野良の短歌(うた)詠む
（北海道・訓子府）吉野　良子

労役を担いて来たる獣たち馬・駱駝・象がリストラされる
（青森県・五戸）吉田　晶二

斜坑よりいつしか列車は海底を進みて真横に流るる明かり
（青森県・弘前チェリー）高橋　修一

この皺は抑留されしシベリアの記念と笑ふ米寿の偉丈夫
（千葉県・房総勝浦）君塚　一雄

海沿いの無人の駅に曼珠沙華予約の如く秋陽に燃えて
（千葉県・館山中央）荻野　貴子

牛臥せる如き姿に殺生石賽の河原に燃ゆる陽炎
（神奈川県・小田原）清水　幾代

納骨堂の屋根の稜線際立ちて雲なき空へ対比せるごと
（三重県・四日市北）横井　真澄

スキップの児は幼な髪なびかせてひまわり迷路の黄に染まりゆく
（石川県・羽咋）竹津　弘子

くすぐりの言葉をかけぬ間をおきてつたなく笑ふ声の伝ひ来
（兵庫県・加美）藤田紀久子

頬撫ずる風の朝(あした)に畑へ出づ芋の葉の露うける掌(てのひら)
（高知県・土佐香南）野村　禎子

柳壇

■選者 大木俊秀

【特選】

蟋蟀は延命装置付けてない　（新潟県・五泉）佐藤　隆吾

（評）季節の虫「こおろぎ」を、川柳で詠むとこのようになりますというお手本のような作品です。ついに耐え切れない冷え込みとなった夜、防寒具さえ持たない蟋蟀は短い一生を閉じるのです。鉦叩の、チン、チン、チン、も聞かれなくなりました。

妻に会うまでの恋さえ裁かれる　（福井県・敦賀みなと）田中　信幸

（評）裁かれるのは夫。そして裁判官は当然その妻。それも新婚間もないのならともかく、すでに時効も完全に成立している時期なのに、いまだにこだわっているケースもしばしば。拙者の愚妻また然り。「女房の妬くほど」という古川柳がありましたな。

（応募要領→72ページ）

【入選】▼

国家観問えば若者目を外らし　（北海道・釧路まりも）岸本　照之

左遷地の我慢が実る返り咲き　（青森県・五所川原）坂本　憲昭

望郷の画布いっぱいに老母を描く　（青森県・弘前中央）高橋　敬

物忘れ酒のせいにはもうできぬ　（岩手県・水沢中央）佐藤加代子

秋祭終わればやはり過疎の町　（千葉県・房総勝浦）君塚　一雄

村祭りスピーカーから出る囃子　（千葉県・流山）皆川　春安

魂胆が読めない妻の丁寧語　（千葉県・東庄）藤崎　久男

私よりスリムに歩く影法師　（静岡県・大仁）山本　順平

京グルメ少しおしゃれをして行こう　（大阪カトレア）榎本　洋子

相槌が下手で出世が遅れがち　（島根県・松江湖城）長谷川　孝

紙とペン別な自分が喋り出す　（宮崎橋）井上　忠一

飽食の子等にもあった見えぬ飢え　（宮崎橋）甲斐　忠視

遺言をしてから病気持ち直す　（長崎県・諫早）大﨑　博正

花束が浮かび哀しい海になる　（長崎県・佐世保西）神谷　治雄

引きずってまだ片足はバネのきく　（熊本みどり）吉村　容子

伝言板

■東京合同事務局から

東京合同事務局は、330・A地区地区の任意のクラブが合同で設けている事務局で、二十五人の職員がクラブ間の情報収集や業務連絡、緊急のリクエストに迅速に対応しています。同局が十月三十一日付けで、約四十年間の歴史を刻んだ八重洲から築地に移転しました。これに伴い電話、ファクス番号も変更になりましたので、都内の会員の皆さん及び、都内クラブへのメークアップの例会出席を希望される方も、お問い合わせの際などはご注意ください。入局クラブや、例会日時・場所の一覧は東京合同事務局のホームページでもご覧頂けます。新住所：東京都中央区築地二・二・一　築地細田ビル6階（〒104・8501）。

TEL：〇三・三五四二・五七一一
FAX：〇三・五五六五・七六五二
URL：www.lions-club-ato.com

クラブ会員刊行物

●大地　張晶作品集カレンダー

作者／張晶（福岡県・宗像ライオンズクラブ）問い合わせ／宗像ライオンズクラブ事務局（TEL〇九四〇・三四・八一五二）

十月号「ライオンズ・ギャラリー」にも登場したライオン張晶の、シルクロード、チベットの壮大な風景を題材にした油彩作品のカレンダー。

58×43cm 13枚綴り
2,000円

訂正とお詫び

十月号「会員刊行物」（56ページ）で紹介したライオン張晶の作品集は非売品ではなく、五千円で販売しています。お詫びして訂正致します。

ライオン誌事務所来訪者芳名録

10 12　千葉県四街道　楠岡　巖
10 12　長野県佐久　樫山　幹男
10 17　青森県つがる　小山内金弥
10 27　宮崎県延岡五ケ瀬　宮脇　義光
10 31　福岡舞鶴　山﨑　営市

ライオン誌投稿要領

カラー

■「MY BEST SHOT」78ページ

●応募資格：会員（ライオン、ライオネス、レオ）及びその家族でアマチュア。

●応募作品（題材は自由）プリント（サービス判〜キャビネ判）、スライド（35ミリ以上）、データ（長辺1600ピクセル程度／JPEG最高画質）。一人5点まで。

●プリントは写真の裏に紙を貼り、スライドには必ずマウントをつけ、データはメールの添付書類で本文に、氏名、クラブ名、年齢、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、電話番号を明記。返却希望の場合は、住所、氏名を記入した返信用封筒に切手を貼り同封。締切：毎月15日。

■「ライオンズ・ギャラリー」79ページ

●会員及びその家族。プロ、アマ不問。

●応募作品：絵画、版画、工芸／題材は自由。作品のスライド・フィルムか、カラー・プリント（キャビネ判）。氏名、クラブ名、年齢、職種、作品のサイズ、題名を明記し、作品に関するエッセー、自評など（400字程度）、顔写真を添付。

■「こころのチキンスープ・ライオンズ編」76〜77ページ

●応募資格：会員（ライオン、ライオネス、レオ）やそのご家族、クラブ事務局員など。

●ライオンズにまつわる感動的なエピソードの概略、あるいは1,200〜2,000字程度の原稿。ストーリーは本誌ライターが書き下ろします。

本文

■「クラブ・リポート」58〜62ページ

●ライオンズ、ライオネス、レオクラブ。

●アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。新聞記事は新聞名、掲載日を付記。関連写真があれば添付（返却希望の場合はその旨を明記）。

■「獅子吼」63〜67ページ

●会員及びその家族によるエッセー、提言など。1600字程度。職種、年齢を明記。

●題字はハガキ程度の大きさ。

■「俳壇」「歌壇」「柳壇」69〜71ページ

●会員及びその家族。

●一人ハガキ1枚に3句／首まで。締切：毎月15日。

■「リーダース・プラザ」72〜73ページ

●クラブ会員刊行物：クラブ並びに会員が刊行された出版物を1部送付。

●伝言板：読者間の情報交換に。

●読者から：本誌への意見、感想など。

▼締切の記入のないコラムは随時受付。誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合あり。原則として原稿返却はなし。

▼住所、氏名、クラブ名を明記。文字原稿及びサービス・アクティビティはEメール投稿も可。

送り先：〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所　各コラムあて
ファクス：03-3546-2630
Eメール：edit@thelion.jp

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。編集部

男女共同参画を考える

●十月号「ピックアップ／ライオンズにおける男女共同参画」を興味深く読ませて頂きました。国、県でも共同参画社会を目指して取り組んでいます。記事の中に、「女性自身にも問題がある」とありましたが、全くその通り。社会の一員としての意識が低い人が多いのも事実だと思います（私もその一人）。まず、女性が意識改革をすることではないでしょうか。男性の意見も聞き、学校教育にも取り入れていくべきだと思います。皆さんはどのように考えますか。

岩手県・葛巻●高宮光子

毎月『ライオン』誌が楽しみ

●十月号は、「THEME」の国際ユース・キャンプの記事を読み、来日キャンパーたちの考え方がしっかりしていることに感心しました。「国際理事だより」は分かりやすく、山田實紘理事の前向きな姿勢に感動致しました。「獅子吼」のライオン厚沢の国際的な行動が素晴らしいと思いました。

岐阜県・中津川・事務局●加藤豊子

向上心？

●「ふるさと探訪」「歴史の舞台」「日本の風景」が好きで、毎号楽しく読ませて頂いています。十月号の表紙と「日本の風景」で紹介されていた山寺・立石寺。ここで聞いた蝉時雨は忘れられません。今度、冬の山寺へ出掛けたいな、と思っています。冬でも千段すべて上れるのでしょうか。また、三千三百三十三段の大恩教寺、二千四百四十六段の羽黒山神社にも、機会があれば挑戦したいと思っています。楽しみです。

兵庫県・姫路西●藤原英昭

人生の半分をライオンズと共に

●小生本年五十六歳になりました。二十八歳の時、チャーター・メンバーだった亡父の後継者としてライオンズに入会。当時は「なぜJCメンバーがいるんだ?」など言われながらも居座り続けました。昨年クラブ会長を務め、今年は重圧から解放されて、口うるさいご意見番を自負しております。『ライオン』誌は毎月楽しく拝読しており、日ごろの生活訓として、またクラブ運営の参考とさせて頂いております。特に、「こころのチキンスープ」には心打たれ、子どもにも読ませています。

愛知県・海部●猪飼千勝

実り多いフォーラムをありがとう

●初めてOSEALフォーラムに参加。第一例会で受け取ったばかりの十月号をかばんに入れての旅になりました。道中「ふるさと探訪」を読んで歴史や文化、仙台名産などを予習。杜の都・仙台では、すすきの美しさに深まりゆく秋を感じながら国際センターへ。参加型フォーラムは大盛会。もちろん、私たちもレディース・フォーラムに参加しました。「ライオンズを大好きになることが女性会員増強の鍵」という高橋かず子前335-B地区女性会員増強及び参加委員長の言葉が印象的でした。

大阪府・岸和田コスモス●須藤寿子

「Our Nation's Safety」について

●ライオンズクラブのスローガンにある「アワ・ネーションズ・セイフティ」という文言。『ライオンズ・ヒム』にも歌われています。私は今の時代、「われわれの国の安全をはかる」というこの言葉は何か違うのではないかと感ずるのです。大切にすべきは「すべての人」であって、「自分の国」という考えにはとらわれないのがライオンズの立場でありましょう。更に言えば、大切にすべきはすべての生き物、それを育む自然、地球でありましょう。私は、「ネイションズ」という言葉を考え直す必要があると思います。

京都府・宇治川●木村周太郎

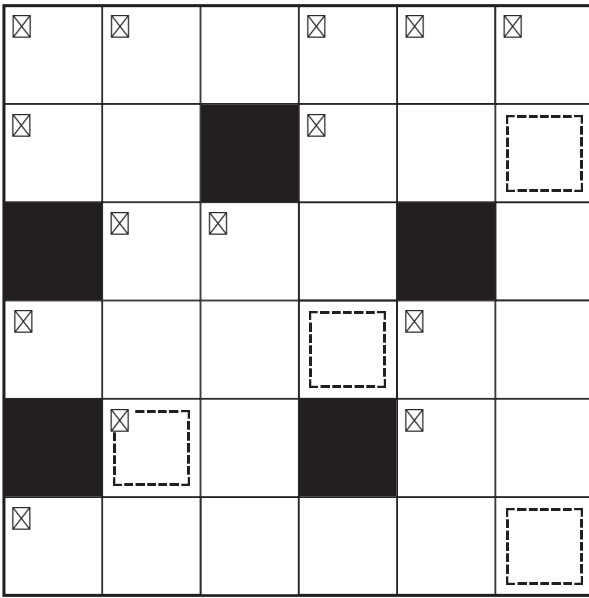
勇気をありがとう

●『ライオン』誌が届くと「獅子吼」をまず読む。十月号ではライオン燕昇司の、人間の目的への執念、負けてたまるか、という意気込みに圧倒された。病気と闘う人へ、勇気と、やれば出来るという自信につながる励ましを贈ってくれた。

長崎県・諫早●大塚英徳

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べかえてください。正解者の中から十人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと氏名、クラブ名、住所、電話番号、本誌の感想を書いてご応募ください（あて先は82ページ）。締切は二〇〇五年十二月二十日。

☒	☒		☒	☒	☒
☒		■	☒		[ ]
■	☒	☒		■	
☒			[ ]	☒	
■	☒[ ]		■	☒	
☒					[ ]

解答 □□□□

ヒント：ライオンズの奉仕はこの主義に基づいて行われます。

↓タテのカギ

☒神に仕えて神楽や祈祷を行う。

☒京都市にある紫雲山頂法寺の別名。聖徳太子創建と伝わり、その形からこの名に。

☒二〇〇六年ライオンズ国際大会の開催地。

☒「○○は投げられた」。後戻り出来ないこと。

☒道端に立ち仏法を説くこと。鎌倉には日蓮聖人がこれを行った跡に石碑がある。

☒同じ集団の中で、他の多数と種類や性質が異なるもの。

☒ラテン語から派生した語で、儀式や崇拝の意。社会的に危険な宗教団体を指す。

←ヨコのカギ

☒国宝第一号に指定された仏像。

☒これさえつかめれば後は簡単！

☒洗濯、掃除と共に家事の基本。

☒和凧と異なり二本の糸を操って操縦する「スポーツ○○○」。

☒今月号「THEME」収録のパネル・ディスカッションでも話題に。

☒イタリア系マフィアの首領に対する敬称。映画「ゴッド・ファーザー」でマーロン・ブランド演じた「○○・コルレオーネ」。

☒「報道」を意味する言葉の略。

☒失神、めまい、耳鳴り、頭痛の症状があるが、たいていはすぐ回復。

■前回の答え

モ	ナ	ニ	ク	■	イ
リ	ス	■	ヒ	ム	ロ
ノ	ダ	テ	■	ウ	ハ
ミ	ツ	カ	ハ	シ	カ
ヤ	ク	ガ	イ	■	ル
コ	■	ミ	チ	バ	タ

答えは「チク（地区）ガバナー」

グラス
いっぱいの
幸せ

●第6回 最終回 シュヴァリエ・デュ・タートヴァン叙任式

「利酒の騎士団」のシュヴァリエ（騎士）の認定を夫婦で受けるのは日本初と推薦してくださったのは、グラフィック・デザイナーで名誉ソムリエの麹谷宏先生だった。十一月にフランス・ブルゴーニュに行くことを楽しみにしていた矢先、夫は十月に帰らぬ人となってしまい、そのことはすっかり忘れていた。

そんな時、親友の大畑澄子さん（ヴァンジュールヴァン店長ソムリエ）が、「一緒に行ってあげるから、ご主人の分も楽しんでこよう」と、背中を押してくれた。大畑さんはワイン・オークションのファースト・ロット・ナンバーを、いつも障害者のためにと応援してくれている。翌二〇〇三年六月七日、バラの会での叙任式となった。

日本人は私一人だったが、夫の位牌を抱いて二人で出席している思いで臨んだ。騎士団員と招待者ら八百人しか参加出来ない華やかな会場へと進んでいく。ぶどう畑にそびえ立つクロ・ド・ヴジョは夜風も心地よくさわやかだった。私は日本からのお土産として和紙製のしおりと文香二百セットを持参した。それは私のもう一人の親友、井上英子さん（はり絵作家／柏みどりライオンズクラ）が、ぜひ力になりたいと届けてくれたものだった。箱を開けた途端、感激で涙がポロポロこぼれ落ちた。金と銀のしおりの紐がキラキラと輝いて、千代紙の鮮やかな色と調和し、宝石箱のようにぎっしりと整えられていた。このしおりが、司会者の説明で各国の叙任者十五人と、メーン・テーブルの方々へプレゼントされると、「セ・ジョリ！（美しい！）」の大歓声と拍手と共に、抱擁の渦に巻き込まれた。豪華絢爛なパーティーは午前二時まで六時間も続いていたのに、時を忘れていた。

翌日は昨夜の賑やかさとは打って変わって、広大な緑一色の美しいロマネ・コンティ畑などをゆっくりゆっくり歩いて回り、ワインと料理を味わい、今度はぶどうの花を探して北の方へと足を運んだ。

支えてくれた友人とワインが、いつしか不思議と悲しみから心を和ませてくれるのだった。

イラスト：吉田悦子

■シュヴァリエ・デュ・タートヴァン（利酒の騎士団）

フランスの各ワイン産地には、ワインの普及に貢献した人を騎士に任命する伝統的な行事がある。ブルゴーニュの「利酒の騎士団」は一九三四年に結成。授賞式はブルゴーニュの最上級畑の真ん中に十六世紀に建てられたクロ・ド・ヴジョで行われ、威厳ある儀式と華やかなパーティーが繰り広げられる。

■植村力子（千葉県・柏なの花ライオンズクラ）

こころのチキンスープ●ライオンズ編

願いかなえてね キラキラポッケ

構成／青山研

願いがかなえば、命の木を得たようになる。

——旧約聖書「箴言」——

キラキラポッケっていうポケットがあるんです。キラキラポッケっていうのだから、キラキラ輝いているのでしょうね。金ぴかに光っているのかもしれません。いやいや、金ぴかだったらピカピカポッケになってしまいますね。

キラキラポッケ——、どんなポケットなのでしょう。このお話は、そんなポッケを作ってしまったライオンズのお話です。

真由美ちゃん（仮名）は、テレビでキラキラポッケのあることを知りました。テレビは、そのポッケは四国・高松市の高松冬のまつりの事務局で配っている、と伝えていました。

高松冬のまつりは一九八七年十二月に始まった祭りですから、今年の冬で十八年目になります。高松栗林ライオンズクラブが、子どもたちの目の輝きを大切にしたい、と市民に呼び掛けて始めたお祭りでした。高松中央公園に立ったポールをクリスマスツリーに見立てて、そこにまつりのシンボルになるイルミネーションを輝かせ、回りもイルミネーションで彩り、クリスマスまでの一週間、さまざまな催しを行って、子どもたちの幸せを願おう、というおまつりです。サンタクロースのふるさとフィンランドからサンタさんもやって来ます。

イルミネーションは、十二万個。一口千円の募金にこたえた高松市の人たちの善意の明かりです。このイルミネーションに合わせ、通りの電柱から電柱にロープが張られ、そこにハート型の小さな西洋提灯が飾られます。提灯は直径二十五☒、厚さが七☒、色はグリーンで、中に豆電球を灯すと、まるで、輝くセイヨウヒイラギの葉のようです。それがいくつもいくつも数え切れないほど輝いているのです。提灯の裏には、名前と願い事が書けるようになっています。

まつりの前、市内の幼稚園を回ってその提灯を配ります。子どもたちは、一生懸命に願い事を書いてボランティアのお兄さんやお姉さんたちに渡すのです。

イラスト／吉田悦子

「これ私の願い事！」「おれの、これ！」

願い事の書かれた提灯は日ごとに増え、イルミネーションへの道は、いつしかグリーンに輝く子どもたちの願いの道になるのです。実は、このハート型のグリーンの西洋提灯が、キラキラポッケと呼ばれているのです。

ある日のことです。冬のまつりの事務局に一人のお母さんが訪ねて来ました。真由美ちゃんのお母さんでした。

「キラキラポッケ、まだ余分がありますでしょうか。二つ欲しいのです」

真由美ちゃんに一つ、真由美ちゃんのお友達のために一つ欲しい、ということでした。テレビで知った真由美ちゃんがお母さんにお願いしたのです。聞くと、真由美ちゃんは白血病で香川小児病院に入院しているというのです。

ライオンズの人たちは決めました。サンタさんに真由美ちゃんを励ましてもらおう、元気を出してもらおう、一人の重い病気の子が、キラキラポッケに願おうとしていることが叶うように、大人たちがみんなで助けてあげよう。

公園にイルミネーションが灯った翌日、サンタさんは、ライオンズのおじさんを連れて真由美ちゃんの病院を訪ねました。真由美ちゃんは無菌室で治療を受けている子でしたから、部屋にはサンタさんだけが入るのを許してもらいました。おじさんたちは窓の外で励ますことしか出来ません。サンタさんは、真由美ちゃんの手を取ってお祈りを奉げていました。ベッドの上の真由美ちゃんが、

「サンタさん、ありがとう」

と言っているように見えました。

その日からしばらくたって、真由美ちゃんのお母さんから手紙が届きました。真由美ちゃんは、サンタさんに会ってから間もなく、天国に旅立ったというのです。真由美ちゃんの胸には、願い事を書いたキラキラポッケが抱かれていたのでした。真由美ちゃんのキラキラポッケは、公園の道では灯らなかったのです。でも、真由美ちゃんのキラキラポッケは、天国できっと美しく、だれのキラキラポッケよりも光り輝いているに違いありません。

今年も、間もなく、高松冬のまつりです。見えないけれどその中に、真由美ちゃんのキラキラポッケも、天国からそっと届いているのかもしれませんね。おじさんたち、きっと、見つけるに違いありません。

MY BEST SHOT

選：河相正名（日本写真家協会会員）

菊野善之助
愛媛県松山
［彼岸花］

●選評
スーパー・クローズアップを得意とする作者が、今回はカメラを少し引いて風景的に仕上げている。最前列に4輪の花を配し、中景には前列の花を押し出すように横一列に並んだ花々を配し、最後部は森を黒く落として、近、中、遠景を見事に使いこなしている。バックを黒で締めたので、赤い花が浮かび上がった。ローからのカメラ・アングルも成功している。オシャレな作品となった。

優秀作

横内孟　山梨県南アルプス
［初秋の尾瀬沼］

松下正治　大阪梅田新道
［月下美人］

鳥羽孝哉　長野県松本アルプス
［秋の沢にて］

重藤一美　広島県甲山
［ジャンプ］

畔柳東一　愛知県岡崎竜城［群集］
梅田尊　愛知県豊田［お母さんがうれしそう］
藤根秀夫　愛知県豊田［大観覧車］
山田武夫　愛知県名古屋棒［涼風］
西田千恵子　岐阜県高山［春のまどろみ］
上野春夫　広島県三原［名月と彼岸花］
木下景雄　福岡大名［幻想］

全作品は国際協会公式ウェブサイトでご覧頂けます。　http://www.lionsclubs.org/JA/TheLion/MBS/index.html

［東京ディズニーシー］水彩　4号

昔歌った世界の歌は、皆温かく愛に満ちていました。その国の人々が今、地球を汚し傷つけ合っています。テロに天災まで加わって大変な様相です。そんな危惧もあって、二十年続けてきた海外旅行をストップ。その代わりに東北や関西へ、楽しい旅をすることにしました。

そこで一昨年十一月、長男の家族と、東京ディズニーシーの園内にあるホテルミラコスタに二泊して、ディズニーランドにも出掛けました。

井口吉康
岐阜県・高山ライオンズクラブ
飲食業

園内で昼夜催される華麗なウォーターカーニバルも部屋から見物出来ました。ゴンドラにも乗船して、ベネツィアの運河をアコーディオンの伴奏付きで「オーソレ・ミオ」や「帰れソレントへ」を歌ったことを思い出しました。

「ボーイズ・ビー・アンビシャス」。年老いても、学徒出陣した時のように、前途に希望を持って、奉仕活動を続けていきたいと思っています。

（いぐち　よしやす・79歳）

読者プレゼント

■特産のナスを五人の読者に

「ふるさと探訪」（44ジ）に登場した愛知県・幸田ライオンズクラブから、幸田町特産のナスが五人の読者にプレゼントされます。

秋ナス同様おいしい冬のナス。また、ナスの皮の色素に含まれる抗酸化物質「ナスニン」は、目の疲労を回復させたり、がん、動脈硬化、高血圧を予防する効能があると言われています。更に、元旦に夢に見ればおめでたいナスをどうぞ。

EDITOR'S ROOM

■「東郷青児と広告デザイン展」チケットを十人の読者に

十二月十七日から二〇〇六年一月十四日まで東京・新宿の損保ジャパン東郷青児美術館で開催される「東郷青児と広告デザイン展」のチケット（二枚一組）が十人の読者にプレゼントされます。

東郷青児（一八九七〜一九七八年）はフランス留学中の経験から、だれにでも理解出来る絵画を志すようになったと言われています。帰国後、安田火災（現損保ジャパン）の前進である東京火災のパンフレットやカレンダー、洋菓子店の包装紙、清酒ボトルのデザイン、書籍の装丁なども手掛けています。更に化粧品、食器、オリンピック記念メダルに至るまで、生涯を通じて広い視野の中で活動を続けました。本展では、東郷の絵画作品の展示に合わせ、これらの多岐にわたる活動の軌跡を紹介します。

東郷青児「四重奏」

プレゼント応募要項

はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、クラブ名と「ナス」「東郷青児」とご希望の品を明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は12月25日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階

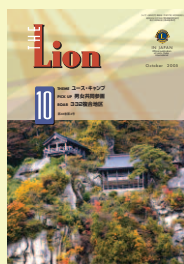
ウェブサイトからの応募

www.lionsclubs.org/JA/content/thelion_present_form.html

『ライオン誌』日本語版バック・ナンバー

2005年11月号

仙台フォーラム / 新世紀ライオンズクラブ / 333複合地区特集：ふるさと探訪・千葉県松戸ほか

2005年10月号

国際ユース・キャンプ / 男女共同参画 / 332複合地区特集：ふるさと探訪・宮城県仙台ほか

2005年9月号

こども万博デー / 視力ファースト II キャンペーン / 331複合地区特集：ふるさと探訪・北海道深川ほか

THEME
視力ファースト

ヘレン・ケラー氏の呼び掛けにこたえ、一九二五年以来「盲人のための騎士」という使命を担ってきたライオンズ。更に国際的な失明への挑戦として、一九九〇年、視力ファースト（SF）をスタート、この十五年間で多くの人々を失明の暗闇から救ってきた。SFによって光と、新たな人生を手に入れた人々のエピソードを取り上げ、プログラムの功績を検証する。

ROAR・ローア
――まるごと335複合地区

一月号は335複合地区特集。「ヘッドライン」は、335・B地区第4リジョン合同の、大和川再生事業の節目として開かれた魚釣り大会。「ふるさと探訪」は大阪府富田林。富田林市の寺内町は、永禄年間に創建された興正寺別院を中心とする宗教自治都市で、現在の町割りは当時の六筋七町のまま。後に宗教色が薄れ、周辺の農作物が集散する商業地として発達。重厚な町屋約四十軒がそのままの姿で残っている。「歴史の舞台」では兵庫県朝来市を紹介。

Pick Up 地区運営の合理化

地区分割やキャビネット事務局の固定化、IT化の推進など、さまざまな角度から地区運営の合理化を取り上げる。

Official publication of Lions Clubs International.

Published by authority of the Board of Directors in 22 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Flemish-French, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　石橋幹雄・伏見龍・山田實紘
委 員 長　荒川隆志(331)
編 集 長　中田勝昭(335)
委　　員　中島洋吉(330)・菊池清二(332)
笹本瞭(333)・砂田繁雄(334)
尾﨑明雄(336)・佐々木智英(337)

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1
築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp

編集室

ライオンズクラブのインターネット利用を考える

ライオン誌
日本語版編集委員
◉
中島洋吉

　我が国のライオンズクラブも早、五十有余年の歳月が経過し、運営の改革が求められる時代になっています。先人の残した素晴らしい実績と歴史をメンバーおのおのが、もう一度振り返り、新しいクラブ運営を構築しなければならない時代が来ています。まさに温故知新！

　我が国でも急速にＩＴ化が進んでいます。ライオンズクラブのメンバーも、年齢を問わずＩＴ化に向かう時が来たものと思います。ＩＴ化によってどんな業種にも仕事にも関係なく役立つ有用な機能は、Ｅメールとホームページです。Ｅメールは通常の郵便と違って、瞬時に世界中に届きます。また、電話と違って保存出来るので、好きな時に読むことが出来ます。相手も自分もお互いの時間を拘束することがありません。便利で低コスト、しかも、瞬時に送受信出来るＥメールを利用しない手はありません。全日本レベルで活用すべきです。これはライオンズにとって福音となる技術革新です。

　我々ライオンズにとって大切なことは本来の目的であるアクティビティであります。今までお話ししたＩＴの活用で、事務経費と時間が驚くほど軽減され、その資金が捻出出来るでしょう。

　また、インターネットは国際本部、複合地区、準地区のキャビネット、メンバー個人相互に接続されたコンピューターに上下のランク付けをしない、平等主義を技術の本質としています。コストやチャンスの面でキャビネットもメンバー個人も全くの平等。その結果として我々メンバーが得るものは大です。

　まず、全国に広がる素晴らしい人との出会い、全国のクラブ情報などであり、このような運営の革新によって、若く新しいメンバーの入会がもっとスムーズに行われるでしょう。

　インターネット・ブームに火が点いて数年。一方で、「ネットはカネにならない」「いかがわしい情報が飛び交っている」「使いこなすのが難しい」などの見方も根強く残っています。その結果、「もう少し様子を見よう」となっているのです。

　しかし、インターネットなしではアクティビティすら出来ない時代が来ようとしているのです。ぜひ、我々ライオンズクラブもこのインターネットを大いに利用して、クラブ運営に役立てたいものです。